



学校法人上智学院  
SOPHIA SCHOOL CORPORATION



事業報告書

SOPHIA ANNUAL REPORT 2021

## 目次

### 法人の概要

---

組織図	3
役員・設置学校等	4
中長期計画「グランド・レイアウト2.1」取り組み状況 および「2021年度事業計画」実施報告	5
全学的トピックス	7

### 高等教育部門

---

施設等の状況	13
上智大学	
教職員数等	14
学生数	15
2021年度実施入試(2022年度入学)	17
卒業・修了者数等	19
進路／就職	20
国家試験・資格等	21
国際交流	22
学生納付金	25
奨学金	27
研究・知的財産等	28
事業の概要	29
上智大学短期大学部	
教職員数等／学生数	35
2021年度実施入試(2022年度入学)／卒業・修了者数等／進路	36
就職	37
国際交流／学生納付金／奨学金／事業の概要	38
上智社会福祉専門学校	
教職員数等／学生数	39
入試実施状況／卒業者数／進路／国家試験／学生納付金	40
事業の概要	41

### 中等教育部門

---

栄光学園中学高等学校	43
六甲学院中学校・高等学校	45
広島学院中学校・高等学校	47
上智福岡中学高等学校	49

### 財務の概要

---

学校法人会計基準について	51
2021年度決算の概要	52
2021年度特別予算執行報告	57
財務比率の推移	58
資産運用の状況	60
収益事業の状況	61
その他	62
経営状況の分析等	64
学校法人上智学院が展開する主な事業会社	65
沿革	66

# はじめに



学校法人上智学院 理事長

佐久間 勤

ここに学校法人上智学院の2021年度事業報告書を公表するにあたり、ご挨拶申し上げます。

残念ながら、2021年度も引き続き新型コロナウイルス（Covid-19）感染症拡大の影響は大きく、特に新たに発生した変異株への対応も求められる一年となりました。この状況において、それぞれの現場でご尽力されている全ての皆様に心より御礼を申し上げます。

学校法人上智学院が擁する各学校においては一昨年度と同様に多くの行事が中止ないし延期を余儀なくされ、教育活動でも制限を受けましたが、これまでの経験を活かして、ハイフレックス・オンデマンドを含む形で行事や授業を実施する等、オンラインを効果的に活用しました。感染症対策の一環としては、職域接種にも参画するなど様々な工夫を積み上げてきました。また、四谷キャンパスを中心に「Sophia New Normal」という新しい行動様式を展開し、「Caring for Each Other – みんなのために、自分のために」というメッセージの下、日々の生活の中でも他者を思いやる気持ちを意識して、安全で安心なキャンパス環境づくりに積極的に努めました。

2021年度の大きな動きとしては、7月に「上智学院サステナビリティ推進本部」を設けたことが挙げられます。学生・生徒と教職員が一体となり、UAPs (Universal Apostolic Preferences of the Society of Jesus : イエズス会使徒職全体の方向づけ) やSDGsに掲げられているテーマに取り組むべく、上智学院全体の横断的組織として設置いたしました。上智大学の学生を「学生職員」として本部メンバーに起用し、サステナビリティ推進の観点から調査・情報発信・新規企画立案などに取り組んでおります。サステナビリティ推進への取り組みは本学院全体を対象とするものですので、今後は上智学院の擁する短期大学部、中等教育部門にも活動の範囲を広げていきます。

また、上智社会福祉専門学校は、これまで保育士、社会福祉主事、社会福祉士、児童指導員、介護福祉士、精神保健福祉士という専門職の養成機関として、キリスト教ヒューマニズムに基づく全人教育を通して高い志を有する人材の育成に努めてきましたが、2022年3月に最後の卒業生を送り出し、58年の歴史を閉じました。

上智大学においては、社会変化の激しい時代に求められる「自律した学修者」、すなわち生涯学び続ける学力基盤の養成を目的として2021年7月に「基盤教育センター」を設置し、2022年度から全学共通科目を中心としたカリキュラムの大幅な刷新を行います。今後もイエズス会教育機関としての使命と役割を意識して、よりよい教育を提供していけるよう努めて参ります。

今後とも関係の皆様からのご支援を賜りたくお願い申し上げます。

上智学院各学校共通の教育精神

「他者のために、他者とともに (For Others, With Others)」生きる人の育成

各学校で共有している教育精神の英語表記を「Men and Women for Others, with Others」から「For Others, With Others」に変更いたしました。上智学院の各学校では今後も「他者のために、他者とともに (For Others, With Others)」生きる人の育成という教育精神に基づき、キリスト教ヒューマニズムに立脚した教育、研究、社会貢献・国際貢献を展開して参ります。「上智」という名称は、伝統的なカトリックの祈り「聖母マリアの連祷」の中の一句である「上智の座」に由来し、「最上の叡智」を意味します。

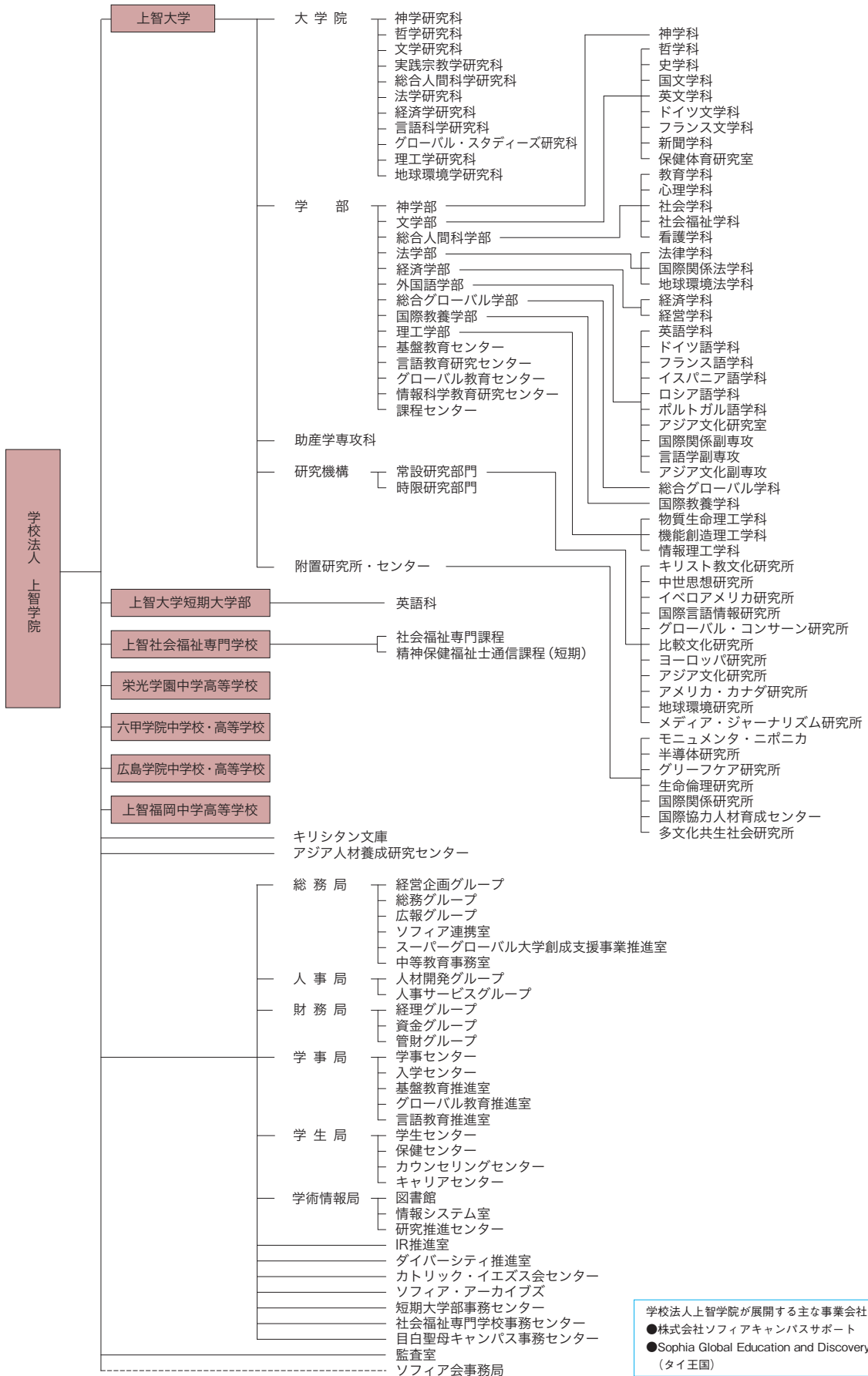
組織図

法人の概要

高等教育部門

中等教育部門

財務の概要



# 役員・設置学校等

## 理事 (定員13人以上15人以内)

(2022年3月31日現在)

役職	氏名	就任日 <sup>(注1)</sup>	主な現職	備考 <sup>(注2)</sup>
理事長・イエズス会高等教育担当理事	佐久間 勤	2018. 4. 1	上智大学特別契約教授 上智社会福祉専門学校長	業・保
イエズス会中等教育担当理事	李 聖一	2016. 4. 1		業・保
総務担当理事	サリ・アガスティン	2018. 4. 1	上智大学教授	業・保
人事担当理事	杉本 徹雄	2009. 4. 1	上智大学特別契約教授	業・保
財務担当理事	舌津 一良	2013. 1. 1		業・保
グローバル化推進担当理事	ブテンカラム ジョンジョセフ	2016. 2.29	上智大学教授	業・保
経営企画担当理事	引間 雅史	2017. 2. 1	上智大学特任教授	業・保
理事	曄道 佳明	2017. 4. 1	上智大学長、同大学教授	業・保
	山本 浩	2016. 4. 1	上智大学短期大学部学長、 同短期大学部特任教授	業・保
	望月 伸一郎	2021. 4. 1	栄光学園中学高等学校校長、 同校教諭	業・保
	三好 彰	2019. 4. 1	広島学院中学校・高等学校 校長、同校教諭	業・保
	堀田 健介	2005. 5.14	(株)堀田総合事務所会長	非・責・保
	木村 増夫	2021. 4. 1		業・保
	崎川 茂郎	2014. 4. 1	中部大学客員教授	非・責・保
	山下 まち子	2016. 4. 1	学聖心女子学院理事・評議員	非・責・保

## 評議員 (定員：27人以上31人以内)

(2022年3月31日現在)

氏名	就任日 <sup>(注1)</sup>	主な現職	備考 <sup>(注2)</sup>
レンゾ・デルカ	2017. 3. 1	(宗)カトリックイエズス会代表役員	非・保
サリ・アガスティン	2018. 4. 1	(学)上智学院総務担当理事、上智大学教授	業・保
李 聖一	2016. 4. 1	(学)上智学院イエズス会中等教育担当理事	保
曄道 佳明	2017. 4. 1	上智大学長、同大学教授	保
山本 浩	2013. 9.13	上智大学短期大学部学長、 同短期大学部特任教授	保
佐久間 勤	2011.10. 1	(学)上智学院理事長・イエズス会高等教育 担当理事、上智社会福祉専門学校長、 上智大学特別契約教授	保
望月 伸一郎	2016. 4. 1	栄光学園中学高等学校校長、同校教諭	保
高橋 純雄	2021. 4. 1	六甲学院中学校・高等学校校長、同校教諭	保
三好 彰	2016. 4. 1	広島学院中学校・高等学校校長、同校教諭	保
大石 英雄	2016. 4. 1	上智福岡中学高等学校校長、同校教諭	保
森下 哲朗	2021. 4. 1	上智大学グローバル化推進担当副学長、 同大学教授	保
Wank David	2021. 4. 1	上智大学グローバル・スタディーズ 研究科委員長、同大学教授	保
寺田 俊郎	2021. 4. 1	上智大学文学部学長、同大学教授	保
網倉 久永	2021. 4. 1	上智大学経済学部学長、同大学教授	保
陸川 政弘	2020. 4. 1	上智大学理工学部学長、同大学教授	保
柳澤 広美	2020. 4. 1	(学)上智学院学生局長	保
杉本 昌彦	2020. 4. 1	(学)上智学院学術情報局長	保
赤松 廣政	2018. 4. 1	(宗)カトリックイエズス会財務担当	非・保
戸川 宏一	2018. 4. 1	前上智大学ソフィア会会長、 ICMCI国際経営コンサルタント	非・保
クスマノ ジェリー	2017. 3. 1	上智大学卒業生、上智大学名誉教授	非・保
ブテンカラム ジョンジョセフ	2016. 2.29	(学)上智学院グローバル化推進担当理事、 上智大学教授	保
舌津 一良	2013. 1. 1	(学)上智学院財務担当理事	保
木村 増夫	2021. 4. 1	(学)上智学院理事	保
崎川 茂郎	2016. 4. 1	中部大学客員教授	非・保
杉本 徹雄	2008. 4. 1	(学)上智学院人事担当理事、 上智大学特別契約教授	保
田中 南欧子	2018. 4. 1	上智短期大学(現 上智大学短期大学部) 卒業生	非・保
手納 美枝	2020. 4. 1	アカシアジャパン・デルタポイント 株式会社代表取締役	非・保
堀田 健介	2010. 4. 1	(株)堀田総合事務所会長	非・保
山下 まち子	2016. 4. 1	(学)聖心女子学院理事・評議員	非・保
引間 雅史	2017. 2. 1	(学)上智学院経営企画担当理事、 上智大学特任教授	保
日比谷 潤子	2020. 4. 1	(学)聖心女子学院常務理事	非・保

## 監事 (定員：2人以上4人以内)

(2022年3月31日現在)

役職	氏名	就任日 <sup>(注1)</sup>	主な現職	備考 <sup>(注2)</sup>
監事	本田 親彦	2007. 6. 1	公認会計士	非・責・保
	荻野 美佐子	2018. 4. 1	(学)放送大学客員教授	非・責・保
	金子 泰輔	2011. 6. 1	弁護士	非・責・保
	萱場 基	2016. 4. 1	(学)雙葉学園理事長	非・責・保

## 学長・校長

(2022年3月31日現在)

役職	氏名	就任日
上智大学長	曄道 佳明	2017. 4. 1
上智大学短期大学部学長	山本 浩	2013. 9.13
上智社会福祉専門学校長	佐久間 勤	2020. 4. 1
栄光学園中学高等学校校長	望月 伸一郎	2015. 4. 1
六甲学院中学校・高等学校校長	高橋 純雄	2021. 4. 1
広島学院中学校・高等学校校長	三好 彰	2013. 4. 1
上智福岡中学高等学校校長	大石 英雄	2012. 4. 2

(注1) 就任日は、現在に至る就任期間の最初に就任した年月日を記載 (注2) 非=非常勤、業=業務執行理事、責=責任限定契約締結、保=役員賠償責任保険<sup>(※)</sup>対象

※役員賠償責任保険の概要

2020年4月の私立学校法改正に伴い、2020年度以後、役員賠償責任保険に加入している。この保険は、学校法人の役員(被保険者)が役員として行った業務に起因して損害賠償請求を受けた場合に、被保険者が法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害に対して、保険金を受け取ることができるものである。被保険者の範囲は、役員、評議員及び管理職従業員。支払限度額は20億円。

## 設置学校・所在地

(2022年3月31日現在)

設置学校	学部・学科・研究科等	所在地
上智大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>神学部、文学部、総合人間科学部、法学部、経済学部、外国語学部、総合グローバル学部、国際教養学部、理工学部</li> <li>哲学研究科、文学研究科、実践宗教学研究科、総合人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、言語科学研究科、グローバル・スタディーズ研究科、理工学研究科、地球環境学研究科</li> </ul>	四谷キャンパス 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1
	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合人間科学部看護学科、助産学専攻科</li> </ul>	目白聖母キャンパス 〒161-8550 東京都新宿区下落合4-16-11
	<ul style="list-style-type: none"> <li>神学研究科</li> </ul>	石神井キャンパス 〒177-0044 東京都練馬区上石神井4-32-11
	(グラウンド)  (グリーンケア研究所人材養成講座等を開講)	秦野キャンパス 〒257-0005 神奈川県秦野市上大槻山王台999  大阪サテライトキャンパス 〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎3-12-8 サクラファミリア2階
上智大学短期大学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語科</li> </ul>	秦野キャンパス 〒257-0005 神奈川県秦野市上大槻山王台999
上智社会福祉専門学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉士・児童指導員科、介護福祉士科</li> </ul>	四谷キャンパス 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1
栄光学園中学高等学校		〒247-0071 神奈川県鎌倉市玉縄4-1-1
六甲学院中学校・高等学校		〒657-0015 兵庫県神戸市灘区篠原伯母野山町2-4-1
広島学院中学校・高等学校		〒733-0875 広島県広島市西区古江上1-630
上智福岡中学高等学校		〒810-0032 福岡県福岡市中央区輝国1-10-10

# 中長期計画「グランド・レイアウト2.1」取り組み状況 および「2021年度事業計画」実施報告

2019年度から5年間の中長期計画「グランド・レイアウト2.1 (GL2.1)」は3年目を迎えました。2023年度までにGL2.1およびアクションプラン (AP) を達成すべく、各検討専門委員会で、2021年度の事業計画の実施状況、APの取り組み状況を振り返るとともに、次年度への課題・展望をまとめました。

GL2.1本文および2021年度事業計画はウェブサイトをご覧ください。

【GL2.1】[https://www.sophia-sc.jp/info/grand\\_layout/layout2\\_1.html](https://www.sophia-sc.jp/info/grand_layout/layout2_1.html)

【事業計画】<https://www.sophia-sc.jp/info/gakuin.html>

計 画	GL2.1におけるAPの取り組み状況 (2021年度)	2021年度事業計画の実施報告
<b>A. 上智大学の将来計画</b>		
1. 教学計画 (アカデミック・プラン等 検討専門第1委員会)	2021年度は基盤教育センターを設置し、学部教育の再構築において大きな一歩となった。また、アクションプラン全体において、IR推進室によるデータ分析が浸透してきており、今後の目標達成に活かしていく。	学部教育においては、基盤教育センターを設置し、同センターを軸とした教育体系の見直しが着実に進行している。大学院においても、視野を広げ多角的なものの見方を身につけさせるための専攻横断型科目を新設した(2022年度より開講)。
2. 研究・学術交流計画 (アカデミック・プラン等 検討専門第2委員会)	進捗度合型KPIおよび達成度合型KPIは、前年度とほぼ同じ評価(割合)となった。この結果は、残念ながら研究活動をより高次元段階に推し進める施策への取り組みが不十分もしくは効果的に機能しなかったことを示している。次年度はコロナ禍の影響も低減すると思われることから、改めて諸施策の効果的実施方法を見直し、状況に応じた策を講じて課題解決に取り組むたい。	昨年度に引き続き、コロナ禍の影響等により想定していた実績や効果が上がらない施策があったが、次年度はコロナ禍の影響も低減すると思われるため、対面企画とオンライン企画の長所・短所を踏まえた推進策を効果的に実施することで諸課題の解決に取り組むたい。
3. 学生生活支援計画 (フィジカル・プラン等 検討専門第1委員会)	心身の健康サポート、キャリア支援、奨学金制度の充実といった学生が安心して学べる環境の整備とともに、学生の成長や主体的なチャレンジを後押しするための仕組みづくりを進めた。	ウェルネスセンターの設置、キャリア支援の充実等、学生サービスの充実を図ることができた。また、サステナビリティ推進本部の学生職員等とより良いキャンパス作りに向けた学教職協働による活動が多く展開された。
<b>B. 上智大学短期大学の将来計画</b>		
(上智大学短期大学部 検討専門委員会)	2021年度に続き、2022年度入試においても、将来構想検討の基盤となる入学定員が充足できなかった。一般的に外国語・国際分野、女子大、短期大学への志願者が全体的に減少しており、また学校推薦での早期進学先の決定による一般選抜志願者の減少、国の修学支援制度により、併願校である四年制大学へ進学しやすくなった等、複合的な要因が絡んだ結果であると分析している。2022年度は、予約制のオープンキャンパスの人数枠を広げ、12月に新たに学校説明会を開催、分かりやすい入試の名称変更を行うなど、受験生がより本学への理解を深め、志望度を高めてもらえる入試広報を目指す。	コロナ禍での2021年度の授業は、感染防止対策を講じたうえ、対面授業を実施し、オンラインでの参加も可能なハイフレックス型で実施した。2022年度入試は、前年度に続き大きく入学定員割れとなり、複合的な要因が絡んだ結果であると分析している。
<b>C. 社会福祉専門学校の将来計画 ※上智社会福祉専門学校は2021年度をもって閉校いたしました。</b>		
(上智社会福祉専門学校 検討専門委員会)	【2021年度事業計画の実施報告】 2021年度事業計画は予定どおり完了した。授業運営については、前年度に続き2021年度も新型コロナウイルスの影響により原則オンライン授業で実施したが、学生の国家試験合格率が示すとおり、コロナ禍という難しい状況において本校の学習支援策は一定の成果を出すことができたと考え。閉校手続について、学外向けの手続は全て完了し養成施設としての指定取消を受けた。残る学内の関係手続は2022年度前半に終了予定。	
<b>D. 生涯学習の将来計画</b>		
(生涯学習検討専門委員会)	【2021年度事業計画の実施報告】 2020年度に開設したプロフェッショナル・スタディーズについて、実質1年半の開講実績に基づき、企業ニーズや受講生アンケート結果を踏まえ、新規講座の開発・拡充等を図り、本学ならではの社会人の学ぶ場を創出・整備した。2022年度から第2期目を迎えるにあたり、趣旨に賛同する会員企業の継続及び新規会員確保に努め、安定的な運営と発展を期するところである。	

計 画	GL2.1におけるAPの取り組み状況 (2021年度)	2021年度事業計画の実施報告
<b>E. 中高4校の将来計画</b>		
(中等教育検討専門委員会)	<p><b>【栄光学園】</b> 2021年度も新型コロナウイルス感染症対応で、9月の1カ月間を学校閉鎖となったのに加え、1週間程度閉鎖となった学年があり、当初の計画どおり実施できたものは少なかったが、代替方法もいくつか実施することができた。</p> <p><b>【六甲学院】</b> 上智大学を含む諸大学との高大連携について、コロナ禍もあり進捗状況ははかばかしくない。また、国際交流については、これまでのプログラム(インド訪問、ニューヨーク研修)が実施困難となる中、新たなプログラムを模索し、もっと六甲が外に開かれた学校となるよう前向きな検討が2022年度も必要である。</p> <p><b>【広島学院】</b> コロナ禍ではあっても、十分な対策を講じたりICTを活用したりしながら、教育の質を落とさないよう努めている。コロナ禍だからこその学びを大切にしている。上智大学との連携のあり方については、模索中である。</p> <p><b>【上智福岡】</b> 国際交流についてはオンラインでの交流も検討されたが実現できなかった。学習環境については前年度にICT環境が整備されたことで授業や家庭学習の充実が図れた。</p>	<p>コロナ禍で実施が難しかった事業計画としては、やはり外国のイエズス会教育機関との連携や上智大学との連携による英語教育充実プログラムの検討など、教育機関相互の人的交流を基本とする事業が多かった。</p> <p>年度当初から緊急事態措置、まん延防止等重点措置実施期間が度重なったこともあり、残念ながら一部の計画は実施できなかったが、学校生活においてさまざまな制約がある中、全般としては内容の濃い結果であったと思われる。</p> <p>コロナ禍のため何かと制約はあるものの、特に生徒の活動や行事については、可能な形を探りながらできる範囲で実施している。教職員はコロナ対応に追われつつも、連携を取りながら、より充実した教育の実践に努めている。</p> <p>コロナ感染症が収束せず、対策等の業務多忙のため実施できないことも多かったが、ICT教育環境については迅速に整備できた。2021年度実施できなかった計画を引き続き実施できるよう努力する。</p>
<b>F. 上智学院の運営基盤に関する計画</b>		
1. イエズス会ならびにカトリック教育の理解と浸透	上智学院におけるイエズス会ならびにカトリック教育の理解と浸透、とくに教職員への働きかけについては、対面及びオンラインによる諸活動を推進し実施した。当該事業計画については、引き続き、イエズス会員の協力支援を仰ぎ協働し、カトリック教育の深化と活性化を図りたい。設置2年目となったソフィア・アーカイブズは、体制整備を進めつつ、積極的な資料収集とデジタル化、企画展示、アーカイブズデータベースの導入などを進めた。	2021年度のカトリック・イエズス会センターの事業計画は、コロナ禍により実施が困難な企画はあったが、オンラインを駆使した方法に一部切り替え、また事業計画全般についてイエズス会員との協働により、おおむね効果的な活動が実現できた。ソフィア・アーカイブズは、学内各部門からの定期的な資料収集システムの考案、デジタル・アーカイブズデータベースの導入など、積極的に資料収集と公開を進めたほか、当初計画にはなかった学芸員課程との連携など、新たな取り組みも推進した。
2. 全体計画 (ガバナンス検討専門委員会)	コロナ禍対応に追われた前年度と比較して学校運営においても正常化が徐々に図られ、ポストコロナを見据えた政策展開が見られた。急速な変化に対応した経験、この中で得られた知見を次期中長期計画策定において活かしていきたい。	IR推進室による各種調査の分析結果を特に教学政策において活用すると同時に、その成果の積極的な情報発信に取り組むことができた。引き続き学内外への発信は強く意識していく。
3. 組織・人事計画 (人事計画等検討専門委員会)	次期中長期計画策定を見据え、教職員数と組織再編の在り方、10年後までの人件費削減について、教学執行部と方向性を確認し、中長期的な見通しのもとで具体的な施策を実行することとした。20年後、30年後を見据え、学校法人経営を健全に持続させるべく、事業の「選択」と「集中」を重視した検討を教学部門と協働して推進する。職員の帰属意識醸成とパフォーマンス向上について、働き方改革プロジェクトの提言を立案しつつ、成果を意識した多様な働き方にかかわる具体的な改善策を実行している。	学校法人経営を健全に持続させるべく、教職員数と組織再編の在り方、10年後までの人件費削減について、教学執行部と方向性を確認し、中長期的な見通しのもとで具体的な施策を継続して検討し、実行することとした。職員事務組織のあり方を、学院運営体制検討タスクフォースにて検討し、業務効率化を継続して推進するための具体的な行動計画を示した。21年度末で「職員の働き方改革プロジェクト」の第1期を終えた。職員の帰属意識の醸成と生産性向上を実現させる風土を整えた。22年度から第2期を「職員の働き方改革プロジェクト」を開始することとした。
4. 財政計画 (財政計画等検討専門委員会)	これまでは好調な資産運用収入に支えられ概ね計画通りの進捗であったが、今後は、地政学リスク等による市場環境悪化も見込まれるため、財政基盤の安定化に向けて柔軟な取り組みを行っていきたい。	コロナ禍の影響は続いているが、資産運用収入及び寄付金収入の増加により概ね計画通り遂行することができた。
5. 施設・設備計画 (フィジカル・プラン等検討専門第2委員会)	グローバルキャンパス創生に向けた外構整備計画は、基本計画に基づく第Ⅰ期計画の工事が一部を残し完了した。第Ⅱ期計画は基本設計を進め、2022年夏から工事に着手する予定。六甲学院の敷地における土砂災害については、危険地域に指定された場所の調査を行い、詳細調査が必要な範囲を確認した。2022年度に詳細調査を実施する予定。	キャンパス整備計画は、工事によっては、多少の進捗の遅れはあるものの、概ね予定どおり進んでいる。当年度、特筆すべきは、四谷キャンパスのエネルギー(電気・ガス)を再生可能エネルギーに100%転換したことである。
6. ICT計画 (フィジカル・プラン等検討専門第2委員会)	2021年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大に伴うオンライン授業対応やオンライン業務環境支援が業務の大きな比重を占めていたが、事業計画は直実に進められており、いくつかの事業では「進捗度合い4」を達成できた。情報セキュリティ関連の事業がやや遅れていることから、2022年度はこちらにも注力して行く必要があると考えている。	2021年度の特別予算事業は、予定していたものがすべて実施できたわけではないが、必要なものに絞って実施できたことから、無駄のないシステム開発・更新が実現できた。実施しなかったものは、主に運用に見直し、外的要因(コロナ禍など)等の原因によるものであることから、無理に実施する必要がないもの、あるいは無理に実施すると逆に混乱を生ずるものもあったので、適切な判断であったと考えている。

# 全学的トピックス

## ■ 六甲学院中学校・高等学校校長に高橋純雄氏が就任

2期6年にわたり六甲学院中学校・高等学校の校長を務めた古泉肇校長の退任に伴い、六甲学院中学校・高等学校校長候補者選考委員会の選考・推薦を受け、2020年5月27日開催の学校法人上智学院理事会において、後任として、高橋純雄教諭が第10代校長(2021年4月1日付)に選任されました。高橋校長は、上智大学を卒業後、1984年に六甲学院中学校・高等学

校に入職し、六甲学院図書館長(図書館主任)、宗教部長、及び4校(栄光学園中学高等学校、六甲学院中学校・高等学校、広島学院中学校・高等学校、上智福岡中学高等学校)から選出された委員で構成するイエズス会教育推進委員会委員長を歴任しています。

## ■ 教皇フランシスコ来学記念表彰式を開催

2022年2月24日、第2回上智学院教皇フランシスコ来学記念表彰式を開催しました。この表彰制度は、2019年11月26日に教皇フランシスコが本学を訪問された記憶を永く留めるために創設した「教皇フランシスコ来学記念基金」の事業の一つとして、教皇のメッセージ『観智の座の大学で学ぶ者へ』に示されたさまざまな課題への取り組みを支援することにあります。貧困や社会的弱者の課題、多文化共生社会の実現や、SDGsなどに取り組む教育・研究活動、生徒・学生・教職員・卒業生などの活動を広く学内外へ共有し、さらに促進するための制度です。



2020年度から表彰を開始し、2021年度の第2回では、個人1件、団体2件が表彰されました。

### 第1回(2020年度)

個人表彰	◇財務局管財グループ 藤本恵夫氏『四谷キャンパスのCO <sub>2</sub> の大幅な削減を実現』
団体表彰	◇Sophia Refugee Support Group『難民の方々への支援のみならず、難民問題を理解するためのさまざまな活動を実施』
	◇「めぐこ」—アジアの子どもたちの自立を支える会—『インド・フィリピンの子どもたちへの学費支援を通じて教育を受ける機会を保障』
	◇ソフィア オリンピック・パラリンピック 学生プロジェクト Go Beyond『東京2020オリンピック・パラリンピックを契機に誰もが輝ける社会の実現を目指す』
	◇上智大学ソフィア会金祝燦燦会『外国人留学生の支援・交流を活動の中心におき、留学生の心と生活を支援』

### 第2回(2021年度)

個人表彰	◇上智大学法学部国際関係法学科4年 和田早織氏『国連機関 Youth and United Nations Global Alliance (YUNGA) のAmbassadorの拝命、及び The Round Table of Global Seekers (RTGS) の設立』
団体表彰	◇六甲学院中学校・高等学校 社会奉仕委員会『社会奉仕活動・インド募金・インド訪問』
	◇一般社団法人 自分ごと化プロジェクト(代表:鈴木健斗氏/広島学院中学校・高等学校卒業生)『自分ごと化プロジェクト』

## ■ ソフィア・アーカイブズデータベースの導入・公開

2020年4月に発足したソフィア・アーカイブズは、上智学院の史資料の保存、公開および活用の推進を進めています。近年は、劣化の激しい大学草創期の文書資料やネガを中心に長期に保存できるよう、史資料のデジタル化にも力を入れています。その一環として、2022年3月より史資料データベースシステムを導入し、「ソフィア・アーカイブズデータベース」として公開を開始しました。このデータベースは、すでに図書館で導入しているデジタルアーカイブ(「学術情報リポジトリ」「貴重資料データベース」「ラウレスキリシタン文庫データベース」)に追加され、登録されたコンテンツ(写真、文書、映像・音声等)は、既存のデータベース間で横断検索ができるのが特徴です。まずは1908

年～1945年の大学関係の写真(約140点)の公開を開始し、2022年度には本学が設立した1913年度から1926年度の報告書綴(約600点)の公開を予定しており、徐々に公開資料を増やしてゆく予定です。



## ■ 責任投資 (ESG投資) の取り組み

上智学院では、『学問研究及び社会貢献を通じて、「人間の尊厳 (human dignity)」を脅かす課題 - 貧困、環境、教育、倫理 - の解決に貢献する』という基本理念を反映した形で資産運用を実践するために、環境 (E)、社会 (S)、ガバナンス (G) を考慮した ESG 投資に取り組んでいます。建学の理念と統合的な取り組みとして加盟している、「国連グローバルコンパクト」や「国連責任

投資原則 (PRI)」に基づき、社会的リターンと投資リターンの両立を目指した ESG 投資を推進すると同時に、資産運用を通じて地球規模の環境問題・社会課題の解決に貢献し、持続可能な国際社会造りに繋がることを目指しています。

以下、2021 年度に実施した責任投資の取り組みの一部をご紹介します。

### ①「気候危機に関する政府に向けてのグローバル投資家ステートメント」に署名

パリ協定の目標である世界の平均気温上昇を 1.5℃ 未満に抑制し、2050 年以前の排出ネットゼロを目指した移行計画を確かなものにするため、2030 年に向けて自国が決定する貢献 (NDC) を強化することなどを各国政府に要請するグローバルステートメントに機関投資家として署名しました。この署名は、

The Investor Agenda の創設 7 団体 (AIGCC, CDP, Ceres, IGCC, IIGCC, PRI, UNEP-FI) のコーディネーションの下で、資産総額 41 兆米ドル超となる 457 の機関投資家が署名し、各国政府に対して、気候危機に対するさらなる協調行動を強く求めるものです。

### ②ジェンダーボンド (ソーシャルボンド) への投資を実施

独立行政法人国際協力機構 (以下「JICA」) が発行する「ジェンダーボンド (ソーシャルボンド)」への投資を実施いたしました。新型コロナ危機によって女性・女児の人権や公平性は更に損なわれています。本債券は、一層浮き彫りとなったジェンダー課題に対する取り組みを強化し、ジェンダー平等と女性のエンパワメントの推進に取り組むために発行されました。本債券により調達された資金は、有償資金協力事業のうち、国際的なジェンダー事業分類基準に合致する事業 (石炭火力発電関連事業を除く) に充当されます。

充当例：女性事業主向けの金融アクセス改善事業、女子教育、都市鉄道建設事業における女性専用車両、防犯カメラ、女性用トイレの設置



写真提供：撮影者名/ JICA

### ③新興国の再生可能エネルギーファンドに参画 (官民共同インパクト投資)

アジア・アフリカ・中米・ラテンアメリカなどの新興国における、太陽光・風力などの再生可能エネルギー発電施設の建設・運営プロジェクト等を主な投資対象とする、官民共同の新興国気候変動対策インフラファンドへ出資をしました。

本ファンドは、政府系金融機関であるドイツ復興金融公庫 (KfW) やフランス開発庁 (AFD) に加え、国際協力銀行 (JBIC) が出資しており、官民共同で新興国の人口増加や経済成長による将来的な電力需要の増加を見据えた再生可能エネルギー事業の開発を後押しすることを目指しています。また、発電から電力提供に至る再生可能エネルギーのサプライチェーン構築を通じて、環境・社会にポジティブなインパクトを及ぼすことも追求しており、投資先プロジェクトから創出される社会的インパクトの定量的な計測を行っています。具体的には、クリーン・エネル

ギーの発電量に基づく二酸化炭素排出削減量などを計測し、更にこのインパクトを独自手法に基づき金銭的価値に換算することで投資金額対比でのインパクト創出額をモニタリングします。



写真提供：ブラックロック

## 「上智学院サステナビリティ推進本部」の開設

2021年7月、学校法人上智学院全体に関わる横断組織として、「上智学院サステナビリティ推進本部」を設置しました。これまでも、建学の理念・教育の精神に基づき、「人間の尊厳」を脅かす課題を解決し、「誰一人取り残さない」社会の実現に貢献することを掲げて、様々なサステナビリティにかかわる取り組みを進めてきました。しかし、今日の世界的な取り組みである国連のSDGsに加えて、深刻化するグローバル・イシューを目前に、設立母体であるイエズス会がUAPs (Universal Apostolic Preferences of the Society of Jesus) を打ち出したことや、SOPP (Sophia Olympics & Paralympics Project<sup>※</sup>) 活動の継承のニーズを踏まえ、従来以上に多面的かつ積極的に取り組む体制を構築しました。

主な役割は、上智大学をはじめ各学校におけるサステナビリティ推進に係る取り組みを把握し、足りないところがあればそれを補って促進していくこと、取り組み内容を積極的に発信すること、外部の様々な組織との連携により進めることにあります。

さらに、この取り組みは教職員と学生が協働して進めるため、上智大学の学生を臨時職員として採用する「学生職員」制度により、学生も情報収集・発信、意識啓発、制度設計に至るまで

幅広い業務に携わっています。特にグローバルキャンパス創生のためにダイバーシティ推進、環境負荷軽減、共生社会の実現に向けた学内環境の整備を優先課題としており、すでに様々な成果が出ています。たとえばキャンパス内の「サイン不足・統一性の低さ」という課題に対して学生職員が中心となって調査を行い、その調査結果をもとに担当事務部署や企業と連携して新たなキャンパスサインとそのマニュアル作りを進めていますが、アクセシビリティマップがいち早く完成しています。意識醸成の点でも、2021年11月の創立記念プログラムにおいて、タレントの小島よしおさんをお招きし、「上智らしいSDGs」のアイデアを考えるワークショップを開催するなど、様々な形の学びの機会を提供しています。また、こうした取り組み・成果については「SDGs & Sustainability Report」にまとめ公式ウェブサイトでも公表しています。

※上智の教育精神に基づき、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のみならず、ボーダーレスな共生社会の実現を展望する機会を提供することを目的に、教職員と学生により2016年度に立ち上げたプロジェクト。2021年度でプロジェクトは終了し、活動成果は報告書として公表しています。  
【報告書URL】 <https://dept.sophia.ac.jp/pj/beyond2020sopp/report/activityreport/>



学生たちによるキャンパス調査の様子



「小島よしおさんと学ぼう！いまさら聞けない『なぜ大切？ SDGs』」の様子



SDGs & サステナビリティに係る発信強化 (特設サイト <http://sophia-sdgs.jp>)

## ■ 上智学院（高等教育部門）の環境負荷の状況

### 1. エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

上智学院（高等教育部門）は、主要なキャンパスとして四谷キャンパス、目白聖母キャンパス、秦野キャンパスを所有しています。四谷キャンパスは、上智大学のすべての学部・研究科の学生が教育を受け、研究活動を行っています。目白聖母キャンパスは、上智大学総合人間科学部看護学科の一部学生が使用しており、秦野キャンパスには上智大学短期大学部が設置されています。

上智学院で使用されるエネルギー<sup>\*1</sup>は、四谷キャンパスが92.4%を占めています。消費されるエネルギーの種類は、電気が約75%、都市ガス（LNG<sup>\*2</sup>）が約25%を占めています。重油等の燃料は、主に秦野キャンパスの暖房等に使用されていますが、全体に占める割合は極めて低いです。（図1、2）

上智学院が排出する二酸化炭素は、エネルギー使用の他、上下水道の使用に伴うもの、廃棄物の処理に伴うものがあります。廃棄物の処理に伴う排出量の算定が困難であるため、エネルギーの使用及び上下水道の使用に伴う二酸化炭素の排出量を2019年度の使用量から試算しました。2019年度に上智学院が排出した二酸化炭素は、11,702トンで、電気の使用に伴う排出量が74%、都市ガス（LNG）の使用に伴う排出量が25%を占めています。（図3）

上智学院は、2020年度から2021年度にかけて主要キャンパスで使用する電気を再生エネルギー100%の電気に変更しています。また、2021年度に四谷キャンパス及び目白聖母キャンパスの都市ガスをカーボンニュートラルLNG<sup>\*3</sup>に変更しています。これにより、一部の施設<sup>\*4</sup>を除き電気の使用に伴う二酸化炭素の排出を無くすことができ、都市ガスの使用に伴う排出される二酸化炭素を大幅に削減できています。

上智学院は、エネルギー使用に伴う二酸化炭素の排出量を大幅に削減しています。一方、2021年度のエネルギー使用量は、11月以降対面授業が原則になったこともあり、12月の電気使用量が、2019年度12月を上回っています。冷夏の影響が考えられますが、2022年度4月からほぼ平常に授業が行われており、コロナ禍以前の使用量を超える恐れがあります。環境負荷低減のためにも無駄な電気の使用を削減することは重要な課題と考えられます。また、再生エネルギー100%の電気は、電気料金の単価が高いため、コストの観点からも省エネルギーの推進は必要であると考えられます。

上智学院は、年間のエネルギー使用量の合計が「エネルギー使用の合理化等に関する法律」（省エネ法）に定める基準以上であるため、エネルギーの使用の合理化を特に推進する必要がある者として省エネ法に基づき特定事業者<sup>1</sup>に指定されており、毎年、使用量、使用量削減に関する計画等を経済産業省及び文部

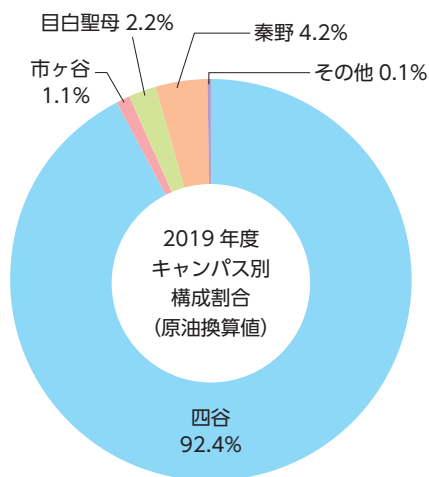


図1

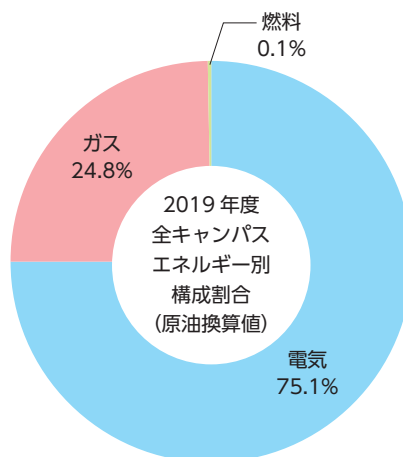


図2

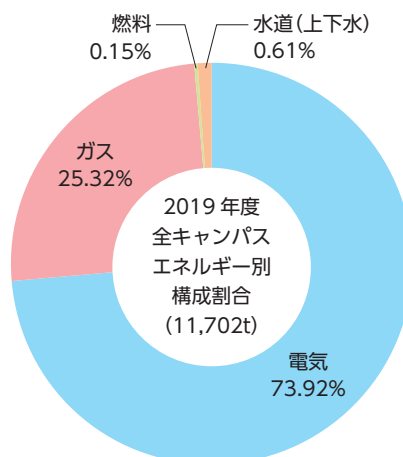


図3

科学省に報告しています。

また、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、温室効果ガス排出量を毎年環境省に報告し、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例（環境確保条例）に基づき温室効果ガス排出総量削減義務が課せられています。

※1 2020年度、2021年度は、コロナ禍であったため、2019年度のエネルギー使用量を用いている。

※2 液化天然ガス

※3 天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスをCO<sub>2</sub>クレジットで相殺し、使用してもCO<sub>2</sub>が発生しないとみなされるLNG

※4 学生寮等

## 2. 廃棄物の排出量

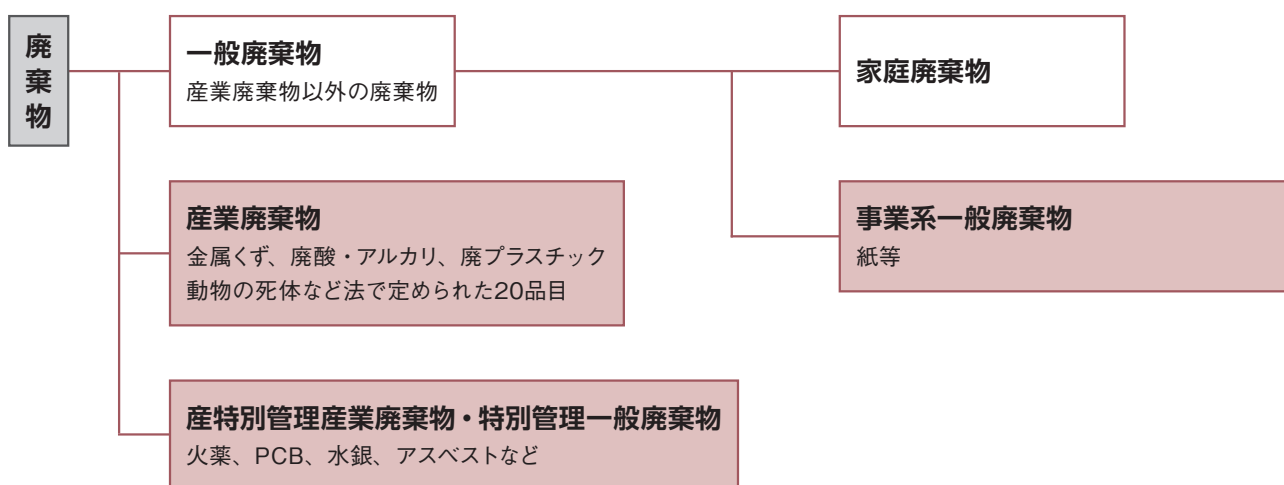
廃棄物の処理は、性状、種類、排出者により分類され、環境汚染防止等のため様々な法令・条例により規制されています。また、資源の有効活用に関する法令・条例等により規制されています。（表1、図4）

上智学院から排出される廃棄物は、すべて産業廃棄物に分類されており、廃棄物収集、運搬、処分については、廃棄物を排出した上智学院が責任をもって行わなければなりません。

このため、上智学院は、廃棄物の運搬、処分を関係法令に基づく許可を受けた事業者と契約し委託して行っています。

表1

区分	適用される主な法令等
固体状の廃棄物	廃棄物の処理と清掃に関する法律（廃棄物処理法） 資源有効利用促進法 個別品目のリサイクル法 家電リサイクル法 小型家電リサイクル法 等 ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置
液体状の廃棄物 （排水を含む）	廃棄物処理法 水質汚濁防止法 下水道法
気体状の廃棄物	大気汚染防止法 地球温暖化対策推進法 フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律
その他	土壌汚染対策法



※    は、上智学院が該当  
家庭から排出されるプラスチック類は、可燃物として処理する自治体がある。  
上智学院から排出されるプラスチック類は、産業廃棄物になり可燃物と分別しなければならない。

図4

また、廃棄物管理票（マニフェスト）を発行して廃棄物の種類量、運搬者、処分者を記録、保存し、排出から最終処分までの流れを把握しています。

四谷キャンパスでは、コロナ禍以前の状況では、年間600トン程度廃棄物が排出されており、可燃物（紙類）が50%程度を占めています。

2017年度から2020年度の廃棄物排出量の推移は、図5のとおりです。

可燃物は年々増加傾向にあり、一方、不燃物は学内の改修工事に伴う移転などの規模により排出量が変動します。2017年度及び2018年度は理工学部の施設改修に伴う移転があったため減少傾向が見られると考えられます。

廃棄物排出量について他大学と比較すると（図6）、キャンパスの面積に比例し排出量が増加していますが、キャンパスが広いにもかかわらず排出量が少ない大学があります。

廃棄物は、単に処分するだけでなく、再生利用等が行われており、上智学院においても紙類、ペットボトル、缶、ビンなどの再資源化、家電等のリサイクルを行っています。

廃棄物の適切な分別、排出量の削減、再資源化の推進は、廃棄物による環境汚染を低減するとともに、廃棄物の処分（焼却）に伴う温室効果ガスの削減を行うことができます。

上智学院においても、ゴミを捨てる際の分別徹底、紙類・プラスチック類の使用削減は、環境負荷低減に資する重要な課題であると考えられます。

廃棄物排出量の推移

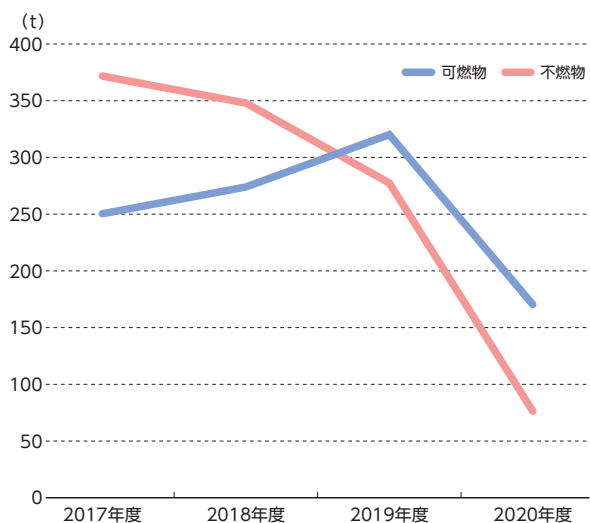


図5

可燃性廃棄物排出量と主要団地建物面積の関係

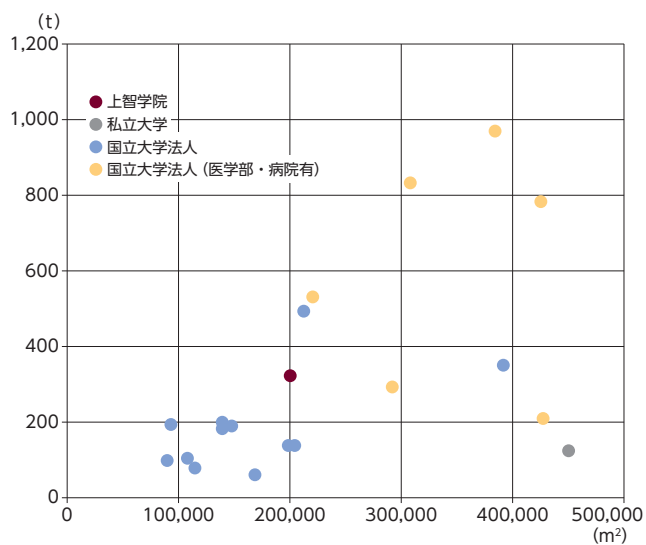


図6

# 施設等の状況

(2022年3月31日現在)

所在地	施設等	面積等	帳簿価額	摘要	
四谷キャンパス 東京都千代田区紀尾井町 東京都千代田区麹町	校地 カトリックイエズス会 校舎（教室、実験室、研究室、講堂等） 図書館（図書館、研究室等） 体育館 課外活動施設 エネルギー・ステーション	17棟 1棟 1棟 1棟 3棟	46,918.14㎡ 4,260.00㎡ 146,181.37㎡ 26,871.03㎡ 4,453.53㎡ 4,114.74㎡ 3,304.38㎡	8,629,476千円 借地 29,448,633千円 2,156,859千円 167,154千円 240,523千円 568,392千円	大学と社会福祉 専門学校が利用
四谷キャンパス 東京都千代田区紀尾井町 東京都千代田区麹町 東京都港区赤坂 東京都新宿区四谷	運動場		23,972.87㎡	借地	大学が利用
石神井キャンパス 東京都練馬区上石神井	校舎敷地 図書館	1棟	1,600.80㎡ 1,369.86㎡	借地、借用建物	大学が利用
秦野キャンパス 神奈川県秦野市	校地 運動場 校舎（教室、実験室） 研究棟（図書館、研究室） 体育館 食堂棟（食堂、研究室） 管理棟（事務室） 学生寮 セミナーハウス（教室、宿舎） 合宿所	1棟 1棟 1棟 1棟 1棟 1棟 1棟 1棟	259,601.91㎡ 2,183.38㎡ 3,292.27㎡ 2,463.38㎡ 1,003.51㎡ 1,606.73㎡ 1,260.96㎡ 2,751.55㎡ 1,583.92㎡ 925.70㎡	2,248,666千円 借地 148,442千円 429,902千円 58,700千円 36,286千円 113,333千円 25,929千円 24,189千円 82,823千円	大学と短期大学部 が利用 短期大学部が利用 大学が利用
大阪サテライトキャンパス 大阪府大阪市北区豊崎	校舎	1棟	664.50㎡	借用建物	大学が利用
目白聖母キャンパス 東京都新宿区下落合	校地 校舎（1号館） 校舎（2号館）	1棟 1棟	4,523.73㎡ 5,789.04㎡ 2,204.50㎡	40,445千円 1,126,460千円 223,336千円	大学が利用
祖師谷国際交流会館 東京都世田谷区上祖師谷	用地 学生寮	5棟	13,441.00㎡ 14,016.49㎡	3,455,125千円 702,237千円	大学が利用
アルペ国際学生寮 東京都新宿区信濃町	用地 学生寮	1棟	1,242.45㎡ 4,955.73㎡	借地 1,936,355千円	大学が利用
枝川寮 東京都江東区枝川	用地 男子学生寮	1棟	1,003.39㎡ 2,530.22㎡	415,822千円 352,564千円	大学が利用
軽井沢セミナーハウス 長野県北佐久郡軽井沢町	用地 セミナーハウス（教室、宿舎）	1棟	6,772.00㎡ 1,981.83㎡	701,339千円 327,265千円	大学が利用

# 上智大学

上智大学・上智大学大学院では教育研究上の目的、人材養成の目的、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）及びアドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）を学部・学科ならびに研究科・専攻ごとに大学ウェブサイトで公表しています。  
<https://www.sophia.ac.jp>

## 教職員数等

### 教職員数

(2021年5月1日現在)

学校区分	教職員区分	本務	兼務	総計
上智大学	教員	548	876	1,424
	職員	403	2	405
総計		951	878	1,829

※本務教員：専任教員・特別契約教授・特任教員・常勤嘱託教員・実務家教員・出向教員

兼務教員：非常勤嘱託教員

本務職員：専任職員・特別契約職員・嘱託（一般）職員・嘱託（特別）職員

兼務職員：嘱託（一般）職員（医師等）

※管理部門所属職員は上智大学に算入

### 年齢別教員数

(2021年5月1日現在)

学校区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	総計
上智大学	3	67	164	201	111	2	548

※非常勤講師を除く

※平均年齢50.88（非常勤講師を除く）

### 職階別教員数

(2021年5月1日現在)

学校区分	教授	准教授	講師	助教	助手	教員	総計
上智大学	316	134	38	46	14	0	548

※非常勤講師を除く

### 教員一人当たり学生数

(2021年5月1日現在)

学部	学生数	本務教員数	
		教員数	一人当たり学生数
神学部	196	18	10.89
文学部	2,285	70	32.64
総合人間科学部	1,329	72	18.46
法学部	1,413	32	44.16
経済学部	1,409	32	44.03
外国語学部	2,251	64	35.17
総合グローバル学部	977	27	36.19
国際教養学部	776	35	22.17
理工学部	1,597	98	16.30
総計	12,233	448	27.31

# 学生数

## 学部

(2021年5月1日現在)

学 部	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	学生数	収容定員 充足率
神学部	40	176	42	42	46	66 (19)	196	111.4%
文学部	510	2,040	523	511	532	719 (188)	2,285	112.0%
総合人間科学部	305	1,220	318	302	316	393 (70)	1,329	108.9%
法学部	330	1,320	338	329	331	415 (83)	1,413	107.0%
経済学部	330	1,320	337	328	331	413 (81)	1,409	106.7%
外国語学部	500	2,000	513	508	509	721 (204)	2,251	112.6%
総合グローバル学部	220	880	231	221	223	302 (72)	977	111.0%
国際教養学部	186	744	197	177	188	214 (31)	776	104.3%
理工学部	380	1,520	387	377	387	446 (69)	1,597	105.1%
合 計	2,801	11,220	2,886	2,795	2,863	3,689 (817)	12,233	109.0%

※4年次生の欄( )内は在学継続者数で内数である。  
 ※同一年次数=前年9月入学者数+当該年度4月入学者数である。

## 大学院

(2021年5月1日現在)

研究科	博士前期課程／修士課程／専門職学位課程				博士後期課程				総計
	入学定員	収容定員	学生数	収容定員 充足率	入学定員	収容定員	学生数	収容定員 充足率	
神学研究科	20	40	25	62.5%	4	12	6	50.0%	31
哲学研究科	0	0	0	—	0	0	1	—	1
文学研究科	86	172	86	50.0%	24	72	47	65.3%	133
実践宗教学研究科	10	20	27	135.0%	3	9	9	100.0%	36
総合人間科学研究科	59	118	119	100.8%	16	48	57	118.8%	176
法学研究科 法律学専攻	20	40	6	15.0%	4	12	2	16.7%	8
法曹養成専攻	40	120	63	60.0%	—	—	—	—	63
経済学研究科	30	60	45	75.0%	4	12	6	50.0%	51
言語科学研究科	33	66	65	98.5%	5	15	34	226.7%	99
グローバル・スタディーズ研究科	70	130	138	106.2%	14	42	26	61.9%	164
理工学研究科	250	500	347	69.4%	20	60	56	93.3%	403
地球環境学研究科	60	120	169	140.8%	10	30	40	133.3%	209
合 計	678	1,386	1,090	79.5%	104	312	284	91.0%	1,374

※法科大学院の定員は、文部科学省告示により入学定員の3倍であるため、各年度の入学定員から算出し、収容定員は120(40+40+40=120)とする。  
 定員充足率の算出においては、2、3年制の各入学定員に各標準修業年限を乗じた数{(25×3)+(15×2)=105}を基礎とする。  
 ※総合人間科学研究科看護学専攻およびグローバル・スタディーズ研究科国際協力学専攻は修士課程のみ設置。

## 助産学専攻科

(2021年5月1日現在)

専攻科	入学定員	収容定員	1年次	学生数	収容定員充足率
助産学専攻科	10	10	10	10	100.0%

## 社会人学生数

(2021年5月1日現在)

研究科	博士前期課程	博士後期課程	総計
神学研究科	12	3	15
哲学研究科	0	0	0
文学研究科	9	21	30
実践宗教学研究科	24	7	31
総合人間科学研究科	36	21	57
法学研究科 法律学専攻	2	0	2
法曹養成専攻※	23	—	23
経済学研究科	6	2	8
言語科学研究科	30	23	53
グローバル・スタディーズ研究科	43	13	56
理工学研究科	14	14	28
地球環境学研究科	47	24	71
合 計	246	128	374

※法曹養成専攻は「専門職学位課程」

外国人学生数

(2021年10月1日現在)

国・地域	身分	学部生	大学院生	交換留学生	インディグリー生	その他(注)	総計
アジア	中華人民共和国	334	373	9	4	40	760
	大韓民国	175	17	4	1	1	198
	ベトナム社会主義共和国	16	19	1		1	37
	台湾	22	6	2			30
	フィリピン共和国	18	8	3		1	30
	インドネシア共和国	10	13	2		1	26
	タイ王国	6	5	3			14
	ミャンマー連邦	5	6				11
	インド	4	3			1	8
	マレーシア	4	4				8
	バングラデシュ人民共和国	2	3				5
	ネパール王国	3	2				5
	パキスタン・イスラム共和国	1	3				4
	東チモール	4					4
	朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)	2	1				3
	シンガポール共和国	3					3
	スリランカ民主社会主義共和国	2					2
	モンゴル国	1	1				2
	カンボディア王国	1					1
	ブータン王国		1				1
小計		613	465	24	5	45	1,152
ヨーロッパ	ドイツ連邦共和国	2	6	19	2		29
	フランス共和国		5	18			23
	スペイン		2	12			14
	英国	1	1	10	1		13
	イタリア共和国		4	6			10
	ロシア連邦	2	3	2	1		8
	オランダ王国		4	2			6
	スイス連邦	1	1	3			5
	ノルウェー王国	2	1	1			4
	ウクライナ	1		2		1	4
	フィンランド共和国		1	2			3
	スウェーデン王国		1	1			2
	ポーランド共和国		2				2
	スロバキア共和国		2				2
	ベルギー王国	1	1				2
	リトアニア共和国			1			1
	カザフスタン共和国			1			1
	キルギスタン共和国					1	1
	ウズベキスタン共和国		1				1
	マルタ共和国		1				1
ブルガリア共和国		1				1	
ルクセンブルク大公国	1					1	
デンマーク王国			1			1	
クロアチア共和国			1			1	
ボスニア・ヘルツェゴビナ共和国			1			1	
ポルトガル共和国	1					1	
アルバニア共和国		1				1	
小計		12	38	83	4	2	139
中東	トルコ共和国		4				4
	シリア・アラブ共和国	2	1				3

国・地域	身分	学部生	大学院生	交換留学生	インディグリー生	その他(注)	総計	
中東	レバノン共和国		1	1			2	
	サウジアラビア王国		2				2	
	オマーン国		1				1	
	ヨルダン・ハシミテ王国		1				1	
	パレスチナ						1	1
	アラブ首長国連邦		1				1	
	イラン・イスラム共和国	1					1	
	イエメン共和国					1	1	
	イスラエル国		1				1	
	小計		3	12	1	1	1	18
アフリカ	カメルーン共和国	1	14			3	18	
	ナイジェリア連邦共和国		11			1	12	
	ガーナ共和国		1				3	4
	ウガンダ共和国		3				3	
	コンゴ民主共和国	2	1				3	
	アルジェリア民主人民共和国		1	1			2	
	ジンバブエ共和国	1	1				2	
	リベリア共和国		1				1	
	ボツワナ共和国		1				1	
	エチオピア		1				1	
	ケニア共和国		1				1	
	マラウイ共和国		1				1	
	ルワンダ共和国		1				1	
	コンゴ共和国		1				1	
	南アフリカ共和国		1				1	
	ギニアビサオ共和国		1				1	
	チュニジア共和国		1				1	
	小計		4	42	1	4	3	54
	北米	アメリカ合衆国	43	34	18	3	4	102
カナダ		3	4				7	
小計		46	38	18	3	4	109	
中南米	ブラジル連邦共和国	5	2	1	1		9	
	メキシコ合衆国		3	3		1	7	
	コロンビア共和国		5			1	6	
	ペルー共和国		2				2	
	ジャマイカ		1			1	2	
	ベネズエラ共和国		1				1	
	エクアドル共和国		1				1	
	チリ共和国		1				1	
	小計	5	16	4	1	3	29	
	オセアニア	オーストラリア	3	6				9
ミクロネシア連邦		4	4				8	
フィジー共和国			2				2	
パラオ		2					2	
パプアニューギニア			1				1	
マーシャル諸島共和国			1				1	
小計	9	14	0	0	0	23		
総計		692	625	131	18	58	1,524	

※「その他」の身分は、研究生、外国人特別研究生、科目等履修生、委託聴講生の合計。

# 2021年度実施入試（2022年度入学）

## 学部

学部	入試区分 入学定員	一般入試（学部学科試験・共通テスト併用型）				一般入試（TEAPスコア利用型）				一般入試（共通テスト利用型）				一般入試合計			
		募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数
神学部	40	12	55	12	7	8	30	9	6	2	33	2	1	22	118	23	14
文学部	510	203	1,938	638	176	120	1,019	309	44	21	518	159	10	344	3,475	1,106	230
総合人間科学部	305	114	1,406	320	99	83	628	137	29	15	442	107	6	212	2,476	564	134
法学部	330	140	1,503	505	111	94	628	201	35	11	520	141	4	245	2,651	847	150
経済学部	330	170	2,775	796	117	65	545	180	58	25	903	207	6	260	4,223	1,183	181
外国語学部	500	165	1,926	891	169	127	1,335	457	88	20	605	197	12	312	3,866	1,545	269
総合グローバル学部	220	70	980	334	81	65	660	160	19	5	207	43	2	140	1,847	537	102
国際教養学部	186	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
理工学部	380	120	2,335	912	126	60	278	167	61	15	1,234	269	1	195	3,847	1,348	188
合計	2,801	994	12,918	4,408	886	622	5,123	1,620	340	114	4,462	1,125	42	1,730	22,503	7,153	1,268

※一般入試合格者には、補欠入学許可者、追試合格者を含む

学部	入試区分	推薦入試（指定校）				推薦入試（公募制）				カトリック高等学校 対象特別入試※			海外就学経験者 入試			神学部推薦入試			外国人入試		
		募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数
神学部		6	7	7	7	8	20	12	12	12	9	9	3	0	0	0	0	0	0	0	0
文学部		53	69	69	69	109	204	102	102	106	56	55	101	52	41	-	-	-	21	5	5
総合人間科学部		24	23	23	23	69	189	61	61	134	43	43	109	31	18	-	-	-	114	9	6
法学部		32	43	43	43	53	168	74	74	74	44	44	84	26	13	-	-	-	26	6	4
経済学部		19	25	25	25	51	118	45	45	52	30	30	96	25	11	-	-	-	62	16	13
外国語学部		55	56	56	56	133	187	113	112	64	42	42	96	34	19	-	-	-	6	2	1
総合グローバル学部		20	24	24	24	60	126	52	52	58	23	23	77	13	4	-	-	-	20	3	3
国際教養学部		4	4	4	4	37	74	40	39	13	11	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-
理工学部		142	149	149	149	28	45	16	16	23	12	12	73	17	5	-	-	-	25	15	7
合計		355	400	400	400	548	1,131	515	513	536	270	269	639	198	111	0	0	0	274	56	39

※カトリック高等学校対象特別入試の志願者数は、併願を含む

学部	入試区分	教育提携校特別 推薦入試※			イェズ会高校 特別推薦入学			海外指定校入試			社会人入試			国際バカロレア 入試（第1期）			国際バカロレア 入試（第2期）			難民高等教育 プログラム		
		志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数
神学部		0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	0	0	-	-	-	0	0	0
文学部		10	10	10	5	5	5	0	0	0	-	-	-	0	0	0	1	1	0	0	0	0
総合人間科学部		8	7	7	4	4	4	0	0	0	3	1	0	1	1	0	8	2	2	0	0	0
法学部		6	6	6	2	2	2	0	0	0	-	-	-	17	16	2	3	3	3	0	0	0
経済学部		7	7	7	4	4	4	0	0	0	-	-	-	16	14	5	3	3	1	0	0	0
外国語学部		6	6	6	0	0	0	0	0	0	-	-	-	2	2	1	2	2	2	0	0	0
総合グローバル学部		4	4	4	0	0	0	0	0	0	-	-	-	7	3	0	5	2	0	0	0	0
国際教養学部		1	1	1	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0
理工学部		5	5	5	0	0	0	0	0	0	-	-	-	5	4	1	4	3	1	-	-	-
合計		47	46	46	15	15	15	0	0	0	3	1	0	48	40	9	26	16	9	0	0	0

※教育提携校特別推薦入試には、上海日本人学校高等部特別推薦入試を含む

◇国際教養学部 1年次入試

	志願者数	合格者数	入学者数
2021年度秋学期入学・第1期	474	176	58
2021年度秋学期入学・第2期	383	58	19
2022年度春学期入学・第1期	321	130	30
2022年度春学期入学・第2期	76	48	36

◇理工学部英語コース

	志願者数	合格者数	入学者数
2021年度秋学期入学・第1期	41	16	3
2021年度秋学期入学・第2期	30	12	1

◇SPSF (2021年度秋学期入学)

学 科	第1期			第2期		
	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数
新聞学科	24	14	7	24	5	1
教育学科	27	16	7	23	3	1
社会学科	24	9	1	37	11	6
経済学科	105	47	13	80	4	1
総合グローバル学科	59	22	7	45	17	6

◇海外指定校 (2021年度秋学期入学)

学 部	志願者数	合格者数	入学者数
国際教養学部	1	1	1
理工学部	1	1	1
SPSF 教育学科	0	0	0
SPSF 社会学科	0	0	0
SPSF 経済学科	0	0	0
SPSF 総合グローバル学科	1	1	1
合 計	3	3	3

学部 編入学試験

入試区分 学部	編入学試験			上智短期大学生 特別編入学試験 (A方式)			上智短期大学生 特別編入学試験 (B方式)			神学部推薦入学編入		
	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数
神学部	4	2	2	1	1	1	0	0	0	6	5	5
文学部	29	6	6	4	4	4	12	3	3	—	—	—
総合人間科学部	27	4	4	6	6	6	16	4	4	—	—	—
法学部	0	0	0	2	2	2	0	0	0	—	—	—
経済学部	14	7	5	2	2	2	0	0	0	—	—	—
外国語学部	7	3	3	2	2	2	1	0	0	—	—	—
総合グローバル学部	5	0	0	2	2	2	1	0	0	—	—	—
国際教養学部	—	—	—	0	0	0	—	—	—	—	—	—
理工学部	5	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—
合 計	91	22	20	19	19	19	30	7	7	6	5	5

※2月編入学試験含む

◇国際教養学部 3年次編入学試験

	志願者数	合格者数	入学者数
2021年度秋学期入学	21	2	1
2022年度春学期入学	15	2	2

◇理工学部英語コース 3年次編入学試験

	志願者数	合格者数	入学者数
2021年度秋学期入学	0	0	0

大学院

研究科	博士前期課程				博士後期課程			
	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数
神学研究科	20	1	1	1	4	1	1	1
文学研究科	86	77	38	33	24	7	5	5
実践宗教学研究科	10	14	11	9	3	8	6	6
総合人間科学研究科	59	103	42	41	16	17	13	13
法学研究科 (法学専攻)	20	32	13	10	4	0	0	0
経済学研究科	30	101	29	16	4	4	3	3
言語科学研究科	33	58	25	25	5	6	4	4
グローバル・スタディーズ研究科	※70	126	55	42	※14	8	3	3
理工学研究科	※250	255	173	172	※20	4	4	4
地球環境学研究科	※60	139	75	64	※10	7	5	5
合 計	638	906	462	413	104	62	44	44

※2021年度秋学期を含む

# 高等教育部門—上智大学

## ◇法学研究科法曹養成専攻（法科大学院）

	定員	志願者数	合格者数	入学者数
2年制コース (8月・9月・1月・合計)	20	47	5	13
3年制コース (8月・9月・1月・合計)	20	100	27	4
学部3年次生特別選抜	若干名	3	0	0
法曹コース(5年一貫型)	(8)*	10	8	8
法曹コース(開放型)	(2)*	1	1	0
合計	40	161	41	25

※法曹コース（5年一貫型）および法曹コース（開放型）の定員は2年制コースの定員に含む

## ◇2021年度秋学期入学

研究科	博士前期課程			博士後期課程		
	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数
グローバル・スタディーズ研究科	167	53	34	7	3	3
理工学研究科	33	32	19	10	9	8
地球環境学研究科	98	49	44	9	5	5
合計	298	134	97	26	17	16

## 助産学専攻科

	定員	志願者数	合格者数	入学者数
助産学専攻科	10	29	10	10

※合格者には、補欠入学許可者を含む

# 卒業・修了者数等

## 卒業・修了者数

### ◇学部

学部	卒業者数	備考
神学部	41	
文学部	529	
総合人間科学部	327	
法学部	346	早期卒業生11名
経済学部	342	早期卒業生1名
外国語学部	560	
総合グローバル学部	233	早期卒業生1名
国際教養学部	182	早期卒業生11名
理工学部	396	早期卒業生1名
合計	2,956	

### ◇大学院 博士号授与者数

研究科	課程博士	論文博士
神学研究科	0	0
哲学研究科	1	0
文学研究科	2	0
実践宗教学研究科	2	0
総合人間科学研究科	2	2
法学研究科	1	1
経済学研究科	0	0
言語科学研究科	2	1
グローバル・スタディーズ研究科	1	1
理工学研究科	13	1
地球環境学研究科	3	0
合計	27	6

### ◇専攻科

専攻科	修了者数	備考
助産学専攻科	10	

### ◇大学院

研究科	博士前期課程、修士課程、 専門職学位課程（法科大学院）、 修了者数	博士後期課程 修了者数	備考
神学研究科	9	0	
哲学研究科	—	0	
文学研究科	32	2	
実践宗教学研究科	12	2	
総合人間科学研究科	47	1	
法学研究科			
法律学専攻	0	1	
法曹養成専攻（法科大学院）	19	—	
経済学研究科	29	0	
言語科学研究科	24	2	
グローバル・スタディーズ研究科	59	1	博士前期課程 早期修了2名
理工学研究科	162	13	
地球環境学研究科	68	3	
合計	461	25	

## 退学者数

### ◇学部

学部	退学者数
神学部	4
文学部	27
総合人間科学部	5
法学部	7
経済学部	17
外国語学部	15
総合グローバル学部	10
国際教養学部	20
理工学部	11
合計	116

### ◇専攻科

専攻科	退学者数
助産学専攻科	0
合計	0

※退学者数は、2022年5月1日現在決裁済みのものに限る

◇大学院（博士後期課程は満期退学も含む）

研究科	博士前期課程・修士課程・ 専門職学位課程（法科大学院）	博士後期課程
神学研究科	3	0
哲学研究科	—	0
文学研究科	5	4
実践宗教学研究科	3	0
総合人間科学研究科	2	7
法学研究科		
法律学専攻	0	0
法曹養成専攻（法科大学院）	6	—
経済学研究科	0	1
言語科学研究科	3	6
グローバル・スタディーズ研究科	2	3
理工学研究科	7	4
地球環境学研究科	2	1
合計	33	26

■ 中退率（学部）・・・2.80%

※2018年4月1日学部入学者のうち、2022年3月までに退学・除籍した学生の割合。但し、編入学・再入学を除く。

## 進路

■ 2021年度 学部卒業生・大学院修了者の進路

(人)

設置・学部	進路区分	就職	進学	その他	未届者	合計
学部		2,216	400	310	30	2,956
神学部		26	6	9	0	41
文学部		419	43	62	5	529
総合人間科学部		251	41	34	1	327
法学部		272	42	27	5	346
経済学部		288	16	31	7	342
外国語学部		468	35	55	2	560
総合グローバル学部		185	23	24	1	233
国際教養学部		109	17	49	7	182
理工学部		198	177	19	2	396
大学院（法科大学院を除く）		277	36	120	34	467
合計		2,493	436	430	64	3,423

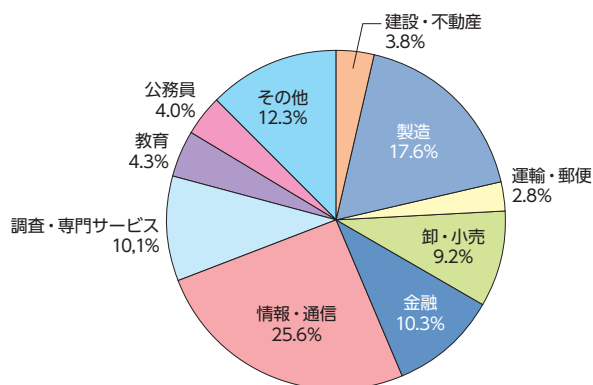
※「その他」は、アルバイト、海外渡航、資格試験勉強、就職活動中（公務員試験勉強中）等を含む。

## 就職

■ 業種別進路状況

◇全体（学部・大学院）

業種	男	女	計	%
建設・不動産	45	49	94	3.8%
製造	196	242	438	17.6%
運輸・郵便	21	50	71	2.8%
卸・小売	69	160	229	9.2%
金融	91	165	256	10.3%
情報・通信	240	397	637	25.6%
調査・専門サービス	98	155	253	10.1%
教育	34	74	108	4.3%
公務員	38	62	100	4.0%
その他	72	235	307	12.3%
合計	904	1,589	2,493	100.0%



## 進路先上位企業一覧

◇全体（学部・大学院）

（内定者5名以上の就職先）

順位	企業名	男	女	総計
1	楽天グループ株式会社	14	27	41
2	日本アイ・ピー・エム株式会社	9	17	26
3	株式会社日立製作所	17	5	22
4	日本電気株式会社（NEC）	8	13	21
5	アクセンチュア株式会社	5	14	19
6	PwCコンサルティング合同会社／ PwCアドバイザリー合同会社	10	7	17
7	株式会社NTTデータ	8	8	16
8	株式会社三菱UFJ銀行	4	11	15
9	KDDI株式会社	5	9	14
10	東京海上日動火災保険株式会社	2	11	13
11	SMBC日興証券株式会社	3	8	11
	パーソルプロセス&テクノロジー株式会社	2	9	11
	株式会社三井住友銀行	3	8	11
14	富士通株式会社	5	5	10
	株式会社みずほフィナンシャルグループ	4	6	10
16	ソフトバンク株式会社	4	5	9
	国立大学法人東京医科歯科大学医学部附属病院	0	9	9
	野村證券株式会社	6	3	9
	株式会社野村総合研究所（NRI）	4	5	9
	三井住友信託銀行株式会社	4	5	9
	横浜市（公務員）	1	8	9
	学校法人上智学院	3	6	9
23	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	0	8	8
	株式会社ニトリ	4	4	8
	日本タタ・コンサルタンシー・サービス株式会社	4	4	8
26	株式会社NTTドコモ	3	4	7
	株式会社キーエンス	6	1	7
	国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院	0	7	7
	シンプレクス株式会社	6	1	7
	TIS株式会社	5	2	7
	株式会社電通デジタル	1	6	7
	日産自動車株式会社	3	4	7
	日本アイ・ピー・エムデジタルサービス株式会社	4	3	7
	本田技研工業株式会社	4	3	7

順位	企業名	男	女	総計
26	三菱電機株式会社	4	3	7
36	アマゾンジャパン合同会社	1	5	6
	NHK（日本放送協会）	0	6	6
	NTTコムウェア株式会社	2	4	6
	大日本印刷株式会社（DNP）	3	3	6
	デロイトトーマツコンサルティング合同会社	4	2	6
	凸版印刷株式会社	0	6	6
	パナソニックホールディングス株式会社	2	4	6
	阪和興業株式会社	0	6	6
	株式会社ファーストリテイリング	2	4	6
	株式会社星野リゾート・マネジメント	0	6	6
	三井物産株式会社	1	5	6
	三菱重工業株式会社	3	3	6
48	アフラック生命保険株式会社	2	3	5
	NECソリューションイノベータ株式会社	3	2	5
	株式会社Works Human Intelligence	3	2	5
	株式会社サイバーエージェント	2	3	5
	ダイキン工業株式会社	2	3	5
	大和ハウス工業株式会社	2	3	5
	東京都（公務員）	1	4	5
	株式会社東芝	3	2	5
	日本生命保険相互会社	2	3	5
	株式会社日本総合研究所	3	2	5
	日本ビューレット・バックカード合同会社	1	4	5
	パーソルキャリア株式会社	2	3	5
	弁護士法人ベリールベスト法律事務所	0	5	5
	株式会社マクニカ	3	2	5
	みずほ証券株式会社	3	2	5
	三井住友海上火災保険株式会社	3	2	5
	三菱UFJ信託銀行株式会社	4	1	5
	明治安田生命保険相互会社	0	5	5
	ヤフー株式会社	2	3	5
	りそなグループ	0	5	5
	株式会社レイヤーズ・コンサルティング	3	2	5
	レバレッジズ株式会社	1	4	5

## 国家試験・資格等

### 国家公務員等試験合格状況

（2022年3月31日現在）

年度	2021年度		
	上智大学 合格数		試験全体 合格数（人）
	全合格者数	うち既卒者数	
試験区分			
国家総合職（大卒）	9	1	1,434
国家総合職（院卒）	2	*	622
国家一般職	34	11	7,553
外務省専門職員	2	*	52
財務専門官	1	0	597
国税専門官	24	10	4,193
労働基準監督官	2	1	496
裁判所事務官総合職	0	0	18
裁判所事務官一般職	5	*	1,080
家庭裁判所調査官補（大卒）	3	*	61
防衛省職員専門職	4	1	99
自衛隊幹部候補	6	2	149
航空管制官	0	0	42
司法試験	7	4	1,421
公認会計士	9	5	1,360
看護師	70	2	59,344
保健師	20	0	7,094
助産師	10	0	2,077

\*は非公開につき不明

資料提供：人事院他

### 教育職員免許状取得者数

（2022年3月31日現在）

	中学校 1種	高校 1種	中学校 専修	高校 専修	養護 1種	合計
国語	10	10	2	2	—	24
社会	26	—	3	—	—	29
数学	4	5	0	0	—	9
理科	7	7	2	2	—	18
宗教	10	10	1	1	—	22
地理歴史	—	21	—	2	—	23
公民	—	29	—	2	—	31
英語	39	40	2	2	—	83
ドイツ語	1	1	0	0	—	2
フランス語	0	0	0	0	—	0
スペイン語	—	0	0	0	—	0
ロシア語	—	2	0	0	—	2
ポルトガル語	—	0	0	0	—	0
情報	—	0	—	0	—	0
工業	—	0	—	0	—	0
福祉	—	0	—	0	—	0
養護	—	—	—	—	11	11
合計	97	125	10	11	11	254

※数字は延べ人数

※—は課程認定なし

※一括申請受付分

# 国際交流

## 交換留学協定校数・学術交流協定校数、派遣／受入交換留学生数

(2022年3月31日現在)

国・地域	交換留学・学術交流協定校数	2021年度派遣交換留学生数(上智→海外)	2021年度受入交換留学生数(海外→上智)
インド	12 (11)		
インドネシア共和国	7 (2)		2
カンボジア王国	2 (1)		
シンガポール共和国	3 (1)		
スリランカ民主主義共和国	1 (1)		
タイ王国	10 (5)	2	3
大韓民国	9		5
台湾	3	2	6
中華人民共和国	26 (5)	5	10
フィリピン共和国	3	1	2
ブルネイ・ダルサラーム国	1		
ベトナム社会主義共和国	3 (1)		
マレーシア	4 (1)		
ミャンマー連邦共和国	1 (1)		
モンゴル国	1 (1)		
ラオス人民民主共和国	1 (1)		
イスラエル国	1 (1)		
トルコ共和国	1		
ヨルダン	1 (1)		
レバノン共和国	1		
アイスランド共和国	1		
アイルランド	1	2	
イタリア共和国	8 (1)	2	4
ウズベキスタン共和国	1		
英国	17 (2)	15	11
オーストリア共和国	1	1	
オランダ王国	3	4	8
カザフスタン共和国	1		1
北マケドニア共和国	1 (1)		
キプロス共和国	1		
クロアチア共和国	2		
コソボ共和国	1 (1)		
スイス連邦	5	5	4
スウェーデン王国	4	6	1
スペイン王国	16	10	13
スロベニア共和国	1		
チェコ共和国	2		
デンマーク王国	1	3	1
ドイツ連邦共和国	28	33	19
ノルウェー王国	2	1	1
ハンガリー	2		
フィンランド共和国	3	4	4
フランス共和国	27 (3)	20	31

国・地域	交換留学・学術交流協定校数	2021年度派遣交換留学生数(上智→海外)	2021年度受入交換留学生数(海外→上智)
ベラルーシ共和国	2		
ベルギー王国	3		1
ポーランド共和国	2	3	
ボスニア・ヘルツェゴビナ	1 (1)		
ポルトガル共和国	4	5	
リトアニア共和国	2	1	2
リヒテンシュタイン公国	1		
ルーマニア	1		
ルクセンブルク大公国	1		
ロシア連邦	11	3	2
北米	80 (3)	60	20
カナダ	9	6	2
アルゼンチン共和国	2		
ウルグアイ東方共和国	1		
グアテマラ共和国	1		
コスタリカ共和国	1 (1)		
コロンビア共和国	2		
ジャマイカ	1 (1)		
チリ共和国	2		1
ブラジル連邦共和国	5	2	2
ペルー共和国	2		
メキシコ合衆国	10 (1)		4
オーストラリア連邦	15	5	
ニュージーランド	1		
フィジー共和国	1		
ミクロネシア連邦	1 (1)		
エジプト・アラブ共和国	1		
エチオピア連邦民主共和国	1 (1)		
ガーナ共和国	1 (1)		
カメルーン共和国	1		
ケニア共和国	1 (1)		
コートジボワール共和国	2 (1)		1
タンザニア連合共和国	1 (1)		
チュニジア共和国	1 (1)		
ブルキナファソ	1 (1)		
ベナン共和国	1		
マラウイ共和国	1 (1)		
南アフリカ共和国	2		
合計	396 (57)	201	161

※協定校数( )内は内数で学術交流協定校(学生交換は行っていない)  
 ※交換留学生数は、ACUCAコンソーシアム加盟大学への派遣・受入留学生および在外履修制度による派遣・受入学生、および3+2プログラム派遣学生を含む

## オンライン海外短期プログラム 参加者数

プログラム名	参加者数
海外短期語学講座	94
海外短期研修	22
実践型プログラム「アフリカに学ぶ」	8
実践型プログラム「バンコク国際機関実地研修」	9
インドの社会経済・人間開発に学ぶ： 南インドのケララ州を実例に	10
ジュネーブ国際機関集中研修	23
国際公務員をめざして(実務型国連集中研修)	7
北部タイ・サービスラーニング・プログラム	4
エストニア・スタディーツアー： 持続可能な社会構築に向けた教育の可能性	6
国連の役割と機能	14
多文化共生社会とリーダーシップ (米国ゴンザガ大学プログラム)	12
合計	209

## グローバル教育センター科目(海外拠点)参加者数

プログラム名	参加者数
グローバルインターンシップ科目(短期)	19
合計	19

## 海外留学生対象短期プログラム Sophia Short-term Program参加者数

プログラム名	参加者数
Summer Session in Japanese Language	0
Summer Session in East Asian Studies	27
Summer School for Chinese Students (Stay in Tokyo)	0
Summer School in Global Environmental Studies	22
January Session in Japanese Studies	27
Winter School for Chinese Students (Stay in Tokyo)	0
Winter Session in Global Environmental Studies	71
Northeastern University Program	0
Javeriana University Program	0
華南師範大学	0
合計	147

※本学正規生の参加者数は含めず。3日間以上本学にて授業を行ったもののみ記載。

交換留学協定校・学術交流協定校

North America

Canada

University of Alberta  
The University of British Columbia  
King's University College at the University of Western Ontario  
Université Laval  
The University of Manitoba  
McGill University  
University of Regina  
University of Victoria  
Université de Montréal

U.S.A.

Arizona State University  
The University of Arizona  
Boston College ※2  
California State University, Fullerton  
University of California, Santa Cruz  
Canisius College ※2  
The Catholic University of America  
Clemson University  
The University of Connecticut  
Creighton University ※2  
University of Colorado Boulder  
DeSales University  
Duquesne University  
Fairfield University ※2  
George Mason University  
Georgetown University ※2  
University of Georgia  
Gonzaga University ※2  
Haverford College  
University of Hawaii at Manoa  
College of The Holy Cross ※2  
John Carroll University ※2  
The University of Kansas  
Le Moyne College ※2  
Loyola Marymount University ※2  
Loyola University Chicago ※2  
Loyola University New Orleans ※2  
University of Louisiana at Lafayette  
Marquette University ※2  
University of Massachusetts Amherst  
The University of Massachusetts Boston  
University of Miami  
University of Minnesota  
The University of Mississippi  
University of Missouri-Columbia  
University of Montana  
The New School  
University of North Carolina at Chapel Hill  
University of North Carolina at Charlotte  
North Carolina State University  
University of North Florida  
Northwest Missouri State University  
The University of Notre Dame du Lac  
Occidental College  
Pace University  
University of Pennsylvania  
The University of Pittsburgh  
University of Portland  
Rose-Hulman Institute of Technology  
Saint Mary's University of California  
Saint Joseph's University ※2

Saint Peter's University ※2  
The College of Saint Rose  
San Diego State University  
San José State University  
University of San Francisco ※2  
Santa Clara University ※2  
The University of Scranton ※2  
Seattle University ※2  
Seton Hall University  
St. John's University  
St. Mary's University  
St. Norbert College  
University of St. Thomas  
Suffolk University  
Tennessee Tech University  
The University of Texas at Austin  
University of Virginia  
Washington and Jefferson College  
University of West Florida  
University of West Georgia  
Winona State University  
University of Wisconsin-Madison  
University of Wisconsin-Whitewater  
Wittenberg University  
Xavier University ※2  
York College of Pennsylvania  
The University of California, Berkeley ※1  
University of California, Los Angeles, School of Nursing ※1  
Fordham University ※1 ※2  
小計……………89校

Asia

Brunei

Universiti Brunei Darussalam

China

Beijing Foreign Studies University  
Central University of Finance and Economics  
China Foreign Affairs University  
Dalian University of Technology  
Fudan University  
Harbin Institute of Technology  
Nankai University  
Peking University  
Renmin University of China  
Shanghai International Studies University  
Tsinghua University  
Wuhan University  
Xiamen University  
The Chinese University of Hong Kong  
The Chinese University of Hong Kong, Shenzhen  
Hong Kong University of Science and Technology  
The University of Hong Kong  
The Education University of Hong Kong  
City University of Hong Kong  
University of Macau  
Xi'an Jiaotong-Liverpool University  
Beijing International Studies University ※1  
Huazhong University of Science and Technology ※1  
Inner Mongolia University of Technology ※1  
University of Electronic Science and Technology of China ※1  
Yanshan University ※1

Indonesia

Universitas Gadjah Mada  
Universitas Indonesia  
IPB University  
Petra Christian University

Sanata Dharma University ※2  
Atma Jaya Catholic University of Indonesia ※1  
Maranatha Christian University ※1

Malaysia

Universiti Kebangsaan Malaysia  
University of Malaya  
Universiti Teknologi Malaysia  
University Utara Malaysia ※1

Philippines

Ateneo de Manila University ※2  
De La Salle University  
University of the Philippines

Singapore

Yale-NUS College  
Singapore Management University  
Nanyang Technological University ※1

South Korea

Catholic University of Daegu  
The Catholic University of Korea  
Hankuk University of Foreign Studies  
Hanyang University  
Pusan National University, College of Humanities  
Seoul National University  
Sogang University ※2  
Sookmyung Women's University  
Yonsei University

Taiwan

Fu Jen Catholic University ※2  
National Chengchi University  
National Taiwan University

Thailand

Chiang Mai University  
Chulalongkorn University  
Mahidol University  
Thammasat University  
Kasetsart University

King Mongkut's University of Technology Thonburi ※1  
Khon Kaen University ※1  
Panyapiwat Institute of Management ※1  
Thai-Nichi Institute of Technology ※1  
Xavier Learning Community ※1 ※2

Cambodia

Royal University of Fine Arts ※1  
Royal University of Phnom Penh

India

CHRIST (Deemed to be University)  
Assumption College ※1  
Kristu Jayanti College ※1  
Jadavpur University ※1  
Loyola College of Social Sciences ※1 ※2  
St. Aloysius College ※1 ※2  
St. Berchmans College ※1  
St. Joseph's College ※1 ※2  
St. Teresa's College ※1  
St. Xavier's College, Ahmedabad ※1 ※2  
St. Xavier's College, Kolkata ※1 ※2  
St. Xavier's College, Mumbai ※1 ※2

Laos

National University of Laos ※1

Myanmar

Yangon Technological University ※1

Mongolia

Mongolian University of Science and Technology ※1

Sri Lanka

The University of Colombo ※1

Vietnam

VNU University of Social Sciences and Humanities, Hanoi  
Foreign Trade University  
Can Tho University ※1

小計……………87校

Latin America

Argentina

Universidad Católica de Córdoba ※2  
Universidad del Salvador

Brazil

Universidade de Brasília  
Universidade Estadual de Campinas  
Pontifícia Universidade Católica do Rio Grande do Sul  
Pontifícia Universidade Católica de São Paulo  
Universidade de São Paulo

Chile

Pontifícia Universidad Católica de Chile  
Universidad Alberto Hurtado ※2

Colombia

Pontificia Universidad Javeriana ※2  
Universidad de los Andes

Costa Rica

University for Peace ※1

Guatemala

Universidad Rafael Landívar ※2

Mexico

Universidad de Guadalajara  
Universidad de Guanajuato  
Universidad Iberoamericana Ciudad de México ※2  
Universidad Iberoamericana León ※2  
Instituto Tecnológico Autónomo de México  
Instituto Tecnológico y de Estudios Superiores de Monterrey

Instituto Tecnológico y de Estudios Superiores de Occidente ※2  
Universidad Nacional Autónoma de México  
El Colegio de México  
Instituto de Investigaciones Dr. José María Luis Mora ※1

Peru

Universidad Pacífico  
Pontificia Universidad Católica del Perú

Uruguay

Universidad Católica del Uruguay ※2

Jamaica

The University of West Indies ※1

小計……………27校

※1 学術交流協定のみ  
 ※2 イエズ会大学

## Europe

<b>Austria</b> Karl-Franzens-Universität Graz	Ruprecht-Karls-Universität Heidelberg Universität zu Köln Hochschule für Wirtschaft und Gesellschaft Ludwigshafen Martin-Luther-Universität Halle-Wittenberg Hochschule für Philosophie München ※2 Universität Paderborn Universität Rostock Universität des Saarlandes Philosophisch-Theologische Hochschule Sankt Georgen ※2 Technische Hochschule Nürnberg Georg Simon Ohm Universität Trier Eberhard Karls Universität Tübingen Universität Witten/Herdecke Hamburg University University of Bamberg Universität Duisburg-Essen Universität Erfurt Ludwig-Maximilians-Universität München Julius-Maximilians-Universität Würzburg	<b>Russia</b> Far Eastern Federal University Herzen State Pedagogical University of Russia Moscow City University Moscow State Institute of International Relations (University) of the Ministry of Foreign Affairs of the Russian Federation Moscow State University Moscow State Linguistic University Petrozavodsk State University Ryazan State University Saint Petersburg State University Saint-Petersburg State University of Culture Voronezh State University
<b>Belarus</b> Belarusian State University Minsk State Linguistic University	<b>Hungary</b> Eötvös Loránd University The University of Pécs	<b>Slovenia</b> University of Ljubljana
<b>Belgium</b> Universiteit Antwerpen Université Catholique de Louvain Université de Namur ※2	<b>Iceland</b> University of Iceland	<b>Spain</b> Universitat Autònoma de Barcelona Universidad de Burgos Universidad Católica de Valencia San Vicente Mártir Universidad Pontificia Comillas ※2 Universidad de Córdoba Universidad de Deusto ※2 Universidad de Granada Universidad de Jaén Universidad de La Laguna Universidad de Las Palmas de Gran Canaria Universidad Autónoma de Madrid Universidad Loyola Andalucía ※2 Universidad de Navarra Universidad de Salamanca Universidad de Sevilla Universitat de València
<b>Bosnia-Herzegovina</b> University of Sarajevo ※1	<b>Ireland</b> Dublin City University	<b>Sweden</b> University of Gothenburg Linköping University Uppsala Universitet Umeå University
<b>Czech Republic</b> Anglo-American University Charles University, Faculty of Arts	<b>Italy</b> Università di Cagliari Università Carlo Cattaneo Università Cattolica del Sacro Cuore Università Ca' Foscari Venezia Università degli studi di Napoli "L'Orientale" Università degli Studi di Perugia Università di Roma "La Sapienza" Università per Stranieri di Perugia ※1	<b>Switzerland</b> Franklin University Switzerland The Graduate Institute of International and Development Studies Université de Genève Universität St.Gallen Zurich University of Applied Sciences
<b>Croatia</b> University of Zagreb The Zagreb School of Economics and Management	<b>Kazakhstan</b> Al-Farabi Kazakh National University	<b>U.K.</b> Birkbeck, University of London The University of Birmingham University of Bristol De Montfort University University of East Anglia The University of Edinburgh University of Hertfordshire University of Leeds Newcastle University The University of Reading The University of Stirling University of London the School of Oriental and African Studies The University of Sheffield St Mary's University Twickenham London York St John University University of Bath ※1 Liverpool Hope University ※1
<b>Cyprus</b> University of Cyprus	<b>Kosovo</b> University of Prishtina ※1	<b>Uzbekistan</b> Tashkent State Institute of Oriental Studies 小計…………… 157校
<b>Denmark</b> Aarhus University	<b>Liechtenstein</b> University of Liechtenstein	
<b>Finland</b> Aalto University School of Business Hanken School of Economics The University of Turku	<b>Lithuania</b> Vilnius University Vytautas Magnus University	
<b>France</b> Université d'Aix-Marseille Université d'Angers Université Catholique de l'Ouest in Angers EAC Group Business School of Arts, Culture and Luxury Burgundy School of Business École Supérieure des Sciences Commerciales D'Angers École Supérieure de Commerce et Management Université de Franche-Comté, Besançon Institut Catholique de Paris Institut d'Etudes Politiques de Grenoble Institut d'Etudes Politiques de Paris Institut National des Langues et Civilisations Orientales NEOMA Business School Université Catholique de Lille Université de Lille Université Catholique de Lyon Université Panthéon-Assas Paris II Université Paris X Nanterre Université Bordeaux Montaigne Université Jean Moulin Lyon 3 Université de Strasbourg ESSEC Business School Institut Catholique de Toulouse Université Paris-Dauphine École française d'Extrême-Orient ※1 Université de Lorraine ※1 Sorbonne Université ※1	<b>Luxembourg</b> Université du Luxembourg	
<b>Germany</b> Universität Bayreuth Rheinische Friedrich-Wilhelms-Universität Bonn Freie Universität Berlin Technische Universität Berlin Bremen University of Applied Sciences Heinrich-Heine-Universität Düsseldorf Katholische Universität Eichstätt-Ingolstadt European University Viadrina Albert-Ludwigs-Universität Freiburg	<b>Netherlands</b> University of Amsterdam, Faculty of Social and Behavioural Sciences Leiden University Rotterdam Business School	
	<b>North Macedonia</b> Ss. Cyril and Methodius University in Skopje ※1	
	<b>Norway</b> University of Oslo University of South-Eastern Norway	
	<b>Poland</b> Jagiellonian University Warsaw University of Technology	
	<b>Portugal</b> Universidade de Aveiro Universidade de Coimbra Universidade do Minho Universidade do Porto	
	<b>Romania</b> University of Bucharest	

## Oceania

<b>Australia</b> The University of Adelaide Australian Catholic University Deakin University Griffith University La Trobe University Macquarie University The University of Melbourne The University of Notre Dame Australia The University of Queensland Royal Melbourne Institute of Technology (RMIT University) The University of Sydney University of Technology, Sydney The University of Western Australia University of Wollongong Western Sydney University
<b>Fiji</b> The University of the South Pacific
<b>Micronesia</b> College of Micronesia-FSM ※1
<b>New Zealand</b> The University of Auckland 小計…………… 18校

## Africa

<b>Benin</b> Université d'Abomey-Calavi
<b>Burkina Faso</b> University Ouaga II ※1
<b>Cameroun</b> Catholic University of Central Africa ※2
<b>Côte d'Ivoire</b> Centre de Recherche et d'Action pour la Paix ※2 Université Félix Houphouët-Boigny ※1
<b>Egypt</b> Egypt-Japan University of Science and Technology
<b>Ethiopia</b> Addis Ababa University ※1
<b>Ghana</b> Catholic Institute of Business and Technology ※1
<b>Kenya</b> Hekima University College ※1 ※2
<b>Malawi</b> University of Malawi ※1
<b>South Africa</b> University of Pretoria, Faculty of Humanities Stellenbosch University

<b>Tanzania</b> Sokoine University of Agriculture ※1
<b>Tunisia</b> University of Sousse ※1 小計…………… 14校

## Middle East

<b>Israel</b> Tel Aviv University ※1
<b>Jordan</b> The University of Jordan ※1
<b>Lebanon</b> Université Saint-Joseph ※2
<b>Turkey</b> Istanbul Bilgi University 小計…………… 4校

## 学生納付金

### 学部新入生

(単位：円)

	神学部・文学部（新聞学科除く）・総合人間科学部 （心理学科・看護学科除く）・法学部 経済学部・外国語学部・総合グローバル学部 ※SPSFを除く	新聞学科	心理学科	看護学科	国際教養 学部 SPSF	理工学部
合計	1,272,650	1,312,650	1,349,650	1,816,650	1,490,650	1,814,650

### 学部在学生

(単位：円)

	神学部・文学部（新聞学科除く）・ 総合人間科学部（心理学科・看護学科除く）・ 法学部・経済学部・外国語学部・ 総合グローバル学部		新聞学科	心理学科	
	2020・2019年度 入学者	2018年度 入学者	2020・2019・2018年度 入学者	2020・2019年度 入学者	2018年度 入学者
合計	1,050,000	1,090,000	1,090,000	1,127,000	1,167,000

	看護学科		理工学部	
	2020・2019年度 入学者	2018年度 入学者	2020・2019年度 入学者	2018年度 入学者
合計	1,594,000	1,634,000	1,592,000	1,582,000

### 学部在校生（国際教養学部）

(単位：円)

	2020年度 入学者	2019年度 入学者	2018年度 入学者
在籍料	30,000	30,000	30,000
授業料	499,000	—	—
授業料（1単位あたり）	—	32,200	32,200
教育充実費	105,000	105,000	105,000
同窓会費	—	—	40,000
合計	1,268,000	—	—

### 大学院新入生

(単位：円)

	博士前期課程				修士課程	博士後期課程		
	文科系研究科 （心理学専攻を 除く）	心理学専攻 （基礎心理学 コース）	心理学専攻 （臨床心理学 コース）	理工学 研究科	看護学 専攻	文科系研究科 （心理学専攻を 除く）	心理学 専攻	理工学 研究科
合計	921,400	951,400	1,001,400	1,597,900	1,439,400	803,100	833,100	1,023,600

※大学院長期履修制度及び法学研究科法曹養成専攻、地球環境学研究科の学費を除く

## 大学院在学生

(単位：円)

		文科系研究科（心理学専攻・看護学専攻を除く）		心理学専攻		看護学専攻（修士課程）	理工学研究科	
		2020年度入学者	2019年度入学者	2020年度入学者	2019年度入学者	2020年度入学者	2020年度入学者	2019年度入学者
合 計	博士前期課程	760,000	—	790,000	—	1,278,000	1,436,500	—
	博士後期課程	601,000	641,000	631,000	671,000	—	821,500	861,500

※心理学専攻は基礎心理学コースの金額とする

※大学院長期履修制度及び法学研究科法曹養成専攻、地球環境学研究科の学費を除く

## 法学研究科法曹養成専攻

(単位：円)

	標準（3年制）コース			短縮（2年制）コース	
	2021年度入学者	2020年度入学者	2019年度入学者	2021年度入学者	2020年度入学者
合 計	1,466,020	1,169,000	1,209,000	1,443,680	1,209,000

## 地球環境学研究科

(単位：円)

	博士前期課程		博士後期課程		
	2021年度入学者	2020年度入学者	2021年度入学者	2020年度入学者	2019年度入学者
合 計	1,032,400	871,000	869,100	667,000	707,000

## 助産学専攻科

(単位：円)

	2021年度入学者
合 計	1,456,800

※在学継続の学生、大学院長期履修制度の適用者及び非正規生の学費については別に定める

奨学金

法人の概要

高等教育部門—上智大学

中等教育部門

財務の概要

新入生奨学金	対象	本学を第一志望とする学部新入生及び大学院新入生。経済的理由により入学が困難、かつ本学に入学する以前の成績が優秀な者。入試出願と同時期に要申請。
	給付額	初年度の授業料相当額、授業料半額相当額、授業料3分の1相当額のいずれか。
ジョン・ニッセル杯奨学金	対象	本学の学部入学を許可された者のうち、入学以前の学校在籍時に本学が主催するジョン・ニッセル杯において6位までに入賞した者。
	給付額	修業年限内の授業料相当額、半額相当額、3分の1相当額のいずれか（毎年継続審査あり）。
修学奨励奨学金	対象	学業成績が良好であるにもかかわらず、経済的理由で学業の継続が困難と認められる学部生及び大学院生（家計支持者の死亡等による家計急変者については募集の時期に関わらず対象）。
	給付額	授業料相当額、授業料半額相当額、授業料3分の1相当額のいずれか。
大規模災害による学生納付金減免及び生活支援金給付	対象	災害救助法に適用された地域に本人または保証人住所を持つ学部生及び大学院生。
	給付額	入学金、授業料については全壊：授業料相当額、半壊：授業料半額相当額のいずれか。また生活支援金として、自宅外通学者5万円、自宅通学者3万円給付。
カトリック高等学校対象特別入学試験奨学金	対象	上智大学カトリック高等学校対象特別入学試験に合格した学部新入生で、経済的理由により入学が困難、かつ本学の建学の理念を十分に理解し将来その発信者として活躍しうる者。入試出願と同時期に要申請。
	給付額	修業年限内の授業料相当額、授業料半額相当額、授業料3分の1相当額のいずれか（毎年継続審査あり）。
利子補給奨学金	対象	上智大学が提携する金融機関のローンを契約し学費を納入した者。
	給付額	教育ローン利息分（上限あり）
デュアルディグリープログラム奨学金	対象	デュアルディグリープログラムに参加する学業成績が極めて優秀と認められる大学院生。
	給付額	留学中の本学授業料及び教育充実費相当額
大学院内部進学奨励金	対象	本学博士前期から後期課程に内部進学する高度な研究能力を有する優秀な大学院生。
	給付額	300,000円（修業年限、毎年継続審査あり）
若手研究者育成奨学金	対象	研究業績が優秀な博士後期課程学生。
	給付額	300,000円
法科大学院在学学生特別奨学金	対象	学業成績等が優秀で、将来国内外の様々な社会的要請に貢献できる優秀な法曹に至る見込みのある法科大学院在学学生。
	給付額	授業料相当額または授業料半額相当額
外国人留学生生活支援奨学金	対象	学業成績良好かつ経済的支援が必要と思われる私費外国人留学生。
	給付額	300,000円
篤志家奨学金	対象	篤志家の寄付による奨学金で、それぞれの篤志家の意向に適合すると認められる優秀な学生を支援するもの。 〈出願制〉・森善文・母子家庭父子家庭支援（母子・父子家庭の学部生・大学院生）・松本あす加・ドイツ語学科（ドイツ語圏への留学が決定し、経済的理由により学業の継続が困難なドイツ語学科生）・理工学部同窓会（理工学部開講の「夏期・春期休暇海外短期研修プログラム」参加学生）・教育学科（教育学科生）・竹島久子イギリス研究（イギリス留学決定者またはイギリスに強い関心を持ち、イギリス文学、政治、経済、外交、歴史等イギリスを研究領域とする日本人の学部3年次生、4年次生及び大学院生）・川中なほ子（神学又はJ・H・ニューマンを研究対象とする学部生・大学院生）・ティヤール・ド・シャルダン（優秀な課題論文を提出した学部4年次生及び大学院生）・優心（心理学科に所属する関東地方を除く地域から進学した自宅外通学生）・経済学部・経賢会（海外留学経験者、ボランティア、ゼミ、部・サークル活動で成果を上げた経済学部生）・学生寮（学業、課外活動、その他社会貢献活動で活躍している学部生・大学院生）・UD TRUCKS GLOBAL CHALLENGE SCHOLARSHIP（グローバル社会における諸問題に関心があり、将来グローバル企業等で活躍する高い志を持つ学部1年次生～3年次生及び大学院博士前期課程1年次生）・樹ソフィアキャンパスサポート生活支援（家庭環境の急変等により修学の継続が困難となった学部生・大学院生）・理工学振興会（理工学研究科生）・創立100周年上智・聖母看護（看護学科を第一志望に受験した一般入試成績上位者）・ソフィア会生活支援（公募制推薦入試に合格した者のうち、首都圏（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県）以外の地域出身かつ進学後に自宅外通学をする者）・フランク・アンド・ジェーン・スコリノス（学部生、学業成績が良好で経済的理由で学業の継続が困難な私費外国人留学生）・センチュリー（アジア諸国出身の私費外国人留学生）・アジア留学生（東・東南アジアからの、学部1年次生及び大学院1年次生を除く私費外国人留学生）・ダイキン留学生（論文を提出しその評価が優れている私費外国人留学生）・住友商事（ベトナム国籍を有する私費外国人留学生）・第一興商（東南アジア及び東アジアからの私費外国人留学生）・中国留学生会（中国国籍を有し、学業成績が優秀でかつ経済的理由により学業の継続が困難な私費外国人留学生）・理工学部企業経営者の会（理工学研究科博士後期課程に在籍し、優秀な研究業績を収め、将来の活躍が大いに期待される者）
	給付額	〈推薦制〉・ハル濱学院顕彰（ロシア・ソ連研究を志し、それを証する成果を上げたロシア語学科生及び大学院生）・大泉（文・総合人間科学部生）・国文（国文学科・国文学専攻生）・セントルイス（フランス文学科生及びフランス文学専攻生）・ラッセル・ブライズ（新聞学科3年次生・4年次生）・CNA保険（日本国籍を有し、学業成績が優秀で、文化、政治、法律及び経済のいずれかの分野で国際研究を行う神・理工を除く各学部3年次生・4年次生）・西村（イスパニア語学科生）・沼田拓実（化学分野を専攻する理工学部生）・独文・独語（ドイツ文学科生及びドイツ語学科生）・神学部（神学部生）・熊谷（神学研究科生）・創立100周年上智・聖母看護（看護学科生）・愛和会緩和ケア看護（がん・緩和ケア看護の分野を学ぶ総合人間科学研究科看護学専攻学生）・レモス（国際教養学部生）・ソフィアLAWファウンドA制度（法学部及び法科大学院生）・経賢会（経済学部生）・後援会（経済的理由により学業の継続が困難な学部生）・SOPHIAプレート（経済的理由により学業の継続が困難な学部生・大学院生）・英語学科先哲（学部生）・伊藤鎮（海外の学会で研究成果を発表する理工学研究科理工学専攻機械工学領域学生）・原子物理学国際交流（原子物理学を研究する大学院生のうち、奨学金による補助が必要な留学生、あるいは国際会議等での発表にあたり奨学金による補助が必要な学生）・フランシスコ・スアレス（大学及び入学試験の成績が優秀で、将来国内外の様々な社会的要請に貢献できる優秀な法曹に至る見込みのある法科大学院新入生）・ヴァカーリ（国際教養学科の2年次生～4年次生の私費外国人留学生）・ロベール・J・パロン（グローバル社会専攻及び国際教養学部の私費外国人留学生）・二幸産業株式会社記念（経済的に困難な東南アジア・南アジア・アフリカ出身の私費外国人留学生）・チレル株式会社記念（経済的に困難な東南アジア・アフリカ出身の私費外国人留学生）・フォス神父・ディーターズ神父・木村説二記念（経済的に困難なアフリカ出身の私費外国人留学生）・理工学部同窓会（本学理工学研究科博士後期課程への進学を目指し、早期卒業制度の適用が認められた学部3年次生・博士前期課程1・2年次生） 〈その他〉・四枢機卿奨学金（ミャンマー司教団等から推薦されたカトリック信者である私費外国人留学生）・難民学生支援奨学金（国連難民高等弁務官（UNHCR）駐日事務所から推薦された難民もしくは難民の背景をもつ私費外国人留学生）・MCT-上智大学地球環境学研究科留学計画特別奨学金（国際協力推進協会（APIC）との教育提携にもとづき本学大学院地球環境学研究科に私費留学する、ミクロネシアで環境活動に従事する研究者）・イエズス会推薦外国人学生奨学金（イエズス会より推薦され原則としてアフリカ地域からのイエズス会士又はイエズス会神学生である外国人学生／又はMyanmar Jesuit Regionより推薦された私費外国人留学生）
海外指定校奨学金	対象	本学を第一希望とし、本学海外指定校からの推薦を受け入学が許可された私費外国人留学生を対象に奨学金を給付するもの。
	給付額	・海外指定校奨学金（インドネシア）・海外指定校奨学金（ミクロネシア）・海外指定校奨学金（東ティモール）

# 研究・知的財産等

## 教育・研究事業の採択状況

- (a) 文部科学省 スーパーグローバル大学等創成支援事業（タイプB）〔2014年度～2023年度〕  
「多層的ハブ機能を有するグローバルキャンパスの創成と支援ガバナンスの確立」
- (b) 大学共同利用機関法人人間文化研究機構 ネットワーク型基幹研究プロジェクト 地域研究推進事業  
「現代中東地域研究」〔第三期 2016年度～2021年度〕
- (c) 文部科学省 大学の世界展開力強化事業（COIL型教育を活用した米国等との大学間交流形成支援）〔2018年度～2022年度〕  
「人間の安全保障と多文化共生に係る課題発見型国際協働オンライン学習プログラムの開発」
- (d) 独立行政法人国際交流基金 アジア・文化創造協働助成 「アンコール・ワット修復人材養成プロジェクト」
- (e) 文部科学省 科学技術人材育成費補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（調査分析）〔2021年度～2022年度〕  
「海外先進事例を通じた私立大学におけるダイバーシティ推進モデルのための調査研究」  
※同志社大学（代表機関）、上智大学（共同実施機関）
- (f) 三菱みらい育成財団「21世紀型教養教育プログラム」 「基盤教育構想—全学共通科目の見直しによる新しい教養教育の実践」
- (g) 公益社団法人 国土緑化推進機構 「緑と水の森林ファンド」公募事業 「ソフィアの森」の整備

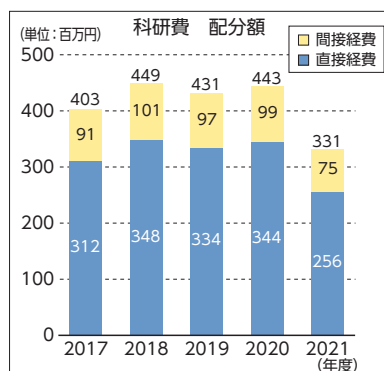
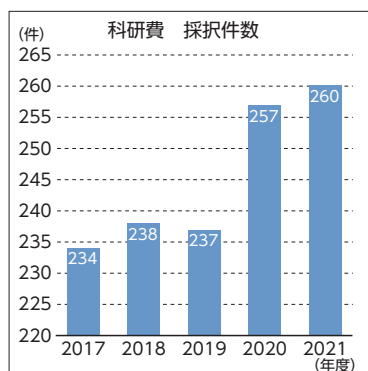
## 科学研究費助成事業（科研費）（文部科学省・日本学術振興会）

（※括弧内は2020年度との比較。金額は百万円未満四捨五入）

（単位：百万円）

件数	260件（3件増）
金額	331百万円（112百万円減）
直接経費	256百万円（88百万円減）
間接経費	75百万円（24百万円減）

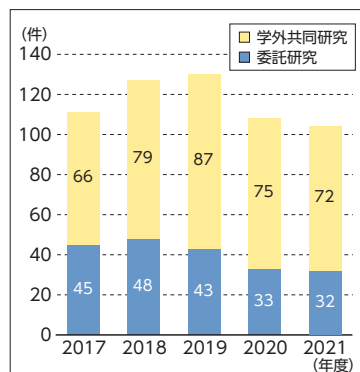
年度	2017	2018	2019	2020	2021	
採択件数	234	238	237	257	260	
金額	直接経費	312	348	334	344	256
	間接経費	91	101	97	99	75
	合計額	403	449	431	443	331



## 委託研究・学外共同研究（※括弧内は2020年度との比較）

委託研究	32（1件減）
学外共同研究	72（3件減）

年度	2017	2018	2019	2020	2021
委託研究	45	48	43	33	32
学外共同研究	66	79	87	75	72



## 知的財産（※括弧内は2020年度との比較）

特許出願・登録状況	特許出願件数	35件	国内：16件（10件減）、海外：19件（16件増）
	特許登録件数	21件	国内：16件（増減無し）、海外：5件（1件減）
発明に係る褒賞授与	2022年2月、研究活動において発明を創出し、本学の知的財産の発展に寄与した特許発明者22人に、褒賞金が支払われた。		

## 事業の概要

### ■ 木造耐火構造の「上智大学15号館」着工

上智学院は、2021年4月に、建設工事における環境負荷が少なくCO<sub>2</sub>排出量の削減と森林資源の循環利用推進の観点から、木造建築を採用した15号館の建設に着手しました。

15号館は、1階に学外者も利用可能なカフェの開設を予定しており、2階及び3階に大学の教室を整備します。麹町大通りに面し、キャンパスから独立した立地であるため、学外からのアクセスが容易であることを活かし、社会人向け講座「プロフェッショナル・スタディーズ」をはじめとした公開講座などの会場としても活用します。

また、地域貢献活動の一環として、1階に近隣町会が利用可能な防災倉庫を設けています。



### ■ コロナ禍での新しい行動様式を呼び掛けるキャンパスルール「Sophia New Normal」を策定

2021年度の対面授業の実施にあたり、新しいキャンパスルールを「Sophia New Normal」(SNN)としてまとめました。コロナ禍でもキャンパスでの活動を止めないために、そして全ての構成員の安心安全を守るために設けられたもので、マスクの正しい着用や黙食の徹底、キャンパスの密回避など、基本的な項目を6原則としてまとめています。

四谷キャンパスでは、教職員によるSNNプロジェクトチームが中心となり、6号館エントランスやメインストリートにポスターなどの掲示を行ってルール遵守を呼びかけています。また、「キャンパスで守る6つのルール編」「飲食時の黙食ルール編」などの動画を制作し、学生向けガイダンスなどで上映しているほか、大学公式YouTubeチャンネルでも公開しています。

その他にも、大学公式Instagramで「上智と私の新しい日常」をテーマにした企画を実施。学生・教職員・警備員や食堂スタッフなどが登場し、コロナ禍での過ごし方についてそれぞれのパー

ソナルストーリーを語るインタビューが好評を博しています。

プロジェクトチームは、「SNNでは、『Caring for Each Other—みんなのために、自分のために』をメッセージに掲げています。禁止事項を一方向的に伝えるコミュニケーションではなく、相手を思いやり、前向きな気持ちでコロナ禍での新しいキャンパスライフを送ることができるように今後も活動を行っていききたい」と話しています。



SNNメインロゴ



6号館エントランス

### ■ 三浦まり教授がフランス政府より国家功労勲章シュバリエを受章

2021年6月11日、三浦まり教授（法学部地球環境法学科）が、「男女同数」を意味するフランス語「パリテ」の考えを日本に広めたとして、東京都内のフランス大使館に招かれ、フィリップ・セトン駐日フランス大使より国家功労勲章シュバリエを受章しました。国家功労勲章は、レジオン・ドヌール勲章とともに大統領の決定により、フランス政府から与えられる勲章です。

三浦教授はパリテとジェンダー平等の問題に深く関わり、政治分野における男女共同参画推進法の成立に尽力。政治参加を希望する女性を対象にした数多くの講演会やワークショップの開催に貢献するとともに、2018年にはパリテ・アカデミーを設立しました。

幼少期をフランスで過ごした三浦教授は、慶応義塾大学法学部卒業後、アメリカのカリフォルニア大学バークレー校で政治学の博士号を取得。東京大学社会科学研究所研究機関研究員

を経て2003年より本学で教鞭を執り、政党政治のダイナミズムが法政策の形成に及ぼす影響を研究しています。主な研究領域は、政治とジェンダー、福祉国家論、現代日本政治論です。



左から三浦まり教授、フィリップ・セトン駐日仏大使

## ■ 関西学院大学とオンライン留学を考えるシンポジウムを開催

2021年6月20日、上智大学は関西学院大学と共催で合同シンポジウム「オンライン留学を語ろう！～学生とともに考える、オンライン国際教育の可能性～」を開催しました。共にキリスト教精神を基底とし、国際性・隣人性を意識した教育研究活動を行っている関西学院大学とは2018年に教育連携協定を締結しており、文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援事業」の採択大学として、国内大学全体のグローバル化をけん引する立場にもあることから、今回の共同開催に至りました。

大学生、高校生をはじめ、国際教育やオンライン教育に関わる大学関係者など380名が参加したシンポジウムでは、冒頭の森下哲朗グローバル化推進担当副学長による挨拶の後、実際にオンラインによる国際プログラムに参加した両大学の学生4名が自己紹介とともに体験談を発表。その後、コメンテーターに一橋大学全学共通教育センターの太田浩教授を迎え、出口真紀子グローバル教育センター長の進行のもとでパネルディスカッションが行われました。学生たちはそれぞれ「オンライン留学だからこぞできることは何か」などの質問に、南アフリカの人々と

交流をしたり、海外に展開する企業でインターンシップに参加したりといった自身の経験をまじえて回答。総括として太田教授が「オンライン留学は、デジタルで学ぶ国際教育の広がりであり、新しいグローバル教育の手段の一つとしてポジティブにとらえてほしい」とコメントしました。また、最後には、関西学院大学の丸楠恭一副学長が、「オンライン留学は単なる留学の代替ではなく、独自の進化を遂げてゆくだろう。境界線を越えるスピリットを共有し未来を切り開く原動力となることを期待している」と述べ、シンポジウムを締めくくりました。



## ■ ソフィア・アーカイブズ オンライン企画展「学生寮100年」

上智大学は開学以来、「国際化」を指向してきました。その一翼を担っていたのが学生寮です。戦前に設立された当初の学生寮は、カトリック信徒の子弟だけでなく他大学の学生、外国人をも受け入れる多様な交流の場でした。のちの敗戦後の混乱期、学生運動を経た学生寮は、舎監であるイエズス会神父の監督のもと、学生による自治を重んじる組織となってゆきます。そして、1970年代から大学の「国際化」がふたたび意識されるようになると、学生寮は国際交流の場、国際社会で活躍するリーダー養成の場と位置づけられるようになり、現在に至ります。

2021年9月から開催されている企画展「学生寮100年」は、

本学創立当初から学生寮として使用されていた、赤星鉄馬氏（実業家）と大島久直氏（陸軍軍人）の旧邸宅であった建物が1920年に「聖アロイジオ塾」と名付けられてから100年が経過したことを記念し、企画しました。学生寮の歴史を、「国際化」・「カトリック教育」・「学生自治」の3つのキーワードを軸として紹介しています。



<https://www.sophia.ac.jp/static/archives/dormitory/jp/>

## ■ 「30% Club Japan 大学ワーキンググループ」に参画

2021年6月、上智大学は「30% Club Japan 大学ワーキンググループ」に参画しました。

「30% Club」は、企業の重要意思決定機関に占める女性割合の向上を通して、企業の持続的成長の実現を目的とする世界的なキャンペーンで、2010年に英国で創設され、日本では2019年から正式に活動を開始しました。「30% Club Japan」は、2030年までにTOPIX100の女性役員割合を30%にすることを目標としています。

「30% Club Japan」の下、「大学ワーキンググループ」では、大学が教育、研究、社会貢献という幅広い分野でジェンダーダイバーシティの実現に貢献できるよう、大学自らがジェンダーダイバーシティを推進することを目的とし活動しています。

上智大学が輩出している数多くの女性卒業生たちは、国際舞

台で活躍し、男女共同参画社会の実現を果たしています。このことは、国籍や性差を超えた「グローバル市民」として、本学の教育精神「他者のために、他者とともに」を実践していることに他なりません。

上智大学はこれまでも、ダイバーシティ推進に取り組む体制を確立し、多様性の相互理解を身につけた真のグローバル市民をはぐむキャンパス環境の実現に向け、障がい者、LGBT、外国籍の方など、さまざまなマイノリティーの支援にも積極的に取り組んできました。

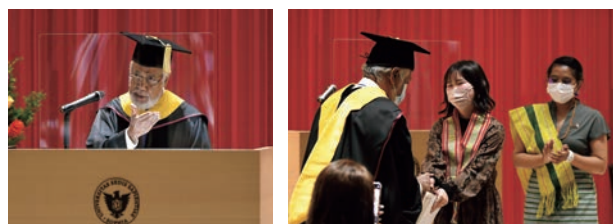
「30% Club Japan 大学ワーキンググループ」に参画することにより、ワーキンググループの各大学とも連携し、より一層本学の取り組みを進めるとともに、ダイバーシティ推進に向け社会に貢献していきます。

## 東ティモール民主共和国元大統領カイ・ララ・シャナナ・グスマン閣下に名誉博士号授与

11月26日、本学は、東ティモール民主共和国元大統領カイ・ララ・シャナナ・グスマン閣下に名誉博士号を授与しました。グスマン閣下は、東ティモール独立運動の指導者として平和的解決を目指し、初代大統領および首相を務めました。また、イエズス会の教育活動に深く共感し、東ティモール政府および聖イグナチオ学院（イエズス会が運営する学校で本学の海外指定校の一つ）と本学との更なる連携を深めていく上で重要な役割を担っています。これらの功績は世界的に高く評価され、かつ本学の建学の精神と相通することから、今回の授与となりました。

式典ではグスマン閣下による記念講演も行われました。グスマン閣下は「世界をより良くするために献身的に働いた聖イグナチオ・デ・ロヨラの遺志を継ぐ本学から名誉博士号を授与されることに身の引き締まる思いがする」と述べ、感謝の意を表しました。また、「多くの有能な若者がいる大学のような場でこそ変

化を起こし始めることができる。学生は過去と現在の失敗から学び、より良い未来を築くことができる。明日の皆さんの実践こそが希望だ」と学生たちを鼓舞しました。講演後は、代表学生が花束を贈呈し、グスマン閣下からは、東ティモールを代表する工芸品の織物「タイス」が贈られました。式典後は会場を移し、東ティモール出身の留学生や本学学生、他大学に在籍する学生も交えた懇談会を実施し、和気藹々のうちに一連の行事を終了しました。



## 「ソフィアン国家公務員と話そう—日本、世界で活躍する先輩たち」を開催

10月25日、国際関係研究所主催の「ソフィアン国家公務員と話そう」（後援：上智大学ソフィア会）がオンラインで開催され、70人以上の学生が参加しました。元本学特別招聘教授、元駐米大使で中曽根平和研究所理事長の藤崎一郎氏（以下、「藤崎元大使」）の企画で、旧称「上智出身の外交官と会おう」を含めると6回目の開催となりました。前半は、鳥居正男ソフィア会会長の挨拶から幕を開け、藤崎元大使は基調講演の中で、自身の外交官経験を交え、「国家公務員は社会への貢献という点で上智大学の建学の精神に沿っており、多くの上智生に総合職を目指してほしいという思いからこの企画を考案した」と言及し、参加者に向け「同じ志を持つ仲間とグループをつくって勉強してほしい」と語りました。合格体験報告では、国家総合職内定者の馬場健さん（20文英卒）、谷田部百合子さん（20理工学専攻情報学領域博前2）と参加者との間で、志望動機、受験勉強や官庁訪問などに関する活発な質疑応答がなされました。後半は、国際関係研究所所長の安野正士教授による挨拶から始まり、元

外務省儀典総括官で東北大学公共政策大学院の今西淳教授（93法法卒）、経済産業省・通商政策局経済連携課の北川幸恵氏（18法国卒）と特別ゲストの外務省大臣官房人事課課長補佐の大西生吹氏も交え、職務のやりがいや働き方、採用に関する学生からの質問に答えました。最後に、藤崎元大使が総括し、江波戸隆明ソフィア会常任委員の挨拶をもって閉会しました。



## 基盤教育構想が三菱みらい育成財団の「21世紀型教養教育プログラム」に採択

本学の『「基盤教育センター」構想—全学共通科目の見直しによる新しい教養教育の実践』が、一般財団法人三菱みらい育成財団の2021年度助成対象に決まりました。同財団の「21世紀型教養教育プログラム」に応募があった44件の中から採択された10件のうちのひとつです。この構想は、絶えず急速に変化する社会で求められる学び続ける力を育てるために、全学共通科目について、専門領域を超えてつなぐ科目群からなる横の軸と、俯瞰・導入から探求・統合に至るまでのレベルで構成する縦の軸で展開するカリキュラムとして刷新するものです。2022年

度入学生を対象とした新カリキュラムでは、本学入学前に大学における学びをイメージし、入学後の学修への動機付けを行う入学前準備科目「学びを学ぶ」（オンデマンド）の視聴から始まり、入学後は、「コア」と「展開知」の二つの科目群の中で6つのカテゴリーに分けられた全学共通科目を所属学科の専門科目や語学科目と有機的に連携させながら、学生たちは自身の学びを深めていきます。今後は、2021年度に設置された基盤教育センターが中心となり、学部・学科や他センターと連携して、学び続ける「基盤」を作るカリキュラム体系の整備を行っていきます。

## 「自然エネルギー大学リーグ」が発足し、上智大学も加盟

2021年6月7日、「自然エネルギー大学リーグ」が発足し、設立総会および記者発表会が行われました。設立総会において、同リーグの代表世話人に千葉商科大学の原科幸彦学長が就任したほか、本学の曄道佳明学長が世話人に就任しました。同リーグは、代表である千葉商科大学を始め、国際基督教大学、和洋女子大学、聖心女子大学、東京外国語大学、長野県立大学、広島大学、東京医科歯科大学および本学の9大学が発足メンバーとして加盟しています。

今般発足した「自然エネルギー大学リーグ」は、大学における自然エネルギーの利活用を促進すること、その取り組みを推進する人材を育成することを目的としています。加盟大学は、自然エネルギー100%の大学を目指し、2030年から2040年までを目途として、自らが定める時期までに再生可能エネルギー100%の電力導入を生産または調達する目標を掲げ、実行していくことが求められています。

## 文部科学省 令和3年度 科学技術人材育成費補助事業 「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（調査分析）」に選定

同志社大学（代表機関）と上智大学は、文部科学省令和3年度（2021年度）科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（調査分析）」に共同申請し、令和3年9月に選定されました（本学実施責任者は岡田学術研究担当副学長、実施期間は令和4年度末まで）。プログラム名称は「海外先進事例を通じた私立大学におけるダイバーシティ推進モデルのための調査研究」であり、その目的は、ダイバーシティ推進における日本の私立大学特有の課題を検証するとともに、課題解決に向けた私立大学の強みを活かしたダイバーシティ推進モデルを構築することです。

具体的な研究活動は、研究環境のダイバーシティを高め、優れた研究成果の創出に繋げるために、女性研究者のライフイベントおよびワーク・ライフ・バランスに配慮した研究環境の整備、女性研究者の研究力向上や上位職への積極登用にに向けた取り組みなどに関する国内および海外の大学・研究機関等における取り組み好事例についての調査・分析です。

調査対象である海外大学・研究機関は、チュービンゲン大学

（ドイツ）、スタンフォード大学、ハーバード大学（アメリカ）、マヒドン大学（タイ）、T.I.M.E Associationの機関であり、うちマヒドン大学は本学主導で実施します。海外調査によって明らかとなる国、地域、機関が有する文化、歴史、社会状況や慣習などを背景とした諸政策や制度に基づき、日本の私立大学におけるダイバーシティ推進のハードルとなる課題を検証することで、私立大学の有する特性や経営的視点を踏まえたダイバーシティ推進モデルの構築を目指します。



## オンライン授業環境整備

2021年度はオンライン授業（ハイフレックス授業／オンデマンド授業）が主流となることが2021年の早い段階で決定されたことを受け、情報システム室では2021年1月から3月までの期間、以下のような環境整備を実施しました。

まず、ハイフレックス授業用設備として、会議用マイクスピーカー（約180台）を購入し、全教室に配備すると同時に、希望者貸出用に会議用webカメラ（約80台）を準備しました。これらについてはFD委員会と協力して利用説明会を開催する一方、4月以降に使用する教室で実践的な接続テストのために教室を開放できるよう各部署への協力を要請しました。

教室内の無線LAN環境については、通常定員の60%の人数がストレスなくネットワークが利用できることを目標に、急ピッチでアクセスポイントの整備を行いました。さらに対外接続回線（10Gbps）の機能を十分に発揮できるようなネットワーク構成の

見直しを行い、4月からのハイフレックス授業の実施に備えました。

2021年4月からは、ハイフレックス授業を支援するための「ハイフレックスサポートデスク」を新設し、特に混乱が予想される期間に限定して学生アルバイト常時20名体制で、いつでも教室に駆けつけることができるよう体制を整えていましたが、実際には大きな混乱はありませんでした。3月までの大学側の準備と、教員たちのスキルアップの努力により、予想以上に順調にオンライン授業が進められていきました。

その他の学生向けのサービスとしては、コンビニのプリンタを学生が無料で利用できる「ネットワークプリントサービス」やオンライン授業用の機材を安価に貸し出す「学生用機材レンタルサービス」などを継続しました。2020年度と比較するとこれらの利用者は減っていますが、キャンパスに来ることがない学生も少なからずあり、一定数の需要は残りました。

## 学生関係トピックス

### 〈学生センター運営Webサイト “FIND SOPHIA”〉

学生センターの情報発信強化を目的とし、2021年9月より運用を開始しました。6か月間に95本の記事を掲出し、アクセス人数\*は14,000人を越えました。

記事の内容は、「上智のいまを発見（学生の活躍＋先生コラム）」、「上智とボランティア」、「上智の学生交流（SSIC活動報告）」、「上智学生記者クラブ通信（Sophia Topics）」の他、大学／学生主催の「イベント情報」や、学食業者の協力を得て日々更新している「Today's Menu」など、在学生にとって大学生活に密着したさまざまな情報を発信しています。

※新規ユーザー数。ただし同一人物が違うブラウザでアクセスした場合は複数回カウントされています。  
【FIND SOPHIA】<https://findsophia.jp/>



### 〈アルペ国際学生寮の寮生達がソフィアオリジナルマイボトルを製作〉

本学直営寮の教育プログラムの中でプラスチック削減の活動をしていたアルペ国際学生寮の寮生達が、四谷キャンパスで展開された「キャンパスライフ環境向上プロジェクト」に加わり、ソフィアオリジナルマイボトルを製作しました。このプロジェクトは、キャンパスに導入されたウォーターサーバーについてより多くの人に知ってもらい利用してもらうことを目的とし、学生の視点を活かして、学生が使ってみたくなるボトルデザインを考えました。完成したオリジナルマイボトルには多くの申し込みがあり、製作した寮生達によって希望者へ届けられました。



### 〈飯館村交流事業～初のオンライン交流～〉

2014年度より協定を締結している福島県飯館村の飯館村立希望の里学園生徒（中3）と本学学生8名が、初のオンラインによる交流を実施しました。

8月は「SDGsに関するワークショップ」、「苦手科目克服のためのアドバイス」、「英語のアクティビティ」等の4日間のプログラムで中学生との交流を深め、9月には飯館村教育委員会より『東日本大震災後10年間における飯館村と学校のあゆみ』の講演があり、学生が震災以降の飯館村や学校の状況について学びました。9月～1月は月1回の交流の場を設け、近況も報告し合いながら、高校受験に向けてのアドバイスを行いました。ま



た、大学生が持ち回りで『上智生通信』を発行し、自身の経験をふまえた応援メッセージを中学生に届けました。学生にとっても自身の軌跡を見つめ直すよい機会となりました。



### 〈体育会所属学生による集団献血〉

4月17日、18日の2日間にわたり、本学体育会と日本赤十字社の合同企画として、四谷キャンパスで体育会所属の学生たちによる集団献血が行われ、2日間で80人の学生が献血に協力しました。

この企画は、コロナ禍で輸血用血液の在庫がひっ迫していることを知ったサッカー部が体育会本部に働きかけを行い、体育会全体として献血に協力することになりました。

体育会所属の学生たちは、ソーシャルメディア等を活用して参加者を集めたほか、献血バスの誘導、必要な机や椅子の設置のサポート、参加受付業務など、当日も多岐にわたり運営をサポートしました。

この集団献血の様子は、テレビニュースやネットニュースでも取り上げられるなど、大きな話題を集めました。



### 〈+Re: (プラリ)の活動とおおぞら銀行との連携〉

「プラスチックの3R」促進を目指す課外活動団体+Re: (プラリ)が、7月5日に「SDGsの理解を深めるワークショップ」をオンライン開催し、おおぞら銀行本店有志の皆様がファシリテーターを務めてくださいました。

同時期に、使い捨てコンタクトレンズの空ケースと使用済みハブラシの回収箱を学内に設置。おおぞら銀行本店にも使い捨てコンタクトレンズ空ケースの回収箱を設置して頂き、+Re:が定期的に回収に伺っています。これらのプラスチック製品の回収は、「アイシティecoプロジェクト」及び「ハブラシ・リサイクルプロジェクト」への参加により、新しい製品への再資源化や障がい者の自立・支援などに役立てられます。

SDGs目標12「つくる責任つかう責任」に貢献する活動の一步をおおぞら銀行の皆様と共に踏み出すことが出来ました。



## 新型コロナウイルス職域接種を実施

本学は、学生・教職員の健康と安全を守り、新型コロナウイルスの流行を抑制する社会的な責任を果たすため、ワクチン職域接種（大学拠点接種）を実施しました。国からのワクチン供給を待ったことにより、当初の計画より規模を縮小し1か月以上遅れての実施となりましたが、SJハウスの訪問診療を担うあけぼの診療所の協力の下、四谷キャンパス2号館1701会議室にて、第1回接種を8月23日から30日、第2回接種を9月20日から29日の期間に実施し、延べ6,713人に接種しました。接種対象者は、上智大学、上智大学短期大学部および上智社会福祉専門学校

の学生、上智学院教職員に加え、四谷キャンパス、目白聖母キャンパス、秦野キャンパスに勤務する協力会社社員、業務受託者、四谷キャンパスにあるテナント、本学が指定する地域連携対象者（近隣大学等）としました。接種人数の内訳は、上智学院3校の学生80%、他大学15%、上智学院教職員4%、テナント・協力会社・業務受託者が1%でした。

さらに政府はその後の第3回接種においても、企業・大学による職域接種を可能とする方針を定め、本学はそれに応じて2022年3月下旬から5月中旬にかけて、再び接種を実施する予定です。

## 日本・スウェーデン研究連携促進事業：MIRAI2.0の活動

科学技術立国を掲げる日本とスウェーデンの両国にある著名な複数大学は、共同研究や研究交流を推進しつつ、特に共同で若手研究者育成のための事業を行うことによって、将来にわたる研究ネットワークの強化促進を目的に2017年にMIRAIの活動を開始しました。本学も2017年から活動に参加しており、現在は、2017年発足当初の理念を継承し、さらなる連携事業に発展させることを企図してMIRAI2.0（2020-2022）として活動を展開しています（2021年度は日本8大学、スウェーデン11大学）。

2020年春以降、新型コロナウイルスの影響で両国間の渡航を中心とした研究者交流は控えざるを得なかったものの、オンライン活用によるResearch & Innovation Week（年次全体イベント）やTEG（Thematic Expert Group）毎のWorkshopやPhD Course等に意欲的に取り組んでいます。

本学は、Materials ScienceとSustainabilityのTEGに参加しており、2021年度は、桑原英樹教授（理工学部機能創造理工学科）がMaterials ScienceのTEG日本側Chairとして重責を果たし、3日間（11/29-12/1）に渡るWorkshop（各日平均参加

者50名）を成功させています。また、MIRAI2.0が両国の共同研究を推し進めるために採択した24件のSeed fundingのうち、本学研究者の2名が採択となっています。

2022年度がMIRAI2.0の最終年度となりますが、これまでに国内外での本学プレゼンス向上、協定校の拡大、若手研究者の国際舞台での活動強化に結び付いていることから、2023年度以降の活動も視野に入れながら、引き続き両国間の研究連携強化を図りたいと考えています。



## 上智学院と日本航空が連携協定を締結

学校法人上智学院と日本航空株式会社（所在地：東京都品川区、代表取締役社長：赤坂 祐二、以下「JAL」）は、教養豊かな人材の育成や未来の豊かな社会創りを目指し、2022年1月21日付で連携協定を締結しました。

### 1. 目的

「サステナブルな社会の実現」という共通の理念を持つ上智大学とJALが連携し、JALのSDGs達成に向けた実践例などを用いて上智大学のサステナビリティ教育・次代を担う人材育成に協力し、また、上智大学の持つ研究知見およびJALの持つ地域ネットワークなど相互の強みを活かした持続可能な地域活性化に取り組み、未来の豊かな社会創りに貢献します。

### 2. 予定されている活動内容

(1) JAL社員によるSDGsなどをテーマにした講義の実施

(2) 環境保全と観光促進による持続可能な地域活性化をテーマとした共同研究の実施

(3) 上智大学へのJAL社員出向による人事交流の実施



## 上智大学短期大学部

上智大学短期大学部では卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針を短期大学部ウェブサイトで公表しています。  
<https://www.jrc.sophia.ac.jp>

### 教職員数等

#### 教職員数

(2021年5月1日現在)

学校区分	教職員区分	本務	兼務	総計
上智大学短期大学部	教員	16	33	49
	職員	12	3	15
総計		28	36	64

※本務教員：専任教員・特別契約教授・特任教員・常勤嘱託教員・実務家教員・出向教員

兼務教員：非常勤嘱託教員

本務職員：専任職員・契約職員・嘱託（一般）職員・嘱託（特別）職員

兼務職員：嘱託（一般）職員（医師等）

※管理部門所属職員は上智大学に算入

#### 年齢別教員数

(2021年5月1日現在)

学校区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	総計
上智大学短期大学部	0	0	3	7	5	1	16

※非常勤講師を除く

※平均年齢57.25（非常勤講師を除く）

#### 職階別教員数

(2021年5月1日現在)

学校区分	教授	准教授	講師	助教	助手	教員	総計
上智大学短期大学部	8	6	1	1	0	0	16

※非常勤講師を除く

#### 教員一人当たり学生数

(2021年5月1日現在)

学校区分	学生数	本務教員数	
		教員数	一人当たり学生数
上智大学短期大学部	464	16	29.00

### 学生数

(2021年5月1日現在)

学校区分	入学定員	収容定員	学生数	収容定員充足率
上智大学短期大学部	250	500	464	92.80%

## 2021年度実施入試（2022年度入学）

入試種別	募集人員	志願者	受験者	合格者	補欠者	補欠繰上合格者	入学者	
総合型選抜（スクーリング方式）	20	15	15	15			15	
学校推薦型選抜（指定校制推薦）	78	81	81	81			81	
学校推薦型選抜（公募制推薦A）	5	4	4	4			4	
学校推薦型選抜（公募制推薦B）	5	1	1	1			1	
総合型選抜（TEAP・英検等利用方式A）	6	8	8	7			6	
総合型選抜（TEAP・英検等利用方式B）	6	1	1	1			1	
その他の入試（卒業生・在学生子女姉妹）	3	1	1	1			1	
その他の入試（帰国生）	3	0	—	—			0	
その他の入試（社会人）	3	0	—	—			0	
一般選抜（A日程）	55	47	45	44	0	—	22	
一般選抜（B日程）	30	27	23	20	0	—	13	
一般選抜（C日程）	15	21	20	18	0	—	11	
総合型選抜 （課題文利用方式）	a	5	1	1	1			1
	b		0	—	—			0
	c		0	—	—			0
	d		1	0	—			0
	e		5	4	3			2
総合型選抜 （TEAP・英検等利用方式C）	I	10	3	3	3			3
	II		0	—	—			0
	III		3	3	3			2
	IV		3	2	2			1
	V		5	5	5			5
総合型選抜 （TEAP・英検等利用方式D）	ア	6	5	5	5			5
	イ		2	2	2			0
	ウ		1	0	—			0
合計	250	235	224	216			174	

### 入学者数推移

学 科	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度	2015年度
英語科	174	185	261	282	268	277	262	241

## 卒業・修了者数等

学 科	卒業者数	退学者数	中退率
英語科	235	21	4.53%

※卒業者数は、2021年9月卒業者、2022年3月卒業者を足し上げた数字である  
 ※退学者数は、2021年度に退学した1年次生、2年次生を足し上げた数字である  
 ※中退率は、2021年度の退学者数を2021年度5月1日時点の在籍者数で割ったものである

## 進路

### 2021年度 卒業者の進路

(人)

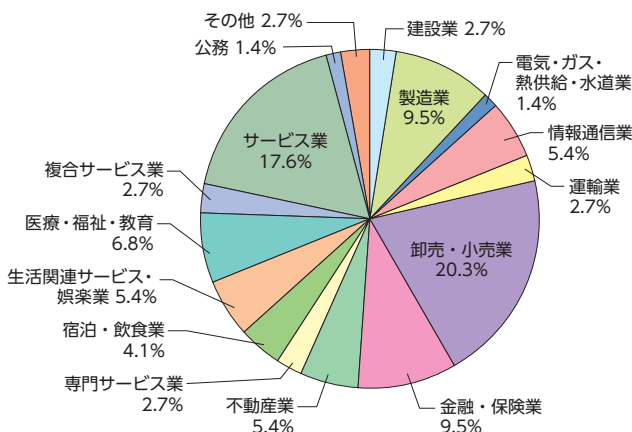
学 科	就職	進学	その他	未届者	合計
英語科	74	123	36	2	235

※「その他」は、編入学試験勉強、就職活動中、アルバイト等を含む。  
 ※2021年9月卒業者を含む  
 ※進学は、大学編入学、1年次から大学進学、留学、専門学校進学

# 就職

## 業種別進路状況

業種	人数	%
建設業	2	2.7%
製造業	7	9.5%
電気・ガス・熱供給・水道業	1	1.4%
情報通信業	4	5.4%
運輸業	2	2.7%
卸売・小売業	15	20.3%
金融・保険業	7	9.5%
不動産業	4	5.4%
専門サービス業	2	2.7%
宿泊・飲食業	3	4.1%
生活関連サービス・娯楽業	4	5.4%
医療・福祉・教育	5	6.8%
複合サービス業	2	2.7%
サービス業	13	17.6%
公務	1	1.4%
その他	2	2.7%
総計	74	100.0%



## 進路先企業一覧

就職先	人数
nattoku住宅株式会社	1
ユーコーコミュニティ株式会社	1
セイコーエプソン株式会社	2
株式会社不二工機	2
日本精工株式会社	1
藤沢工場/藤沢技術開発センター	1
ヒロセ電機株式会社	1
TSC株式会社	1
株式会社ダイナナ	1
株式会社フォーバル	1
ネットチャート株式会社	1
株式会社総合企画	1
ナレッジスイート株式会社	1
日本通運株式会社静岡支店	1
株式会社ビートレーディング	1
サンコーインダストリー株式会社	2
徳永薬局株式会社	2
株式会社アヴァランチ	1
株式会社オギノ	1
神奈川ダイハツ販売株式会社	1
株式会社スズキ自販静岡	1
トヨタカローラ神奈川株式会社	1
株式会社ピーシーデポコーポレーション	1

就職先	人数
株式会社ZOZO	1
有限会社かさい珈琲	1
株式会社久世	1
株式会社富士薬品	1
株式会社ノジマ	1
横浜信用金庫	2
株式会社八十二銀行	1
富国生命保険相互会社	1
アイベット損害保険株式会社	1
気仙沼信用金庫	1
第一生命保険株式会社	1
株式会社START	1
ニッポンレンタカーアーバンネット株式会社	1
株式会社アクティオ	1
株式会社ジェイエーアムニティーハウス	1
株式会社クイック福岡	1
有限会社グリーン動物病院	1
一般財団法人休暇村協会 休暇村富士	1
東急リゾート&ステイ株式会社	1
アパホテル株式会社	1
ノアインドアステージ株式会社	1
株式会社メディビューティー	1

就職先	人数
株式会社ザ・フォウルビ	1
株式会社三公商事	1
医療法人社団武尾歯科	1
医療法人スマイルクリエイト 八戸総合歯科・矯正歯科	1
医療法人福吉会 坂元クリニック	1
社会福祉法人睦月会	1
サンキ・ウエルビィ株式会社	1
秦野市農業協同組合	1
鹿児島きもつき農業協同組合	1
株式会社にしけい	3
株式会社マーキュリー	2
株式会社圓陣	1
Honest Feeling株式会社	1
株式会社ワールドコーポレーション	1
株式会社ウィルオブ・ワーク	1
株式会社アウトソーシングテクノロジー	1
株式会社シーフォース	1
株式会社エフ・オー・プランニング	1
株式会社クラブ・ネットワーク	1
長野県野沢温泉村役場	1
その他	2
合計	74

## 国際交流

### 海外短期語学講座

実施なし

### ミクロネシア留学生受入状況

実施なし

### 海外協定締結状況

相手先	締結日	期間
グロスターシャー大学	2017年7月1日	2017年7月1日 ～2022年6月31日
ポンド大学	2018年6月25日	2018年6月25日 ～2023年6月24日
韓国カトリック大学	2018年4月27日	2018年4月27日 ～2021年4月26日

### 海外スタディーツアー

実施なし

### オンライン語学講座

夏期：単位認定なし

プログラム名	国名	開講期間	参加者数
ウーロンゴン大学付属語学学校 オンラインコース	オーストラリア	2021年8月16日(月) ～8月27日(金)【2週間】	2
ウーロンゴン大学付属語学学校 オンラインコース	オーストラリア	2021年8月16日(月) ～9月10日(金)【4週間】	2
グリフィス大学付属語学学校 オンラインコース	オーストラリア	2021年9月2日(木) ～9月24日(金)【3週間】	1
カリフォルニア大学デービス校 オンラインコース	アメリカ合衆国	2021年8月10日(火) ～9月4日(土)【4週間】	2
マギル大学付属語学学校 オンラインコース	カナダ	2021年8月9日(月) ～8月27日(金)【3週間】	1

春期：単位認定あり(秋学期「留学準備(B)」履修済)

プログラム名	国名	開講期間	参加者数
オークランド大学付属英語学校 オンラインコース	ニュージーランド	2022年2月14日(月) ～3月11日(金)【4週間】	1

## 学生納付金

(単位：円)

	新入生	在学生
合計	1,202,790	945,130

## 奨学金

名称	内容	給付額	対象	採用者数
創立40周年記念 特待生奨学金	一般入試A日程で成績上位3名	初年度の授業料全額相当額、授業料半額相当額、授業料の3分の1相当額のいずれか。	新入生	1
新入生奨学金	本学を第一志望とする新入生。経済的理由により入学が困難、かつ本学に入学する以前の高校の成績が優秀な者。入試出願時、要申請。	初年度の授業料全額相当額、授業料半額相当額、授業料の3分の1相当額のいずれか。	新入生	2
修学奨励奨学金	学業成績が良好である又は学習意欲が高いにもかかわらず、経済的理由によって学業の継続が困難と認められる学生	授業料全額相当額、授業料半額相当額、授業料の3分の1相当額のいずれか。	1.2年	18
同窓会奨学金	新入生奨学金と修学奨励奨学金の出願者の中から、経済的な状況を審査し決定する。各学年1名	各30万円	1.2年	2
	新入生奨学金と修学奨励奨学金の出願者の中から、経済的な状況を審査し決定する。	自宅生 各5万円、自宅外生 各10万円	1.2年	9
ソフィアキャンパス サポート父子母子 家庭支援奨学金	修学奨励奨学金の出願者の中から、父子家庭及び母子家庭の学生に給付	20万円	1.2年	3
利子補給奨学金	金融機関の提携ローンを契約し、学費納入者を対象とする。	提携ローンの残額の利息に基づいて決定	1.2年	0
大規模災害等 による特別措置	本人又は父母(家計支持者)が居住する家屋が、災害救助法適用地域(学長が同規模災害と認めた地域も含む)に指定され、罹災証明書が発行された者で、災害発生後3年以内に本学に入学又は在学している者を対象とする。	・被害状況により給付額が決定され、全壊の場合は授業料全額相当額、大規模半壊又は半壊の場合は授業料半額相当額を給付。 ・授業料減免が認められた者に対して、生活支援金(自宅外通学者 月額5万円、自宅通学者 月額3万円)を給付。	1.2年	1
高等教育の修学支援 新制度授業料等減免 措置	対象者は、住民税非課税世帯や準ずる世帯、生活保護を受給している家庭で自宅外から通学している学生及び、社会的養護を必要とする学生	所得により3つの区分があり、授業料がそれぞれ620,000円(第一区分)、413,400円(第二区分)、206,700円(第三区分)減免される。(年1回に所得の見直しがあり、区分が変更となる。)	1.2年	67
		所得により3つの区分があり、入学金がそれぞれ250,000円(第一区分)、166,700円(第二区分)、83,400円(第三区分)減免される。(年1回に所得の見直しがあり、区分が変更となる。)	1年	30

## 事業の概要

### 認証評価結果とコロナ禍における教育の質保証について

2020年度に作成した自己点検・評価報告書を基に、2021年度に大学・短期大学基準協会による認証評価を受審しました。4つの評価基準内の新たな観点には、教育研究の質の確保・向上に資する内部質保証の体制の構築、学習成果獲得のための3つのポリシーの一貫性・整合性と具体化、自己点検・評価の過程での高等学校等の意見聴取等が加えられ、2021年9月の同協会によるオンライン面接調査を経て、2022年3月に「適格」の機関別評価結果を受けました。

コロナ禍が続く2021年度の授業形態は、対面授業とオンラ

イン(遠隔)授業を併用するハイフレックス型で実施しました。これは、秦野キャンパスの教室内で教員が実施する対面授業に、オンラインで参加を希望する学生がWeb会議システムであるZoomを使って参加し、教員と学内外の全ての学生が双方向でのコミュニケーションをとることを可能とするものです。2020年度に整備した学内のPCおよびAV環境を効果的に活用し、コロナ禍においても教育の質保証を維持することができました。また密を避けるためスクールバス3台体制での送迎、教室のこまめな消毒作業など感染防止対策を十全に行いました。

# 上智社会福祉専門学校

## 教職員数等

### 教職員数

(2021年5月1日現在)

学校区分	教職員区分	本務	兼務	総計
上智社会福祉専門学校	教員	6	24	30
	職員	5	0	5
総計		11	24	35

※本務教員：専任教員・特別契約教授・特任教員・常勤嘱託教員・実務家教員・出向教員

兼務教員：非常勤嘱託教員

本務職員：専任職員・契約職員・嘱託（一般）職員・嘱託（特別）職員

兼務職員：嘱託（一般）職員（医師等）

※管理部門所属職員は上智大学に算入

### 年齢別教員数

(2021年5月1日現在)

学校区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	総計
上智社会福祉専門学校	0	0	2	4	0	0	6

※非常勤講師を除く

※平均年齢51.33（非常勤講師を除く）

### 職階別教員数

(2021年5月1日現在)

学校区分	教授	准教授	講師	助教	助手	教員	総計
上智社会福祉専門学校	0	0	0	0	0	6	6

※非常勤講師を除く

### 教員一人当たり学生数

(2021年5月1日現在)

学校区分	学生数	本務教員数	
		教員数	一人当たり学生数
上智社会福祉専門学校	33	6	5.50

## 学生数

(2021年5月1日現在)

課程	学科	入学定員	収容定員	学生数	収容定員充足率
社会福祉専門課程	社会福祉士・児童指導員科	—	40	19	47.5%
	介護福祉士科	—	40	14	35.0%
精神保健福祉士通信課程（短期）		—	—	—	—
合計		0	80	33	42.5%

※留年者を含む

※精神保健福祉士通信課程（短期）は2020年度を閉課程

## 入試実施状況

課程	学科	2022年度 入学者数	2021年度 入学者数	2020年度 入学者数	2019年度 入学者数	2018年度 入学者数
保育専門課程	保育士科	—	—	—	—	—
社会福祉専門課程	社会福祉士・児童指導員科	—	—	23	22	16
	介護福祉士科	—	—	13	25	32
精神保健福祉士通信課程（短期）		—	—	77	69	80
合計		0	0	113	116	128

※保育士科は2018年度、社会福祉士・児童指導員科、介護福祉士科、精神保健福祉士通信課程は2021年度から募集停止。

## 卒業者数

課程	学科	卒業者数
社会福祉専門課程	社会福祉士・児童指導員科	19
	介護福祉士科	12
精神保健福祉士通信課程（短期）		—
合計		31

※精神保健福祉士通信課程（短期）は2020年度をもって廃止

## 進路

### 2021年度 卒業者の進路

(人)

課程	学科	就職	進学	その他	未届者	合計
社会福祉専門課程	社会福祉士・児童指導員科	12	0	7	0	19
	介護福祉士科	6	3	3	0	12

※「その他」は、編入学試験勉強、資格試験勉強、就職活動中（公務員試験勉強中）、アルバイト等を含む。

## 国家試験

### 国家試験合格状況

	合格者数	受験申込数	合格率
社会福祉士	18	12	66.7%
介護福祉士	11	8	72.7%
精神保健福祉士	—	—	%

※精神保健福祉士通信課程は2020年度をもって閉鎖

## 学生納付金

(単位：円)

	社会福祉専門課程	
	社会福祉士・児童指導員科	介護福祉士科
	2020年度入学者	2020年度入学者
合計	498,500	707,500

## 事業の概要

### 社会福祉専門学校閉校 社専精神を継承

1964年の設立から58年の歴史を有する上智社会福祉専門学校は、2022年3月末、全在校生の卒業をもって閉校いたしました。

上智社会福祉専門学校は、1963年に上智大学社会福祉専修科として当時の厚生省から「社会福祉主事養成機関」として指定されたことにより、学校の歩みを開始しました。その後、課程の増設・改編を経ながら、保育士、社会福祉主事、社会福祉士、児童指導員、介護福祉士、精神保健福祉士といった社会福祉に係る専門職業人を育成すると同時に、本学院の教育精神である「他者のために、他者とともに」をモットーとし、キリスト教ヒューマニズムに基づく全人教育を通して、高い志を有する人材の育成に努めてまいりました。

58年の間に卒業生は6,800人を超え、児童相談所などの公的機関、社会福祉施設、医療関連施設など、たくさんの卒業生が福祉のプロフェッショナルとして活躍されてきました。卒業生の活躍が本校の評判を高め、夜間課程という厳しい環境にもかかわらず、熱意ある学習者が集まる場として、長く歴史を刻んでまいりました。

しかしながら、社会福祉領域における教育の動向は近年大きく変化し、短期で資格取得が可能な通信教育の充実など、多様な養成機関が出現しています。日本の雇用環境も、多くの福祉系教育機関に影響を及ぼしました。その中で、本校は資格取得に必要な科目のみに拘らず専門職業人として求められる教養科目をも重視した特色ある教育を堅持してきましたが、2010年あたりから入学志願者の低迷が続いておりました。この間、たとえば介護福祉士科の夜間3年課程から昼間2年課程への改組、保育士科の他大学との連携による資格取得機会の拡大をはじめ、様々な改革を進めてまいりました。また、定員充足率を向上させ

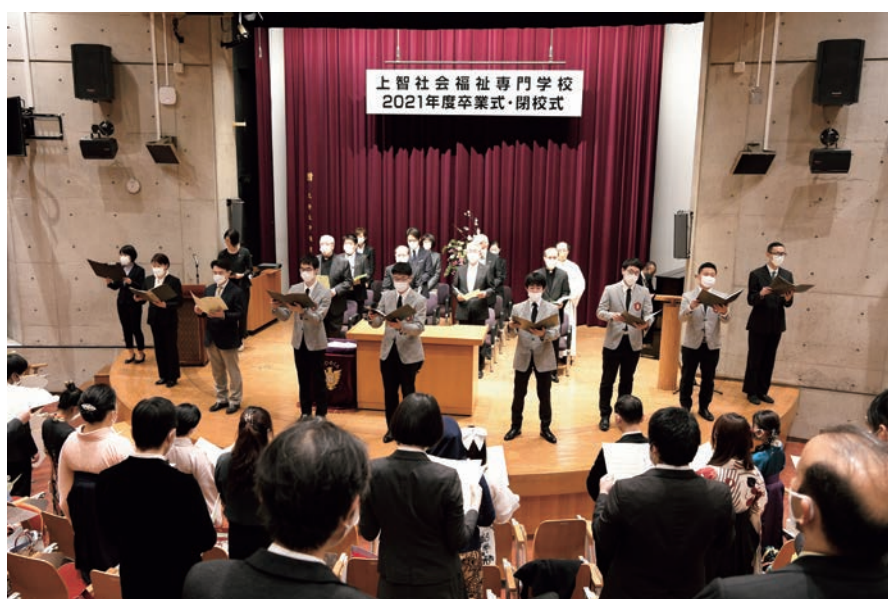
るための方策として、留学生の受入れ、地方入試の実施、東京都からの受託事業である「離職者等再就職訓練」の訓練生を受け入れるなど学生募集にも様々な工夫を凝らし努力を重ねてきましたが、これらの取り組みによっても志願状況が改善するには至りませんでした。

2022年3月22日、新型コロナウイルス感染対策がとられる中、10号館講堂で最後の学生31名の卒業式にあわせて閉校式が行われました。上智学院役員、歴代校長、教職員の他、学外からカトリック・イエズス会日本管区長、社専ソフィア会（同窓会）役員、その他多数の関係者の方々のご出席くださいました。

佐久間理事長の式辞の後、来賓を代表して上智大学名誉教授（社会福祉学科）の春見静子先生、第10代校長の高山貞美先生からメッセージを頂戴しました。途中、今年度の社専祭（学園祭）でオンライン配信された第4代校長ハビエル・ガラルダ先生の思い出話や学生行事等の写真が上映され、閉校という寂しさの中にも和やかで温かな雰囲気が醸し出されました。続けて卒業生6,824名の記録、学籍原簿移管の閉校セレモニーと堀米史一校長補佐（介護福祉士科教員）の閉校宣言がありました。歴代校長、教員、同窓会、関係者への謝意、そして閉校後も同窓会などの場で、卒業生各々の社会福祉実践や社専の思い出を語り合おうと、閉校宣言を締めくくりました。最後に上智大学グリークラブと社専聖歌隊による校歌斉唱で閉校式を終えました。

保育、介護、社会福祉、精神保健福祉などの各分野の最前線で、上智の教育精神「他者のために、他者ととともに」を実践し活躍する卒業生たちの「社専精神（仕えるリーダーシップの精神）」は、閉校後も上智の中に永く継承されていくことでしょう。

これまで上智社会福祉専門学校の発展にご尽力くださいました皆様に、心から御礼を申し上げます。



〈沿革〉

1963	上智大学社会福祉専修科、厚生省から「社会福祉主事養成機関」として指定される
1964	上智大学社会福祉専修科発足
1966	上智社会福祉専修学校設立。各種学校として認可。前項指定のほか「保母養成機関」としても指定される。社会福祉主事養成・保母養成の2専攻を置く
1967	「社会福祉主事養成」を「社会福祉主事課程」、「保母養成」を「保母課程」と改称
1968	上智社会福祉専修学校同窓会（現社専ソフィア会）設立。上智社会福祉専修学校学生会発足
1976	学校教育法の改正に伴ない、上智社会福祉専門学校認可。「社会福祉主事課程」を「社会福祉主事専門課程」、「保母課程」を「保母専門課程」と改称。
1982	「社会福祉主事課程」を「社会福祉専門課程」と改称、同課程に「社会福祉主事科」と「児童指導員科」をおく。児童指導員科の新設に伴ない、「児童福祉司、児童福祉施設の職員、社会福祉主事養成機関」として指定される
1985	諮問機関として「運営委員会」が従来の会議体を継承して発足
1993	「社会福祉専門課程」に「介護福祉士科」を新設
1997	「社会福祉専門課程児童指導員科」を改組。「社会福祉士・児童指導員科」の新設に伴ない、「社会福祉士一般養成施設」として指定される
1999	児童福祉法の改正に伴ない、「保母専門課程保母科」を「保育専門課程保育士科」と改称。
2001	「社会福祉主事科」の学生募集を停止。
2005	「中堅介護職のための総合的・専門的・継続的研修コース」開設
2006	「精神保健福祉士通信課程（短期）」を開設
2011	「介護福祉士科」昼間2年制に移行
2013	創立50周年記念事業を開催
2017	「保育士科」学生募集を停止
2020	「介護福祉士科」「社会福祉士・児童指導員科」「精神保健福祉士通信課程」学生募集を停止
2022	上智社会福祉専門学校 閉校



## 栄光学園中学高等学校

## ■ 主な施設等の状況

(2022年3月31日現在)

所在地	施設等	面積等	帳簿価額	摘要
栄光学園中学高等学校 神奈川県鎌倉市玉縄	校地	113,492.00㎡	745,998千円	中学校・ 高等学校が 利用
	校舎	1棟 8,643.52㎡	3,423,815千円	
	第1体育館	1棟 2,112.61㎡	7,193千円	
	講堂	1棟 1,940.91㎡	194,701千円	
	アロイジオ館	1棟 370.63㎡	8,688千円	
	聖堂棟 (図書室・聖堂・小講堂)	1棟 2,838.98㎡	393,455千円	
	第2体育館	1棟 2,370.92㎡	224,842千円	
	事務所・倉庫棟	1棟 1,355.18㎡	16,814千円	
栄光ヒュッテ 神奈川県愛甲郡煤が谷丹沢山	用地	2,600.23㎡	借地	
	山小屋	1棟 133.03㎡	922円	

※複合校舎は、聖堂棟に名称を変更した

## ■ 教職員数

(2021年5月1日現在)

学校区分	教員	職員	総計
栄光学園中学高等学校	81	15	96

## ■ 生徒数

(2021年5月1日現在)

学校区分	入学定員	収容定員	1年在籍者数	2年在籍者数	3年在籍者数	総計	収容定員充足率
栄光学園中学校	180	540	185	184	181	550	101.85%
栄光学園高等学校	180	540	187	179	173	539	99.81%

## ■ 入試状況 (2022年入学者)

(2022年3月31日現在)

学校区分	受験者	合格者	入学者
栄光学園中学校	685	255	185

## ■ 卒業者数 (2022年3月)

学校区分	卒業者数
栄光学園高等学校	172

## ■ 2022年3月卒業生 進路状況

(人)

学校区分	4年制大学				大学校	その他
	国公立大学	私立大学	うち上智大学	海外大学		
栄光学園高等学校	73	35	7	1	0	64

## 2021年度事業報告(総括)

昨年度に引き続き2021年度も新型コロナウイルスの感染拡大によって、学園の教育活動は大幅な変更を余儀なくされました。4月の年度当初は通常通りの形で始めることができたものの、まん延防止等重点措置の発令に伴って時差通学を実施するとともに、課外活動は対外活動を原則禁止にするなどの対応をしました。さらに夏休み中に発令された緊急事態宣言を受け、2学期は最初の3週間は生徒の登校を停止し、授業は一部の登校日を除きすべてオンラインで行いました。

3学期に入ってからまた感染者が増加したため、2月2日の中学入試を無事に実施できるよう、1月25日以降もオンライン授業に切り換えました。

年間の学校行事にも対応が必要でした。昨年度はほとんどの

行事を中止にしましたが、2021年度はできるだけ中止とせず可能な限り実施する方向で検討してきました。昨年は実施を断念した文化祭(栄光祭)は準備期間を一カ月多くとって6月に延期し、来場者を生徒の家族のみに限定して実施しました。また例年9月末に行っている体育祭も11月に延期して実施し、来場者は文化祭と同じく家族限定としましたが、全校生徒が充実した一日を過ごし、企画準備運営に取り組んだ生徒たちにとっても大変意義のある行事となりました。

広報活動においても、大講堂での学校説明会にかえて小規模の校内見学会を何度も実施することで、可能な限り実際に来校していただき、十分とはいえないまでも栄光学園を直接に感じてもらえる機会を確保しました。

## トピックス

### ①海外のイエズス会学校との交流

全世界的なコロナ禍ゆえに、かつてのようにお互いに渡航して直接対面での交流はできないものの、オンラインの形で交流を進めることができました。

フィリピン・セブ市のセイクリッドハートスクール・アテネオ・デ・セブとの生徒の短期交換留学はお互いに渡航できない状態でしたが、3月末にオンラインで生徒同士がプレゼンテーションを行い、意見交換をするという機会を持つことができました。

また米国ボストン・カレッジが主催するイエズス会教育研修である「Ever to Excel」は今年度も中止となりましたが、昨年度と同様に2日間での研修プログラムを実施していただきました。そこでは、米国から参加している高校生とも意見交換をする機会もあり、とても充実した研修となりました。

その他、米国のイエズス会学校であるセント・ジョセフ・プレバトリースクールから本校の英語科教員あてに「お互いの学校の生徒同士がペンパルになれるといいのですが」というオファーがあり、高校2年生の希望者10名あまりが名乗りをあげ、Eメールにて文通をしています。

### ②新しい寄付制度の始まり

70周年記念事業として2017年に新校舎建築を行った際には、校舎建築のための特別寄付を募り、卒業生をはじめ多くの方々からご寄付をいただきました。その後は特に常設の寄付制

度はなかったのですが、生徒数の少ない小規模校である本校が、広大なキャンパスを維持しつつ、教育内容を充実させ、最新の教育機器を備えた環境を生徒たちに提供し続けていくため、新たな寄付制度「未来EiKO募金」を2021年4月からスタートしました。

70周年募金のときと同じく、卒業生の方々を中心に多くの方からのお力添えをいただき、みなさまの母校愛・栄光愛が本当に深いことに大変感銘するとともに、教職員一同、栄光学園に関係するみなさまから励ましを受けていることに改めて気づきました。

さっそく昨年度は野球場の大規模改修、中学生全員分のiPad購入、家計急変などによる修学困難家庭への奨学金充実などに活用させていただいております。

### ③生徒活動への表彰

英語部の生徒チームが2022年3月に実施されたHPDU連盟杯(日本高校生パラメンタリー英語ディベート全国大会)に出場しました。この大会は日本で行われる英語ディベート大会として権威のあるもので、出場権を獲得することも困難といわれていますが、コロナ禍のためオンラインで行われた今年の大会で優勝することができました。おりしも民放のテレビ局が番組取材に来ており、優勝の瞬間も含めて番組で放送されました。

また、NPO法人 青少年科学技術振興会が日本大会を主催する国際的なロボット製作大会であるFLL(First Lego League)

の全国大会が2022年2月に行われ、物理研究部の生徒チーム(チーム名「今、鎌倉。」)が、全国優勝をしました。日本で優勝したチームは、本来ならば4月にアメリカ合衆国で行われるFLL世界大会に出場することができるのですが、新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、渡米を断念しました。



## 中等教育部門

# 六甲学院中学校・高等学校

### 主な施設等の状況

(2022年3月31日現在)

所在地	施設等	面積等	帳簿価額	摘要	
六甲学院中学校・高等学校 兵庫県神戸市灘区篠原伯母野山町	校地		73,353.00㎡	700,941千円	中学校・高等学校が利用
	校舎（本館）	1棟	11,393.92㎡	1,733,843千円	
	校舎（別館）	2棟	1,779.65㎡	5,329千円	
	体育館・講堂棟	1棟	5,943.10㎡	389,335千円	
	プール・剣道場	1棟	2,094.79㎡	20,883千円	
	第3グラウンド体育棟	1棟	84.37㎡	36,623千円	
	部室・弓道場	1棟	442.83㎡	10,084千円	
兵庫県神戸市灘区篠原字仲山	用地		934.00㎡	8千円	
兵庫県神戸市灘区篠原字谷山	用地		9,609.00㎡	2,153千円	
兵庫県神戸市灘区篠原北町	校地		654.00㎡	借地	
	研修所	1棟	482.62㎡	1,045千円	
富山県中新川郡立山町 (弥陀ヶ原)	用地		485.00㎡	借地	
	合宿所	1棟	244.62㎡	22,573千円	

### 教職員数

(2021年5月1日現在)

学校区分	教員	職員	総計
六甲学院中学校・高等学校	69	12	81

### 生徒数

(2021年5月1日現在)

学校区分	入学定員	収容定員	1年在籍者数	2年在籍者数	3年在籍者数	総計	収容定員充足率
六甲学院中学校	184	552	185	187	185	557	100.9%
六甲学院高等学校	184	552	177	169	167	513	92.9%

### 入試状況（2022年入学者）

(2022年3月31日現在)

学校区分	受験者	合格者	入学者
六甲学院中学校	493	323	187

### 卒業者数（2022年3月）

学校区分	卒業者数
六甲学院高等学校	167

### 2022年3月卒業生 進路状況

(人)

学校区分	4年制大学				大学校	その他
	国公立大学	私立大学	うち上智大学	海外大学		
六甲学院高等学校	83	28	6	0	気象大学校1	49

## 2021年度事業報告(総括)

昨年度に引き続きコロナ対策を余儀なくされた一年でした。2学期の10月～12月を除き、ほぼ緊急事態宣言下か、まん延防止等重点措置下であり、自治体から度々発令される感染防止対処方針と学校の感染状況を鑑みて、日常の学校生活や課外活動・学校行事への対策・方針を、その都度検討し調整・変更しつつ対処せざるを得ませんでした。当然、制約が強いられましたが、昨年度とは異なり、授業は1～2学期についてはほぼ平常と同等に実施でき、3学期も2月に学校閉鎖・学年閉鎖は一週間前後ありましたが、オンラインでの授業対応を取り入れることで乗り切ることができました。夏期休暇でのICT教育研修以降、普段、教室での授業にiPadを使用する機会が増えたこともあり、生徒も教職員も大きな混乱もなく取り組むことができました。

学校行事は延期をせざるをえないケースが多かったものの、感染防止を徹底した上でプログラムを工夫して時間を短縮し、分散登校や保護者ご家庭向けにオンライン配信を実施するなど、ほとんどの行事を中止せずに形を変えて実施することができ

ました。ただし、中学3年生の立山登山の一部と高校1年生の研修旅行は翌年度に延期し、強歩会(マラソン大会)は各学年の記録会に変更しました。

授業でのICT化以外の新たな取り組みとして、学力向上を目的に、学期中の数時間の範囲ではありませんが英語・数学で習熟度別授業を試みた学年がありました。生徒アンケートをもとに次年度向けさらに創意工夫して実施する予定です。国際交流・社会奉仕の面では、募金先のインド施設の他、アジア(香港・マカオ・シンガポール・インドネシア等)、アフリカ(ガーナ)・中南米(チリ・グアテマラ)等とのオンラインでの生徒交流が実現しました。インドネシア・ガーナ以外は、イエズス会学校の生徒との交流でした。時差や通信環境による難しさが課題ですが、オンラインであっても生徒は他国の生活や文化や課題を知ることにより喜びや意味を感じている様子ですので、今後もイエズス会姉妹校を中心に国際交流を推進していければと考えています。

## トピックス

### ① 社会奉仕活動委員会が2021年(第2回) 教皇フランシスコ来学記念表彰を受けました

社会奉仕活動委員会のインド募金およびインド訪問を中心とした奉仕活動が、教皇フランシスコ来学記念表彰に選ばれました。2022年2月24日にオンラインで表彰式が行われ、委員長の高等学校2年生井上颯太君が代表して以下のスピーチを行いました。

「本学で1977年より続いているインド募金は、全校生徒が月200円を自らの手で出すことによって、貧困・格差問題を理解し、募金することの意味を見だし、“men for others, with others”の精神を身につけることを目的の一つとしています。

募金はインドのダンバードにあるダミアン社会福祉センターに送金され、ハンセン病患者の治療やその子供たちへの教育活動などに使われています。

また、ダミアン社会福祉センターを2年に一度訪問し、子供たちと交流しています。インドは、地方では貧しい生活をしている人も多く、ハンセン病患者への差別も残っています。インド募金はそれらの隔たりをなくし、共に歩むことのできる活動であると私は確信しています。

また他にも、大阪の釜ヶ崎地域での路上生活者に対する夜回り活動や東ティモールへの募金活動など、様々な社会奉仕活動も行っています。活動を通して、生徒全員が社会的弱者に対して理解を深め、寄り添うことができるようになりたいと思います。」



### ② 第14回 六甲伯友会

#### OB講演会

2021年6月25日6時間目～7時間目に中学3年生を対象に講堂で、緩和ケア医として活躍

されている52期卒業生の関本剛さんにご講演いただきました。

まずは、中学1年生の時に丸坊主の制度が廃止になったことや、阪神大震災が起きた年に卒業することになったという六甲時代の経歴を写真と共にお話しいたされました。そして現在の仕事である「緩和ケア」とはどういったものかについて、患者さんの写真等も使いながら、ご経験に基づいた具体的なお話をしていただきました。

次に自分自身ががんになって余命2年の宣告を受けたこと、それ以降どう生きてきたかをお話しいたされました。判明したときは奥さんと2人で泣いたが、家族や仲間など多くの人が自分のことを案じてくれていると知り、いつ死ぬかわからないがそれまではしっかり生き抜こうと考えたこと、そして「やっておきたいことのリスト」を作成し、それをひとつずつ実行していると話されました。自分の生きた証を残そうということで書かれたご自身の著書『がんになった緩和ケア医が語る「残り2年」の生き方、考え方』も紹介されました。

最後に「難関大学に行くことはそれに越したことはないが、それは何かになるための過程でありそれ自身が目標ではない。大学の先の目標を考える、今は目標がなくても、見つける努力をしてほしい。目標に向かって情熱をもって進み続ければ、いい仲間・いい師匠に出会い、出会いが運命を変えてくれる。」と話されました。

また、関本さん取材しているNHKのカメラも入り、当日夕方NHK神戸放送局の「リブラブ兵庫」でも放送されました。



※関本剛氏は2022年4月19日に帰天され、ご自身の所属されるカトリック六甲教会で4月23日に告別式が行われました。ご冥福をお祈りいたします。

## 中等教育部門

# 広島学院中学校・高等学校

### ■ 主な施設等の状況

(2022年3月31日現在)

所在地	施設等	面積等	帳簿価額	摘要	
広島学院中学校・高等学校 広島県広島市西区古江上	校地		46,810.13㎡	362,304千円	中学校・ 高等学校が 利用
	本館校舎	1棟	6,075.37㎡	381,962千円	
	西館校舎	1棟	3,317.29㎡	252,867千円	
	理科棟	1棟	910.67㎡	145,104千円	
	講堂（体育館）	1棟	1,570.65㎡	1,611千円	
	ザビエル体育館	1棟	2,286.93㎡	210,106千円	
	ペドロ・アルベ講堂	1棟	3,024.46㎡	918,737千円	
	アシジの聖フランシスコ聖堂	1棟	232.51㎡	119,143千円	
	工作室	1棟	94.90㎡	1,413千円	
	クラブハウス	2棟	279.83㎡	41,350千円	
広島県廿日市市飯山字天徳	倉庫（下グラウンド）	2棟	162.48㎡	4,094千円	
	用地		12,159.00㎡	4,676千円	
	キャンプハウス	11棟	477.42㎡	9,829千円	

### ■ 教職員数

(2021年5月1日現在)

学校区分	教員	職員	総計
広島学院中学校・高等学校	63	14	77

※出向者（職員）1名を含む

### ■ 生徒数

(2021年5月1日現在)

学校区分	入学定員	収容定員	1年在籍者数	2年在籍者数	3年在籍者数	総計	収容定員充足率
広島学院中学校	184	552	184	186	191	561	101.63%
広島学院高等学校	184	552	190	188	172	550	99.64%

### ■ 入試状況（2022年入学者）

(2022年3月31日現在)

学校区分	受験者	合格者	入学者
広島学院中学校	583	287	193

### ■ 卒業者数（2022年3月）

学校区分	卒業者数
広島学院高等学校	171

### ■ 2022年3月卒業生 進路状況

(人)

学校区分	4年制大学				大学校	その他
	国公立大学	私立大学	うち上智大学	海外大学		
広島学院高等学校	67	24	3	0	0	80

## 2021年度事業報告（総括）

昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響のため、行事や活動に影響が出ました。

授業は感染症対策を講じながら実施できるようになりましたが、クラブ活動や行事については大きな制約の下で行なわざるを得ない状況でした。特にまん延防止等重点措置の期間にあった行事では難しい状況が続きました。体育祭は無観客、半日に短縮の上で各学年一種目、文化祭は申請のあった保護者と小学生のみ参加、時間帯ごとに人数を制限等の中での開催となりました。国際交流プログラムは、昨年度に続き海外から生徒を招いたり、海外に生徒を送り出したりすることはできず、オンラインでの交流になりました。夏のキャンプ、ボランティア活動、マラソン大会は中止になりました。

本校のイエズス会教育推進の大きな役割を担っているILP (Ignatian Leadership Program) の授業においても、昨年度に

続き体験的学習は十分にはできませんでしたが、イエズス会学校が目標とする“Be men for others, with others”をより深く学ぶことを目指し、各学年のテーマに沿って、クラス担任による工夫した授業を実施しました。

オープンスクールや学校説明会も人数制限や事前申し込みなどの工夫をし、開催しました。十分な広報活動はできませんでしたが、地域における小学校6年生の減少にもかかわらず、ある程度の志願者を確保することができました。入試当日の助手は保護者の協力も得て、会場を広く確保するなどコロナ対策に関する措置は継続しましたが、試験の時間も一昨年までの時間に戻して実施し、特に混乱はありませんでした。

依然としてコロナの影響は大きく、戸惑うことは多々ありますが、生徒も教職員も学校生活を充実したものにするべく、皆でアイデアを出し合い多くの学びができるようにしています。

## トピックス

### ①夜間自習室の設置

2020年9月より高校3年生を対象にして開設した夜間自習室は、2021年度からは高校2年生にまで対象を広げ、平日の18時から20時の学校での自習が可能となりました。教員2名が自習監督につき、20名から30名の生徒たちが沈黙の中、集中して自習を行っています。

広島学院では家庭学習の大切さを伝えてきましたが、様々な要因により家庭での学習が難しくなってきました。学校に残って自習する生徒に加え、他の施設を使用して自習する生徒も増えてきたことから、もう少し学校で自習時間と環境を確保することが必要と考え、交通手段等の都合などに鑑み、20時までの自習を可能にしました。

18時以降の夜間自習室に参加する生徒たちが沈黙の中で集中して自習した結果、その影響で18時までの放課後自習も沈黙で集中して行うようになりました。生徒たち同士で刺激を与え合っている様子です。

### ②登山部の全国大会出場

2021年8月19日～8月23日に福井県勝山市で開催された「令和3年度全国高等学校総合体育大会登山大会 第65回全国高等学校登山大会」に、広島県代表選手として広島学院高校登山部の4名が出場しました。コロナ禍で例年とは異なる大会のあり方に苦勞し悩む場面も多々ありましたが、その都度4人で知恵を出し合い、協力して、念入りに準備をおこなって臨みました。これまでの部活動で培ってきた仲間との絆や登山技術、そしてなにより粘り強く取り組む人間力が試される大会でした。競技最終日に登った山の山頂では、疲労感を漂わせながらも満面の笑みをたたえ、最後まで全力でやり切った清々さが選手たちから感じられました。結果は第6位で入賞を果たし、立派な成績を残しました。この大会を通して、他県のより高い登山技術をもつ高校生の存在を知り、その高校生たちと肩を並べ競いながら関わりをもてたことも大きな喜びとなりました。



## 中等教育部門

# 上智福岡中学高等学校

### ■ 主な施設等の状況

(2022年3月31日現在)

所在地	施設等	面積等	帳簿価額	摘要	
上智福岡中学高等学校 福岡県福岡市中央区輝国	校地		53,761.68㎡	5,006,712千円	中学校・高等学校が 利用
	中学棟	1棟	2,182.24㎡	146,331千円	
	体育館	1棟	2,711.00㎡	102,005千円	
	用務員居宅	1棟	80.32㎡	1円	
	高校棟	1棟	2,329.00㎡	164,460千円	
	特別教室棟	1棟	3,290.32㎡	126,259千円	
	プレハブ倉庫	1棟	210.50㎡	2円	
	クラブハウス	1棟	277.16㎡	25,602千円	
	中央棟	1棟	2,492.51㎡	451,090千円	
	昇降口 (中学)	1棟	79.75㎡	5,152千円	
	昇降口 (高校)	1棟	73.15㎡	4,717千円	
	守衛室	1棟	4.32㎡	5,025千円	
	聖堂棟	1棟	359.35㎡	28,454千円	

### ■ 教職員数

(2021年5月1日現在)

学校区分	教員	職員	総計
上智福岡中学高等学校	67	11	78

### ■ 生徒数

(2021年5月1日現在)

学校区分	入学定員	収容定員	1年在籍者数	2年在籍者数	3年在籍者数	総計	収容定員充足率
上智福岡中学校	160	480	179 (91)	193 (72)	171 (97)	543 (260)	113.13%
上智福岡高等学校	160	480	173 (88)	134 (68)	138 (52)	445 (208)	92.71%

※ ( ) 内は女子生徒数

### ■ 入試状況 (2022年入学者)

(2022年3月31日現在)

学校区分	受験者	合格者	入学者
上智福岡中学校	881 (428)	496 (228)	166 (83)

※ ( ) 内は女子生徒数

### ■ 卒業者数 (2022年3月)

学校区分	卒業者数
上智福岡高等学校	135 (51)

※ ( ) 内は女子生徒数

### ■ 2022年3月卒業生 進路状況

(人)

学校区分	4年制大学				大学校	その他
	国公立大学	私立大学	うち上智大学	海外大学		
上智福岡高等学校	18	91	24	0	0	26

## 2021年度事業報告(総括)

2021年度も、前年につづきコロナへの対応に四苦八苦する一年間でした。年間行事は実施できたものもあれば中止せざるを得ない状況になった行事もありました。入学式は実施こそできましたが、従来の在校生の見守る中といった状況ではなく、新入生と保護者2名までの制限を設けたかたちでの実施となりました。入学後のオリエンテーション合宿も中止となりました。

まん延防止等予防措置が発令されると、教科によっては内容や活動に制限が入り、変更を余儀なくされました。また、部活動等の活動が大幅に制限され、「またか」と諦めのような雰囲気も漂うこともありました。マスクや手指消毒は定着しているとはいえ、ストレスの多い一年であったと思います。

体育祭はいろいろと制限があり、実施すべきか中止すべきか大いに考えさせられ、悩むところとなりました。結局、生徒の為、昨年できなかった卒業生の思いを受け、形を変えて無観客の中での実施をすることといたしました。オンラインライブ配信も計画いたしました。日程変更が度重なった結果中止となってし

まいました。生徒の活動を保護者にお見せしたい思いから、教員が写真を撮影し、Web上で提供したところ、多くの保護者から利用されたと報告がありました。

文化祭は当初10月開催の予定でしたが3月の実施となりました。1月後半のオミクロン株の驚異的な拡大により準備期間を大幅に削られ、当日の予定も例年に比べると半分まで短縮し行うこととなりました。

中学3年の海外語学研修は中止としました。当初の目的とは違うものの、代替企画としてスキー研修を2月に計画しましたが、文化祭と同様に、オミクロン株の拡大で代替の行事をも中止せざるを得ませんでした。

卒業式は入学式と同様の形で実施いたしました。6年間の学校生活の中、2年間にコロナに翻弄され、行事等で一番寂しい思いをした学年で、上智福岡の楽しい思い出がどれくらいできたか分かりませんが、学年スタッフの中では思い出深い学年となり、3月1日に巣立って行きました。

## トピックス

### ①オンライン授業

2月になり、福岡でも感染者が爆発的に増加し、生徒にも陽性者が出るような状況となりました。1人出るたびに、当該学年を5日間閉鎖といたしました。閉鎖中は、Google classroomで課題等を配信し、学力の維持向上に努めました。ある学年で閉鎖が起こると、追うような形で別の学年が閉鎖となり、2022年1月後半から2月いっぱいには全校生徒が揃うことがありませんでした。学年閉鎖が2回、3回と重なるにつれ、閉鎖決定に対しては保護者から異論や指摘もありましたが、各学年で順次オンライン授業をスタートさせ、保護者からも理解を得ることができました。

オンライン授業の開始にあたっては、ICT担当をはじめ、若い教員を中心に多数のアイデアが示され、全学年とも何とか乗り越えられたように感じました。その中で、ネット環境の不具合、機材の不足、Googleアカウントの制限等指摘があり、改善に向け取り組みました。

### ②中学2年生のサマーキャンプ実施

本校77期中学2年生は200名近くの生徒が在籍しております。この学年はコロナ感染症による全国一斉休校のなか入学し

てきたため、唯一4月の入学式が実施できなかった学年です。コロナ禍での1年を終え、ようやく行事等の対応にも幅が持てるようになってきたため、例年夏休みに計画しているサマーキャンプを実施しました。コロナ禍で、行き先や計画の変更はあったものの、2年生にとっては一大行事であるため中止にはしないと強い気持ちで臨み、上智福岡に入学して良かったと思ってもらえるよう計画・準備を進めました。最終的には1泊2日の小旅行となりましたが、大いに盛り上がり良い思い出になったと感じています。



上智学院の財務諸表をご案内する前に学校法人会計の特殊性と、株式会社で適用されている企業会計との違いについてご説明いたします。

## 学校法人会計基準について

### 1. 学校法人会計基準とは

学校法人は、目的とする教育研究活動を行うにあたって必要な施設や設備、経営に必要な財産を持つために、自ら調達した資金の他に国または地方公共団体から経常費の補助を受けています。当該補助金の交付を受けている学校法人は、私立学校振興助成法の定めにより、一定の会計ルールに則った会計処理と計算書を作成し、公認会計士または監査法人による監査を受けて、所轄庁に届け出ることが義務付けられています。この一定の会計ルールが「学校法人会計基準」となります。

### 2. 企業会計との違い

企業は利益の追求を目的としていることから、企業会計は資本の投下・回収という営利活動の成果と財政状態を利害関係者に開示することを目的としています。

一方、学校法人は教育研究活動という極めて公共性の高い事業を遂行することを目的としており、この教育研究活動を円滑に遂行するために、財政の安定と持続性を保つことが求められています。そのため学校法人会計は、企業会計のような「損益」の開示ではなく、今後の活動を継続的且つ安定的に遂行するため、収支の均衡の状況と財政の状態を正確に捉えることを目的としています。

### 3. 計算書について

上記の目的のため、「学校法人会計基準」に基づき、「資金収支計算書」、「事業活動収支計算書」、「貸借対照表」の作成が義務付けられています。

#### (1) 資金収支計算書

当該会計年度に行った諸活動に対応する全ての資金の動きを記録することによって、当該年度の収入と支出の内容を明らかにすると共に、支払資金（現預金）の顛末を示すものです。

#### (2) 事業活動収支計算書

当該会計年度の事業活動ごとの収支の内容と均衡状態を明確にし、経営状況を表すものです。

学校法人の活動を①教育活動 ②教育活動以外の経常的な活動 ③それ以外の活動（特別収支）に分けて、それぞれの収支差額を計算しています。

その合計を、「基本金組入前当年度収支差額」として明記し、そこから基本金組入額を控除したものが当年度収支差額となります。

収支の均衡の状態は、「当年度収支差額」で判断します。一般的に学校法人会計では収支が均衡していることを理想としています。

<基本金とは>

学校法人が諸活動の計画に基づき、教育研究の維持・充実に必要な資産を継続的に保持するための金額であり、以下のとおり、第1号基本金から第4号基本金まであります。

- ・第1号基本金…設立や規模の拡大若しくは教育の充実向上のために取得した固定資産の額
- ・第2号基本金…将来取得する固定資産に充てる金銭その他の資産の額
- ・第3号基本金…基金として継続的に保持し、運用する金銭その他の資産の額  
※基金の元本から生じる果実は教育研究活動に使用されます。
- ・第4号基本金…恒常的に保持すべき資金  
※円滑な運営に必要な運転資金を常時保持するため、一定額の資金を基本金とします。

#### (3) 貸借対照表

期末（年度末）における資産・負債・純資産（基本金及び収支差額）を表記し、財政状態を明らかにして健全性・安定性を示すものです。

# 2021年度決算の概要

## (1) 事業活動収支計算書

(単位：百万円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	18,975	18,712	△ 263
手数料	994	902	△ 92
寄付金	492	908	416
経常費等補助金	4,150	4,006	△ 144
付随事業収入	910	640	△ 270
雑収入	1,050	1,172	122
教育活動収入計	26,571	26,340	△ 231
人件費	15,134	15,150	16
教育研究経費	10,369	9,031	△ 1,338
管理経費	1,723	1,549	△ 174
教育活動支出計	27,226	25,730	△ 1,496
教育活動収支差額	△ 655	610	1,265
受取利息・配当金	591	1,657	1,066
その他の教育活動外収入	450	485	35
教育活動外収入計	1,041	2,142	1,101
借入金等利息他	115	115	0
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	115	115	0
教育活動外収支差額	926	2,027	1,101
経常収支差額	271	2,637	2,366

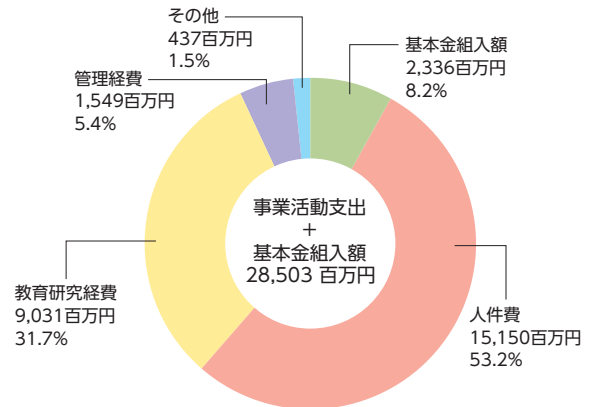
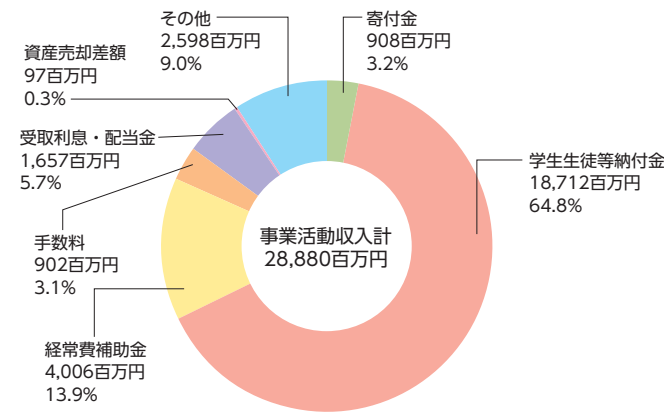
科目	予算	決算	差異
資産売却差額	0	97	97
その他の特別収入	170	301	131
特別収入計	170	398	228
資産処分差額	284	320	36
その他の特別支出	0	2	2
特別支出計	284	322	38
特別収支差額	△ 114	76	190
予備費	(226)	0	0
基本金組入前当年度収支差額	157	2,713	2,556
基本金組入額合計	△ 1,962	△ 2,336	△ 374
当年度収支差額	△ 1,805	377	2,182
前年度繰越収支差額	△ 8,571	△ 8,571	0
基本金取崩額	0	71	71
翌年度繰越収支差額	△ 10,376	△ 8,123	2,253

(参考)

事業活動収入計	27,782	28,880	1,098
事業活動支出計	27,625	26,167	△ 1,458

※表示単位未満を合計に合わせているため、各科目において四捨五入でない場合があります。

※予備費の上段( )内は使用額、下段は残高です。使用額は使用した科目の予算額に加算されています。



### 概要

2021年度の事業活動収支決算は、基本金組入後の当年度収支差額が377百万円となり、予算比で2,182百万円多い結果となりました。また、社会福祉専門学校の開校に伴う機器備品・図書の除却など基本金取崩額が71百万円発生し、翌年度繰越収支差額は予算比で2,253百万円減少して、△8,123百万円となりました。

今回の決算の特徴は、前年度に引き続きコロナ禍で国内外への出張等が少ないなど、全体的な経費支出が予算比1割程度減少していること、収入面では高額な寄付金と前年度並みの資産運用収入のあったことが挙げられます。

大きな項目で見ると、教育活動収入は寄付金と雑収入以外の費目が予算を下回り、予算比231百万円の減、教育活動支出は人件費が16百万円増加しましたが、最終的に予算比1,496百万円の減となりました。教育活動外収入は受取利息・配当金の増などで予算比1,101百万円増加しました。特別支出は予算比38百万円増にとどまり、施設設備補助金等の特別収入が228百万円増となったことで特別収支差額は予算比190百万円増となりました。この結果、基本金組入前当年度収支差額が予算比2,556百万円増加し、基本金組入額合計は予算比374百万円増加しましたが、当年度収支差額はプラスとなりました。

個別に見ると、学生生徒等納付金の減は高等教育部門で260百万円の減、経常支出は教育研究経費と管理経費合計が予算比1,512百万円の減となり、その内、旅費交通費が333百万円の減、業務委託費が255百万円の減となりました。

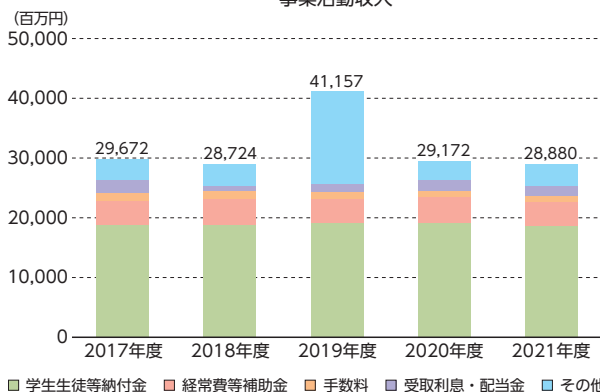
資産処分差額は、施設設備の除却によるものが222百万円、有価証券の処分差額が98百万円となっています。

過去5年間の推移

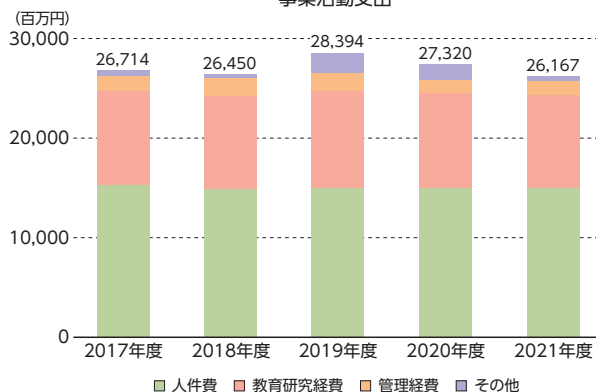
(単位：百万円)

科目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
学生生徒等納付金	18,765	18,972	19,113	19,220	18,712
手数料	1,360	1,285	1,221	1,048	902
寄付金	437	700	659	705	908
経常費等補助金	3,913	4,046	3,995	4,086	4,006
付随事業収入	797	750	874	668	640
雑収入	1,332	1,215	959	994	1,172
教育活動収入計	26,604	26,968	26,821	26,721	26,340
人件費	15,287	14,905	14,956	15,063	15,150
教育研究経費	9,399	9,389	9,686	9,341	9,031
管理経費	1,525	1,792	1,763	1,458	1,549
徴収不能額等	0	0	0	0	0
教育活動支出計	26,211	26,086	26,405	25,862	25,730
教育活動収支差額	393	882	416	859	610
受取利息・配当金	2,091	956	1,409	1,759	1,657
その他の教育活動外収入	400	450	450	459	485
教育活動外収入計	2,491	1,406	1,859	2,218	2,142
借入金等利息	158	148	148	131	115
その他の教育活動外支出	0	0	4	0	0
教育活動外支出計	158	148	152	131	115
教育活動外収支差額	2,333	1,258	1,707	2,087	2,027
経常収支差額	2,726	2,140	2,123	2,946	2,637
資産売却差額	19	95	12,247	0	97
その他の特別収入	558	255	230	233	301
特別収入計	577	350	12,477	233	398
資産処分差額	345	216	1,250	506	320
その他の特別支出	0	0	587	821	2
特別支出計	345	216	1,837	1,327	322
特別収支差額	232	134	10,640	△ 1,094	76
基本金組入前当年度収支差額	2,958	2,274	12,763	1,852	2,713
基本金組入額合計	△ 401	△ 3,462	△ 8,417	△ 958	△ 2,336
当年度収支差額	2,557	△ 1,188	4,346	894	377
前年度繰越収支差額	△ 18,415	△ 15,546	△ 14,464	△ 10,116	△ 8,571
基本金取崩額	312	2,270	2	650	71
翌年度繰越収支差額	△ 15,546	△ 14,464	△ 10,116	△ 8,572	△ 8,123
(参考)					
事業活動収入計	29,672	28,724	41,157	29,172	28,880
事業活動支出計	26,714	26,450	28,394	27,320	26,167

事業活動収入



事業活動支出



※2019年度には、市谷キャンパスの資産売却差額12,100百万円が含まれています。

## (2) 資金収支計算書

(単位：百万円)

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	18,976	18,712	△ 264	人件費支出	15,403	15,230	△ 173
手数料収入	994	902	△ 92	教育研究経費支出	7,382	6,391	△ 991
寄付金収入	549	989	440	管理経費支出	1,495	1,289	△ 206
補助金収入	4,198	4,139	△ 59	借入金等利息支出	115	115	0
受取利息・配当金収入	591	1,657	1,066	借入金等返済支出	1,315	1,315	0
資産売却収入	3,250	3,300	50	施設関係支出	933	599	△ 334
付随事業・収益事業収入	1,360	1,090	△ 270	設備関係支出	795	865	70
雑収入	1,050	1,206	156	資産運用支出	12,768	13,925	1,157
借入金等収入	0	0	0	その他の支出	836	2,361	1,525
前受金収入	3,999	4,139	140	予備費	(226)		
その他の収入	9,005	9,282	277		0		0
資金収入調整勘定	△ 4,519	△ 4,741	△ 222	資金支出調整勘定	△ 528	△ 487	41
前年度繰越支払資金	9,468	9,468	0	翌年度繰越支払資金	8,407	8,540	133
収入の部合計	48,921	50,143	1,222	支出の部合計	48,921	50,143	1,222

※表示単位未満を合計に合わせているため、各科目において四捨五入でない場合があります。  
 ※予備費の上段（ ）内は使用額、下段は残高です。使用額は使用した科目の予算額に加算されています。

## 概要

2021年度の資金収支の規模は、50,143百万円で予算比1,222百万円の増加となりました。主な要因は資金収入では、受取利息・配当金収入の増、寄付金収入の増、学生生徒等納付金収入の減、付随事業・収益事業収入の減によります。

一方、資金支出では教育研究経費と管理経費で予算比1,197百万円の減で、引き続きコロナ禍において旅費交通費・業務委託費・会合費で△673百万円となり、その他教育研究経費の修繕費・賃借料・補助費・報酬料で△376百万円となりました。経費関係以外では資産運用支出が予算比1,157百万円の増、及びその他の支出は1,525百万円増で主に預り金支出です。この結果、翌年度繰越支払資金は前年度比928百万円減少、予算比では133百万円の増となりました。

## 過去5年間の推移

収入の部 (単位：百万円)

科目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
学生生徒等納付金収入	18,766	18,972	19,113	19,220	18,712
手数料収入	1,360	1,285	1,221	1,048	902
寄付金収入	657	768	770	782	989
補助金収入	4,191	4,093	4,019	4,143	4,139
受取利息・配当金収入	2,091	956	1,409	1,759	1,657
資産売却収入	6,491	4,645	17,488	2,630	3,300
付随事業・収益事業収入	1,197	1,200	1,325	1,119	1,090
雑収入	1,333	1,281	959	1,000	1,206
借入金等収入	0	5,175	1,600	500	0
前受金収入	4,935	7,012	4,477	4,001	4,139
その他の収入	9,636	6,655	13,534	7,123	9,282
資金収入調整勘定	△ 5,804	△ 5,594	△ 7,556	△ 5,056	△ 4,741
前年度繰越支払資金	8,493	7,244	8,841	9,284	9,468
収入の部合計	53,346	53,692	67,200	47,553	50,143

支出の部 (単位：百万円)

科目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
人件費支出	15,349	14,956	14,835	14,900	15,230
教育研究経費支出	6,710	6,693	7,067	6,521	6,391
管理経費支出	1,317	1,531	1,523	1,217	1,289
借入金等利息支出	158	146	148	131	115
借入金等返済支出	916	1,145	4,670	1,206	1,315
施設関係支出	3,301	8,799	9,747	895	599
設備関係支出	872	811	976	941	865
資産運用支出	17,876	10,323	18,643	11,994	13,925
その他の支出	889	1,485	1,024	806	2,361
資金支出調整勘定	△ 1,286	△ 1,038	△ 716	△ 527	△ 487
翌年度繰越支払資金	7,244	8,841	9,284	9,469	8,540
支出の部合計	53,346	53,692	67,200	47,553	50,143

注：過年度分を含めて新会計基準に置き換えて算出している。



## 過去5年間の推移

### 資産の部

(単位：百万円)

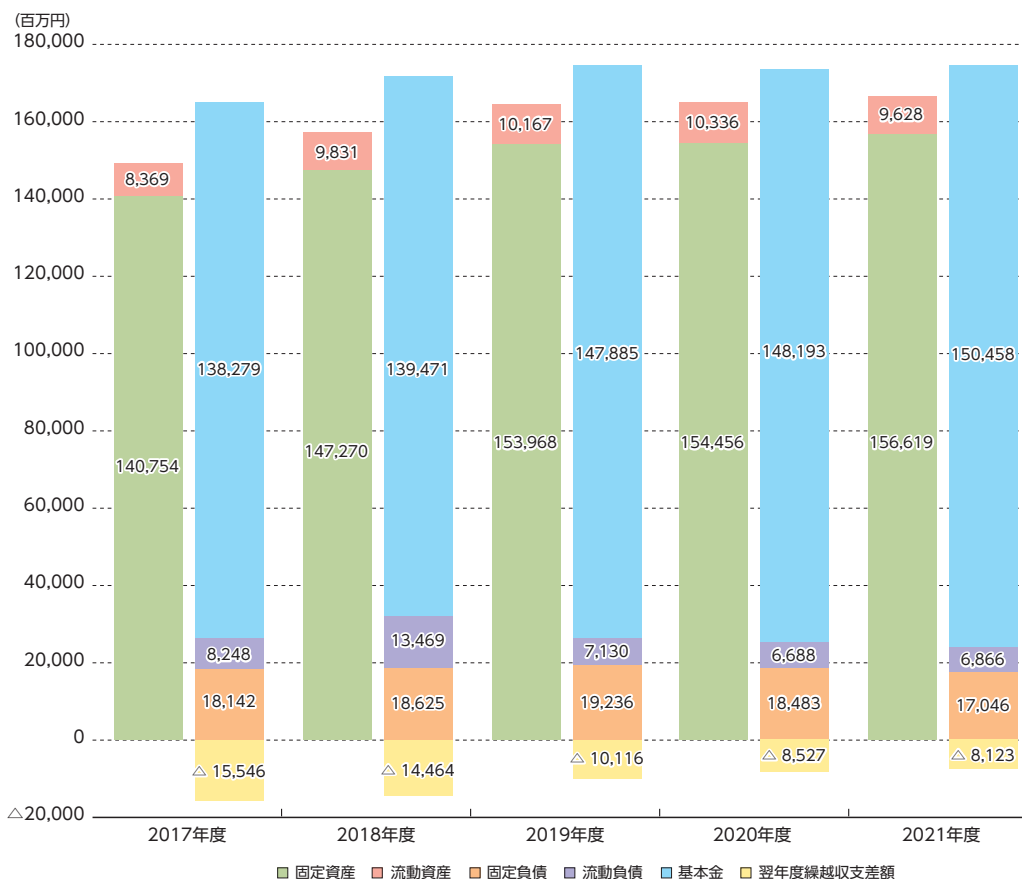
科目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
固定資産	140,754	147,270	153,968	154,456	156,619
流動資産	8,369	9,831	10,167	10,336	9,628
資産の部合計	149,123	157,101	164,135	164,792	166,247

### 負債及び純資産の部

(単位：百万円)

科目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
固定負債	18,142	18,625	19,236	18,483	17,046
流動負債	8,248	13,469	7,130	6,688	6,866
負債の部合計	26,390	32,094	26,366	25,171	23,912
基本金	138,279	139,471	147,885	148,193	150,458
第1号基本金	116,572	121,765	129,841	129,880	131,855
第2号基本金	7,246	2,649	2,458	2,507	2,496
第3号基本金	12,903	13,183	13,712	13,932	14,233
第4号基本金	1,558	1,874	1,874	1,874	1,874
翌年度繰越収支差額	△ 15,546	△ 14,464	△ 10,116	△ 8,572	△ 8,123
純資産の部合計	122,733	125,007	137,769	139,621	142,335
負債及び純資産の部合計	149,123	157,101	164,135	164,792	166,247

### 貸借対照表



## 2021年度特別予算執行報告

(単位：百万円)

区 分	企画概要	予算執行額
教育関係	ソフィア オリンピック・パラリンピックプロジェクト	8
	教育体系の見直し	6
	その他	3
学生生徒生活関係	留学生入国後支援	7
	課外活動団体コロナ対策補助費	5
	キャンパスライフ環境向上に関する活動及び実施	2
公開講座関係	国際公務員、国際協力に関する公開講座	5
	神学講座	1
研究費関係	文科省補助金継承事業（私立大学研究ブランディング事業：地球環境研究所）	21
	文科省補助金継承事業（私立大学研究ブランディング事業：人間の安全保障研究所）	8
研究所関係	京都大学との連携研究	2
ICT整備関係	基幹NWの拡充	151
	図書館システム更新	69
	その他	227
グローバル化推進	ICTを利用した海外大学との遠隔教育プログラムの開発	4
	書籍出版事業	1
	日本・スウェーデンMIRAIプロジェクト	1
ステークホルダー連携	文藝春秋（月刊）への広告掲載（遺贈・寄付企画）	2
一般運営費	スクールバス乗車時の検温・体調確認要員の業務委託費	5
	学院のリスクマネジメント体制の構築	3
施設等修繕	14号館エレベーターリニューアル工事	11
	1号館外壁補修工事	11
	中央図書館外壁補修工事	5
施設等維持管理関係	1号館・10号館教室AV機器更新	50
	四谷キャンパス防犯カメラ設置（1, 3, 4, 8, 9号館）	16
	その他	37
キャンパス計画関係	15号館（旧共栄ビル）	282
	メンスト・外構	186
	その他	86
学生生徒募集関係	SPSF関係	6
	一般選抜（新方式）周知のためのPR動画制作	4
	総合人間科学部HPのスマートフォン対応版	1
入試・入学手続関係	入学試験監督業務（一般入試）	16
	入試問題著作権申請代行業務	5
	Web出願・Web入学手続きについての業務委託	5
一般広報	SDGs関連情報発信	5
ブランディング強化関係	上智大学デジタル・アーカイブ上での史資料データベースの構築	16
	PR動画の制作および公共配信	15
カトリック関係	「イグナチオ年」記念行事関連	1
合 計		1,291

注：表示単位未満を四者五入している関係上、合計において差異が生じる場合がある。

# 財務比率の推移

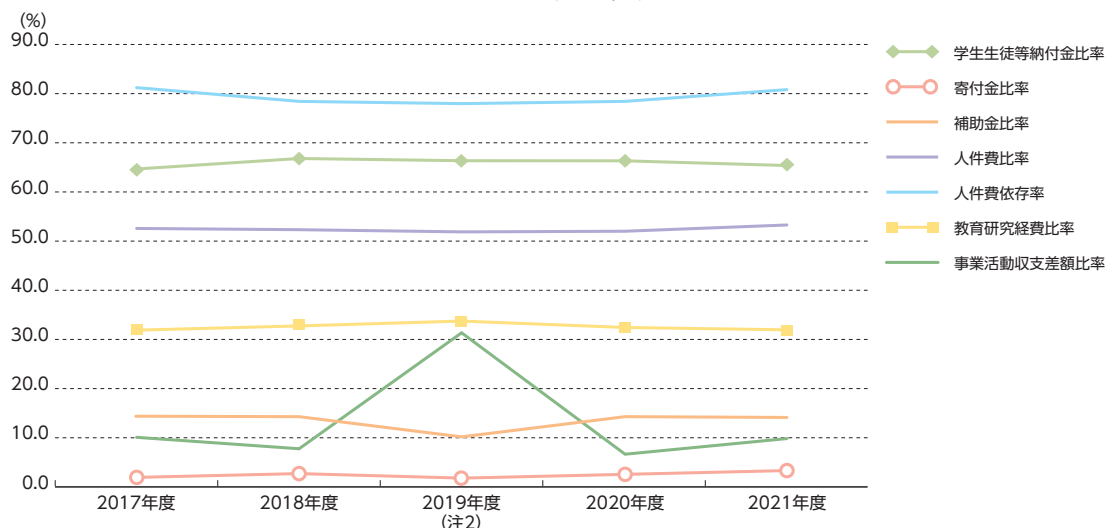
## (1) 事業活動収支計算関連比率の推移

(単位：%)

財務比率	算式 (×100)	評価 (注1)	2017年度	2018年度	2019年度 (注2)	2020年度	2021年度
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	—	64.5	66.9	66.6	66.4	65.7
寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	△	2.4	2.9	2.1	3.0	3.7
経常寄付金比率	$\frac{\text{教育活動収入の寄付金}}{\text{経常収入}}$	△	1.5	2.5	2.3	2.4	3.2
補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	△	14.1	14.2	9.8	14.2	14.3
経常補助金比率	$\frac{\text{教育活動収入の補助金}}{\text{経常収入}}$	△	13.4	14.3	13.9	14.1	14.1
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	▼	52.5	52.5	52.1	52.1	53.2
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	▼	81.5	78.6	78.3	78.4	81.0
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	△	32.3	33.1	33.8	32.3	31.7
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	▼	5.2	6.3	6.1	5.0	5.4
借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	▼	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4
基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	△	1.4	12.1	20.5	3.3	8.1
基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入-基本金組入額}}$	▼	91.3	104.7	86.7	96.8	98.6
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	△	9.4	7.5	7.4	10.2	9.3
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	△	10.0	7.9	31.0	6.3	9.4

注1：評価 △：高い値が良い ▼：低い値が良い —：どちらともいえない  
 注2：2019年度には、市谷キャンパスの資産売却差額12,101百万円が含まれています。

主たる比率の推移



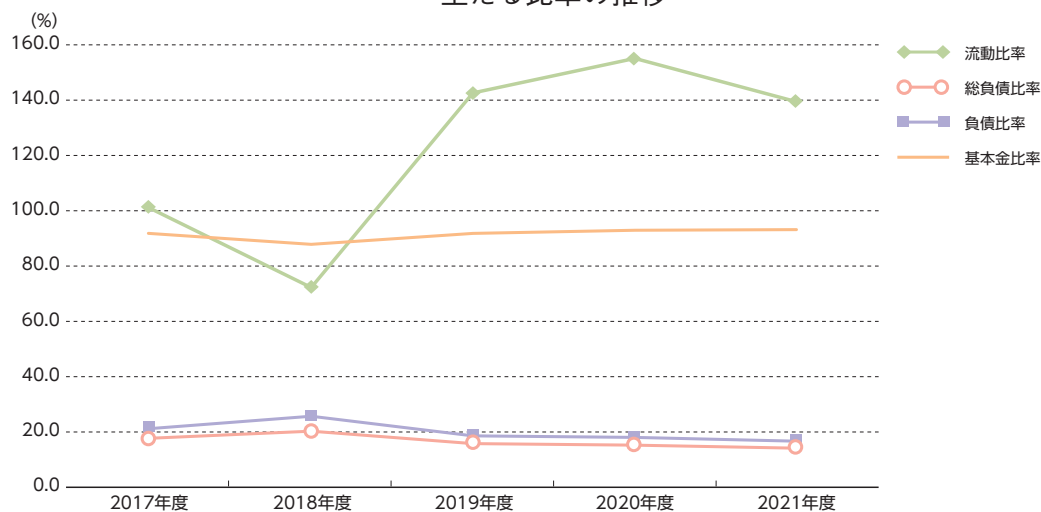
(2) 貸借対照表関連比率の推移

(単位：%)

財務比率	算式 (×100)	評価 (注1)	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	▼	94.4	93.7	93.8	93.7	94.2
流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	△	5.6	6.3	6.2	6.3	5.8
固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債+純資産}}$	▼	12.2	11.9	11.7	11.2	10.3
流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{負債+純資産}}$	▼	5.5	8.6	4.3	4.1	4.1
純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{負債+純資産}}$	△	82.3	79.6	83.9	84.7	85.6
繰越収支差額構成比率	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{負債+純資産}}$	△	△ 10.4	△ 9.2	△ 6.2	△ 5.2	△ 4.9
固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	▼	114.7	117.8	111.8	110.6	110.0
固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産+固定負債}}$	▼	99.9	102.5	98.1	97.7	98.3
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	△	101.5	73.0	142.6	154.5	140.2
総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	▼	17.7	20.4	16.1	15.3	14.4
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	▼	21.5	25.7	19.1	18.0	16.8
運用資産余裕比率	$\frac{\text{運用資産-外部負債}}{\text{経常支出}}$	△	172.9	165.6	181.8	200.4	217.8
前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	△	146.7	126.1	207.4	236.0	206.4
積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	△	81.5	85.9	88.3	90.5	91.3
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	△	91.8	88.2	91.6	92.3	93.2

注1：評価 △：高い値が良い ▼：低い値が良い —：どちらともいえない

主たる比率の推移



# 資産運用の状況

2021年度は、米国を中心としたインフレの高進リスクや金利上昇が誘発する株価下落リスクに留意し、収益性と安全性に十分配慮した分散投資の徹底を図り、安定的な収入を上げることを目指して資産運用に取り組みました。世界的に株高が進行した年度前半に、主に株式ファンドから分配金収入があったことなどから、2021年度の資産運用収益は16億56百万円となりました。内訳は、受取利息・配当金が16億57百万円、有価証券売却差額が97百万円、有価証券処分差額が△98百万円です。

2022年度は、資源価格や供給制約からのインフレ圧力の持続性と、各国金融政策の方向性を注視するとともに、米国を中心とした金利上昇が誘発する株価下落リスク及びウクライナ情勢に留意し、引き続きリスク抑制的な方針で資産運用に取り組みます。また、責任あるアセット・オーナーとして、ネットゼロ・ポートフォリオの構築を目指し、パリ協定との整合性分析を継続して実施してまいります。

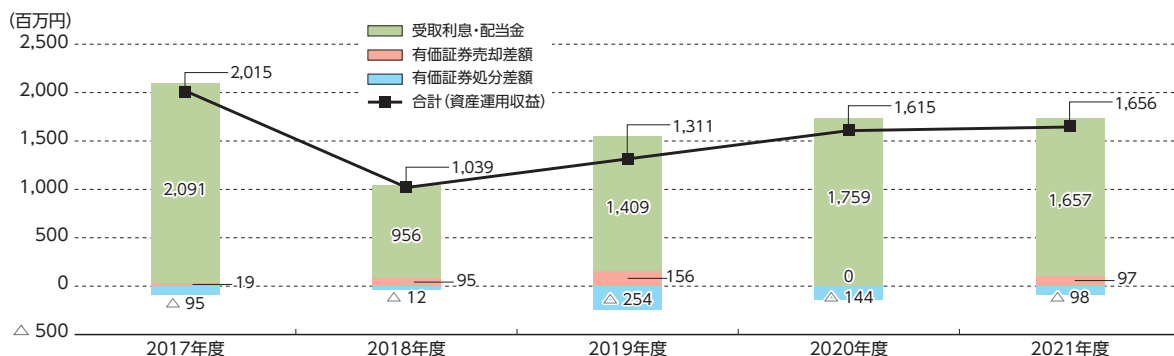
上智学院では、建学の理念と総合的な投資方針を取り入れ、2015年より署名している「国連責任投資原則（PRI）」に基づき、社会的リターン（サステナビリティ向上）と投資リターンの両立を目指して、ESG（環境・社会・ガバナンス）を考慮した投資を引き続き推進いたします。

## 資産運用結果の推移

(単位：百万円)

区分	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
受取利息・配当金	2,091	956	1,409	1,759	1,657
有価証券売却差額	19	95	156	0	97
有価証券処分差額	△ 95	△ 12	△ 254	△ 144	△ 98
合計（資産運用収益）	2,015	1,039	1,311	1,615	1,656

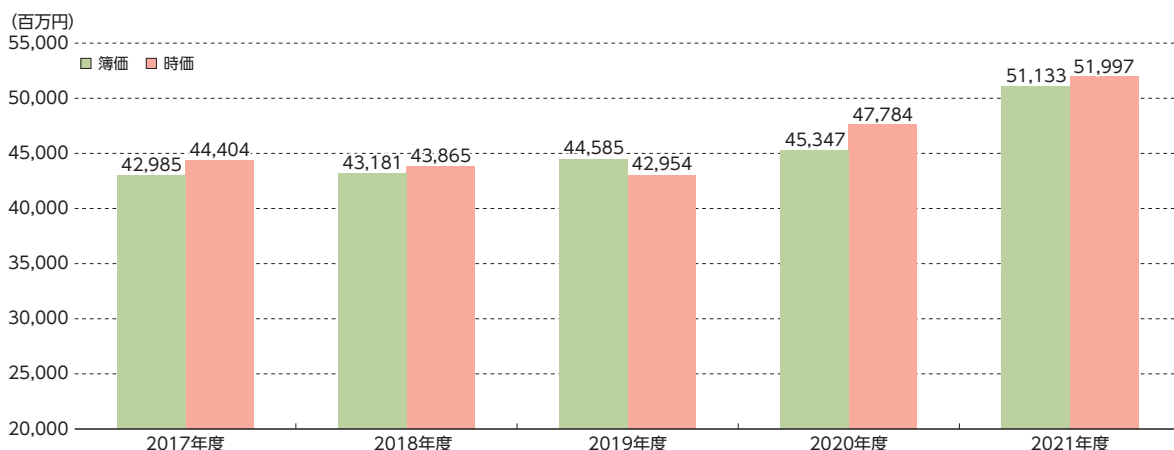
注：「受取利息・配当金」は基本金運用収入を含む額である。



## 有価証券の時価の推移

(単位：百万円)

区分	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
簿価	42,985	43,181	44,585	45,347	51,133
時価	44,404	43,865	42,954	47,784	51,997
差額（時価－簿価）	1,419	684	△ 1,631	2,437	864



## 収益事業の状況

本学は所有する建物の一部にテナントを入れることで家賃収入を得ています。この場合、私立学校法に基づく収益事業（不動産貸付業）に該当するため、企業会計に基づく会計処理と計算書類（損益計算書、貸借対照表）の作成が義務付けられています。

## 損益計算書

(単位：百万円)

区 分	2020年度 (A)	2021年度 (B)	増減 (B - A)
売上高	1,524	1,511	△ 13
販売費・一般管理費	742	735	△ 7
営業外収益	0	9	9
営業外費用	19	17	△ 2
学校会計繰入金支出前損益	763	768	5
学校会計繰入金支出	450	450	0
税引前当期純損益	313	318	5
法人税、住民税及び事業税	104	94	△ 10
当期純損益	209	224	15

## 貸借対照表

(単位：百万円)

区 分	2020年度 (A)	2021年度 (B)	増減 (B - A)
流動資産	1,608	1,828	220
固定資産	7,306	6,983	△ 323
資産合計	8,914	8,811	△ 103
流動負債	546	531	△ 15
固定負債	4,075	3,763	△ 312
負債合計	4,621	4,294	△ 327
純資産合計	4,293	4,517	224
負債・純資産合計	8,914	8,811	△ 103

## 概要

## 〈損益計算書〉

売上高及び販売費・一般管理費とも横ばいで、売上高は1,511百万円、販売費・一般管理費は735百万円となりました。税引前当期利益は318百万円となり、前年度比5百万円の増となりました。なお、当期は学校会計へ450百万円を繰り入れています。繰入金は、教育研究活動等へ投下していく計画です。

## 〈貸借対照表〉

流動資産は普通預金の増、固定資産は減価償却による減となりました。固定負債は借入金の減によるものです。

# その他

借入金明細表(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位:円)

借入先		期末残高 (単位:円)	利率 (%)	返済期限 (年月日)	摘要 (使途)	
長期借入金	公的金融機関	日本私立学校振興・共済事業団				
		15 一般施設	0	2.00	R.5.3.15	上智大学2号館建設
		16 一般施設	200,000,000	2.00	R.6.3.15	上智大学2号館建設
		22 一般施設	346,640,000	1.60	R.12.9.15	上智大学目白聖母キャンパス 1号館新築(学)聖母学園からの継承分
		23 特別施設	1,694,430,000	1.70	R.13.9.15	上智大学祖師谷国際交流会館取得
		26 一般施設	1,599,960,000	0.90	R.16.9.15	上智大学新棟(6号館)建設
		27 一般施設	1,877,720,000	0.80	R.17.9.15	上智大学新棟(6号館)建設
		30 特別施設	1,333,280,000	0.80	R.20.9.15	信濃町国際学生寮建設
		23 一般施設	64,980,000	1.60	R.13.9.15	上智福岡中学校・高等学校校舎改修 及び新棟建設
		23 一般施設	101,430,000	0.50	R.13.9.15	上智福岡中学校・高等学校校舎改修 及び新棟建設
		24 一般施設	33,480,000	1.50	R.14.3.15	上智福岡中学校・高等学校校舎改修 及び新棟建設
		27 一般施設	715,000,000	平成31年 3月から0.5	R.17.9.15	栄光学園中学校・高等学校新校舎建設
		小計	7,966,920,000			
		市中金融機関	(株)みずほ銀行	375,000,000	0.407	R.12.7.10
(株)広島銀行	75,000,000		0.31	R.8.3.2	広島学院落石等危険箇所対策工事費	
(株)三井住友銀行	31,694,000		0.73	R.6.10.31	六甲学院中学校・高等学校施設復旧・ 設備投資	
小計	481,694,000					
その他	宗教法人マリアの宣教師 フランシスコ修道会	0	0.00	R.4.4.30	上智大学目白聖母キャンパス校舎 新改築資金(学)聖母学園からの継承分	
	宗教法人カトリックイエズス会	1,500,000,000	0.015	R.21.3.31	上智大学14号館用土地建物購入 (メリノール)	
	宗教法人カトリックイエズス会	150,000,000	0.00	R.14.3.25	六甲学院中学校・高等学校校舎改築	
	小計	1,650,000,000				
計		10,098,614,000				
短期借入金	公的金融機関		0			
		小計	0			
	市中金融機関		0			
		小計	0			
	その他		0			
		小計	0			
返済期限が1年以内の長期借入金		1,204,902,000				
計		1,204,902,000				
合計		11,303,516,000				

## 財務の概要

### 学校法人の出資による会社に係る事項

当学校法人の出資割合が総出資額の2分の1以上である会社の状況は次のとおりである。

名 称	株式会社ソフィアキャンパスサポート				
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物及びその付属施設設備の清掃、警備、営繕、保守並びに管理業務</li> <li>・食品、清涼飲料水及び酒類の販売並びに販売管理業務</li> <li>・損害保険代理店業および生命保険の募集に関する業務</li> <li>・教育・事務用機器、計器、文房具類等の販売、仲介及び斡旋</li> </ul>				
資 本 金 の 額	20,000,000 円 (400 株)				
学校法人の出資金額等及び当該会社の総株式等に占める割合並びに当該株式等の入手日	平成27年2月2日 20,000,000 円 (400株) 100%				
当期中に学校法人が受け入れた配当及び寄付の金額並びに学校法人との資金、取引等の状況	(単位：円)				
当該会社からの受入額	配当金	0	特別寄付金	55,000,000	
	現物寄付金	0	賃貸料	0	
当該会社への支払額	受取利息	0	雑収入	35,102,292	
	消耗品費	28,814,888	修繕費	40,430,841	
	委託費	636,359,034	会合費	557,080	
	(単位：円)				
		期首残高	資金支出等	資金収入等	期末残高
当該会社への出資金等		20,000,000	0	0	20,000,000
当該会社への貸付金等		0	0	0	0
当該会社への未払金		0	0	0	0
当該会社からの借入金		0	0	0	0
当該会社からの未収入金		0	0	0	0
保証債務	なし				

名 称	ソフィアメディカルインフォ株式会社				
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関向け多言語医療情報アプリの開発と医療機関等への普及</li> <li>・旅行代理店や旅行保険事業者を通して訪日外国人等への多言語医療情報提供アプリの普及促進</li> <li>・多言語情報システムに係る教育及びコンサルティング</li> <li>・多言語情報アプリの企画、開発及び販売 等</li> </ul>				
資 本 金 の 額	38,000,000円 (760 株)				
学校法人の出資金額等及び当該会社の総株式等に占める割合並びに当該株式等の入手日	平成30年10月1日 26,000,000 円 (520株) 68%				
当期中に学校法人が受け入れた配当及び寄付の金額並びに学校法人との資金、取引等の状況	(単位：円)				
当該会社からの受入額	配当金	0	特別寄付金	0	
	現物寄付金	0	賃貸料	0	
当該会社への支払額	受取利息	0			
			消耗品費	0	
	(単位：円)				
		期首残高	資金支出等	資金収入等	期末残高
当該会社への出資金等		26,000,000	0	0	26,000,000
当該会社への貸付金等		0	0	0	0
当該会社への未払金		0	0	0	0
当該会社からの借入金		0	0	0	0
当該会社からの未収入金		0	0	0	0
保証債務	なし				

## 経営状況の分析等

### ■ 経営状況の分析（財務比率は2017～2021年度の5か年平均）

経常収入に対する学生納付金比率は66.0%であり、他法人平均76.9%<sup>(\*)</sup>と比較して10ポイント以上低い値となっている。この値は、収入の多角化の観点から低いほうが望ましいとされている。そのほか、収入面では寄付金比率2.8%（他法人平均1.8%）、補助金比率13.1%（同11.4%）となっており、いずれも高い値で推移している。

一方、支出面については、教育研究経費比率は32.6%であり、他法人平均（36.5%）よりも低い状況となっている。これは当該比率の分母の経常収入に資産運用収入が含まれることが要因といえる。

資産のうち自己資本の割合を示す総資産構成比率は83.3%であり、経営基盤は安定しているといえるが、他方、経常収支差額比率は8.8%にとどまっている。

\* 他法人平均 … 一般社団法人日本私立大学連盟まとめ

学生収容定員10,000～19,999人／本学を含む16法人の2020年度決算平均値

### ■ 経営上の成果と課題

2021年度は、資産運用において、リスク分散の運用方針のもと、前年度とほぼ同程度の実現益を確保できたことから、総合的に収入超過の決算となった。

このため、教育研究環境の維持と拡充のために減価償却特定引当資産へ27億円の繰り入れを行うことができた。

今後の課題としては、管理経費を抑制しつつ一層の教育研究経費比率の引き上げを図る必要があると考えている。また、経常収支差額比率は、一般的に将来にわたって経営基盤の安定を確保するには10%程度が望ましいとされていることから、本学もこれを目標値として収入増加、支出抑制を図る。

### ■ 今後の方針・対応方策

コロナ禍及び地政学リスクの高まりにより世界経済の動向が見通せない中、引き続きリスクを分散し安定的な実現益を確保する堅実な資産運用を行っていくこととしている。

また、経常収支差額比率目標値の恒常的な達成を実現するため、既存予算の見直しなど、さまざまな財政施策を推進しつつ、グランドレイアウトに基づき、教育研究活動の充実、学生支援の基盤強化、及び、老朽施設の改善等のために第3号基本金や減価償却特定引当資産の増額を図っていくことを方針としている。

# 学校法人上智学院が展開する主な事業会社

## ■ ソフィアキャンパスサポート

<https://sophia-cs.co.jp/>



ソフィアキャンパスサポートは学生・生徒、教職員へのサービス向上を目的に上智学院100%出資の事業会社として2015年2月2日に設立されました。事業部では損害保険、購買部、飲料自販機、学生寮・マンション紹介、卒業衣裳などの学生生活支援業務を、業務推進部では設備管理、修繕、清掃等のPM業務を遂行し、30以上の事業を展開しています。収益は上智学院に寄付され、学生・生徒への奨学金などに活用されています。

## ■ Sophia Global Education and Discovery Co., Ltd.

<https://jp.sophia-ged.com/>



2019年5月1日にタイの首都バンコクに開設したSophia GED社（上智学院出資比率49%：最大出資者）では、上智大学の教育精神をベースにしつつ東南アジアでのネットワークを活かして、質の高い実践型のスタディーツアーをはじめとする、特色と個性ある教育・研修事業を展開しています。日本・東南アジア双方の幅広い方々を対象として教育プログラム開発を行い、コロナ禍においてもオンラインの事業を積極的に展開しております。

# 沿革

1549年(天文18年)	聖フランシスコ・ザビエル来日
1906年(明治39年)	教皇ピオ10世のカトリック大学設立の要請とイエズス会の受諾
1908年(明治41年)	3人のイエズス会士来日
1911年(明治44年)	財団法人上智学院設立
1912年(明治45年)	東京市麹町区紀尾井町の土地を購入
1913年(大正2年)	専門学校令により上智大学開設(哲学科、独逸文学科、商科)
1928年(昭和3年)	大学令による上智大学開設(文学部、商学部)
1932年(昭和7年)	専門部開設、1号館竣工、福岡カトリック神学校開校(1936年に泰星中学校に改称)
1937年(昭和12年)	ソフィア会(同窓会)設立、財団法人六甲中学校設立(1950年に学校法人六甲学院に変更)
1938年(昭和13年)	六甲中学校開校
1946年(昭和21年)	公開講座開講
1947年(昭和22年)	新制六甲中学校・高等学校発足、栄光中学校開校(1949年に栄光学園中学校に改称)
1948年(昭和23年)	新制大学開設(文学部、経済学部)、泰星高等学校開校
1949年(昭和24年)	国際部(現在の国際教養学部の前身)設置
1950年(昭和25年)	真田濠グラウンド開場、栄光学園高等学校開校
1951年(昭和26年)	私立学校法による学校法人上智学院設立、学校法人泰星学園設立 新制大学院開設(神学研究科、哲学研究科、西洋文化研究科、経済学研究科)
1956年(昭和31年)	学校法人広島学院設立、広島学院中学校開校
1957年(昭和32年)	法学部開設、上智大学に女子学生の受入を開始、学校法人栄光学園設立
1958年(昭和33年)	神学部、外国語学部開設
1959年(昭和34年)	広島学院高等学校開校
1962年(昭和37年)	理工学部開設
1964年(昭和39年)	上智大学社会福祉専修科開設
1966年(昭和41年)	法学研究科、理工学研究科開設、西洋文化研究科を文学研究科に改組 上智大学社会福祉専修科を上智社会福祉専修学校に改組、上智短期大学ソフィア会(同窓会)発足
1970年(昭和45年)	外国語学研究科開設
1973年(昭和48年)	上智短期大学開設
1975年(昭和50年)	外国語学部に日本語・日本文化学科を増設(1977年に比較文化学科に改組)
1976年(昭和51年)	上智社会福祉専修学校を上智社会福祉専門学校に改組、 ソフィア・コミュニティ・カレッジ(社会人講座)開講
1980年(昭和55年)	ホフマン・ホール竣工、国際部廃止
1984年(昭和59年)	中央図書館・総合研究棟の開館
1987年(昭和62年)	比較文化学部開設
2004年(平成16年)	法学研究科に法曹養成専攻(法科大学院)を増設
2005年(平成17年)	総合人間科学部、総合人間科学研究科、地球環境学研究科開設、2号館竣工
2006年(平成18年)	比較文化学部を国際教養学部へ改組、グローバル・スタディーズ研究科開設
2007年(平成19年)	経済学研究科を改組
2008年(平成20年)	理工学部・理工学研究科を改組
2011年(平成23年)	学校法人聖母学園との法人合併(聖母大学、聖母看護学校を併設) 総合人間科学部に看護学科を増設・総合人間科学研究科に看護学専攻を増設 泰星中学高等学校から上智福岡中学高等学校に改称
2012年(平成24年)	上智短期大学を上智大学短期大学部に改称、上智大学祖師谷国際交流会館開設
2013年(平成25年)	上智大学創立100周年、上智短期大学創立40周年、上智社会福祉専門学校創立50周年記念式典を 挙行
2014年(平成26年)	総合グローバル学部開設、聖母大学閉校
2015年(平成27年)	助産学専攻科開設
2016年(平成28年)	学校法人上智学院、学校法人栄光学園、学校法人六甲学院、学校法人広島学院、学校法人泰星学園 との法人合併。新たな「学校法人上智学院」が誕生。 実践宗教学研究科開設、外国語学研究科を言語科学研究科に改称。聖母看護学校閉校。 六甲中学校・高等学校から六甲学院中学校・高等学校に改称
2017年(平成29年)	6号館(ソフィアタワー)竣工
2019年(平成31年/令和元年)	上智大学アルペ国際学生寮開設
2020年(令和2年)	ソフィア・コミュニティ・カレッジ(社会人講座)閉講
2022年(令和4年)	上智社会福祉専門学校閉校

叡智が世界をつなぐ



学校法人 上智学院

SOPHIA SCHOOL CORPORATION



上智大学



上智大学短期大学部



上智社会福祉専門学校



栄光学園中学高等学校



広島学院中学校・高等学校



六甲学院中学校・高等学校



上智福岡中学高等学校